

# 大田区環境基本計画の策定に係る アンケート調査結果報告書(区民)

## 目次

1. 調査の概要.....	2
1.1 アンケート集計分析結果.....	2
2. 区民 アンケート集計分析結果 .....	5
2.1 回答者の属性.....	5
2.2 大田区の環境に対する関心度・満足度 .....	8
2.3 大田区の環境課題に対するあなたの関心度・進捗度について .....	24
2.4 環境に関する情報の取得方法について .....	33
2.5 地球温暖化・エネルギー問題への関心について.....	37
2.6 生物多様性について .....	48
2.7 ご家庭におけるごみ減量およびリサイクルの取組状況について.....	52
2.8 環境に配慮した行動について .....	63

# 1. 調査の概要

<アンケート調査概要>

	区民
対象	18歳以上の大田区在住者
調査方法	郵送による配布・回収、WEB回答
抽出方法	住民基本台帳より無作為抽出
配布数	2,000部
回収数	624部*(31.2%)
実施時期	2023年11月2日～11月27日

※回収数(n=624)は、大田区住民基本台帳より無作為抽出しアンケート調査票を2,000部配布した中から、回答が得られた数を指す

## 1.1 アンケート集計分析結果

区民アンケートの集計分析結果を以下に示す。単純集計の結果に加えて、年齢や居住地区でクロス集計を実施することで、より詳細な傾向等を抽出している。

なお、集計結果は端数処理の関係により、合計が100%とならないことがある。

### (1)結果の見方について

設問内容及び集計分析結果は、以下に示す記載様式で統一してまとめている。各設問内容を記載し、アンケート集計をもとに作成した表とグラフを記載している。

□設問内容(記載イメージ)

□問〇

#### 1)全体集計

コメント

表

グラフ

(2)クロス集計について

年代別、居住地区別の取組方針・状況を把握し、施策検討の参考とするため、以下の項目を対象にクロス集計を実施した。

【区民アンケート クロス集計対象項目】

設問	区民アンケート 調査項目	クロス集計対象項目				
		問 1	問 2	問 3	問 4	
		職業	年代	世帯 人員	居住 地区	
属性	問 1.	職業	×	×	×	×
	問 2.	年代	×	×	×	×
	問 3.	世帯人員	×	×		×
	問 4.	居住地区	×	×	×	
大田区 の環境に 関する設問	問 5.	環境に対する関心度	×	○	×	○
		環境に対する満足度	×	○	×	○
	問 6.	環境課題に対する関心度	×	○	×	○
		環境課題に対する区の取組進捗	×	×	×	×
	問 7.	環境に関する情報の取得方法	×	○	×	×
	問 8.	脱炭素社会、カーボンニュートラルの認知度	×	○	×	×
	問 9.	家庭における温室効果ガス削減への取組状況	×	×	×	×
		具体的な取組内容	×	○	×	×
	問 10.	生物多様性についての認知度	×	○	×	○
	問 11.	生物多様性の危機を招く要因	×	×	×	×
	問 12.	生物多様性の保全に貢献する行動への取組状況	×	×	×	×
		具体的な取組内容	×	○	×	×
	問 13.	家庭におけるごみ減量およびリサイクルの取組状況	×	×	×	×
		具体的な取組内容	×	○	×	×
	問 14.	ごみや資源を出す際の工夫点	×	×	×	×
	問 15.	食品ロスのイメージ	×	×	×	×
	問 16.	食品ロスへの取組状況	×	○	×	×
問 17.	環境に配慮した行動	×	○	×	×	

### (3)過年度アンケート結果との比較について

過去の環境基本計画等の検討時に実施した区民アンケートにおいて、今年度と設問が同様のものについて、過年度の回答結果との比較を行った。過年度比較の対象とした設問を下表に示す。

過年度比較については、設問・選択肢が概ね同じで直接比較できるものと、過年度と同様の設問であるものの選択肢の尺度が違うなど直接比較できないものがあるため、直接比較したものは「○」、参考情報として整理したものは「参考情報」と記載している。

なお、比較対象としたアンケート調査は、以下の計画策定時に実施したものである。

- 大田区環境基本計画(平成 22 年度に実施)
- 大田区環境基本計画中間見直し(平成 28 年度に実施)
- 大田区脱炭素戦略(令和 4 年度に実施)

#### 【区民アンケート 過年度比較対象項目】

設問		区民アンケート 調査項目	比較年度		
			H22	H28	R4
属性	問 1.	職業			
	問 2.	年代			
	問 3.	世帯人員			
	問 4.	居住地区			
大田区 の環境 に対する 設問	問 5.	環境に対する関心度	○	○	
		環境に対する満足度	○	○	
	問 6.	環境課題に対する関心度	参考情報	参考情報	
		環境課題に対する区の取組進捗			
	問 7.	環境に関する情報の取得方法			
	問 8.	脱炭素社会、カーボンニュートラルの認知度			
	問 9.	家庭における温室効果ガス削減への取組状況			
		具体的な取組内容	参考情報	参考情報	参考情報
	問 10.	生物多様性についての認知度			
	問 11.	生物多様性の危機を招く要因			
	問 12.	生物多様性の保全に貢献する行動への取組状況			
		具体的な取組内容			
	問 13.	家庭におけるごみ減量およびリサイクルの取組状況			
		具体的な取組内容			
問 14.	ごみや資源を出す際の工夫点				
問 15.	食品ロスのイメージ				
問 16.	食品ロスへの取組状況			参考情報	
問 17.	環境に配慮した行動				

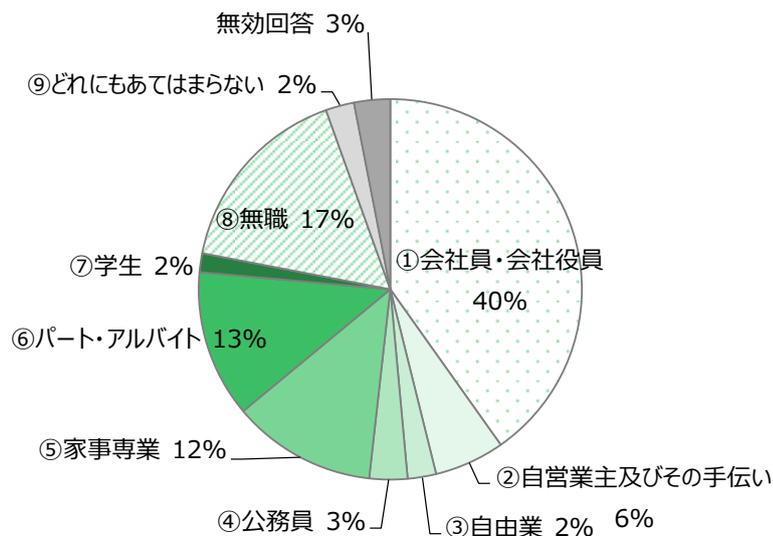
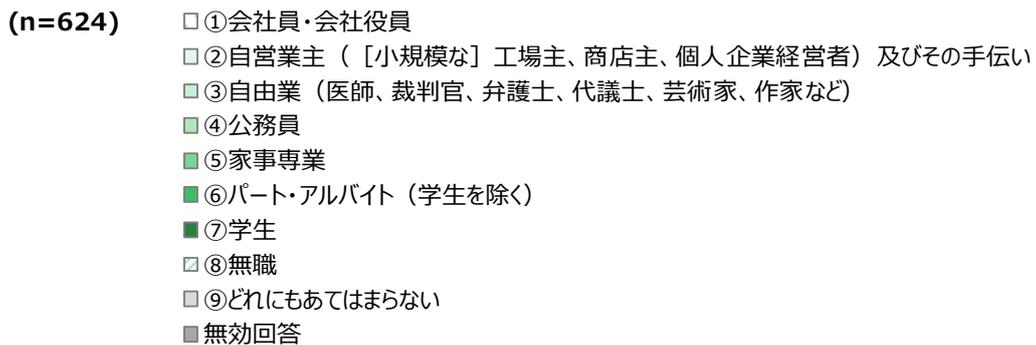
## 2. 区民 アンケート集計分析結果

### 2.1 回答者の属性

【設問 1】あなたのご職業についてお尋ねします。該当する番号に○をつけてください。

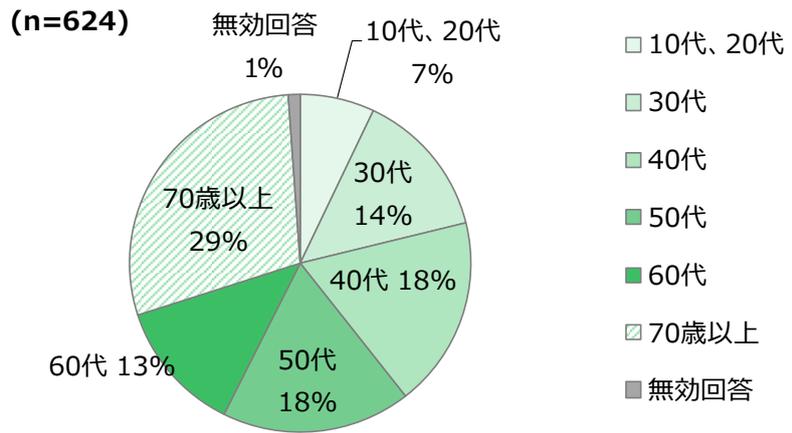
項目	回答
①会社員・会社役員	40%
②自営業主（[小規模な]工場主、商店主、個人企業経営者）及びその手伝い	6%
③自由業（医師、裁判官、弁護士、代議士、芸術家、作家など）	2%
④公務員	3%
⑤家事専業	12%
⑥パート・アルバイト（学生を除く）	13%
⑦学生	2%
⑧無職	17%
⑨どれにもあてはまらない	2%
無効回答	3%

※無効回答は、無回答や「○はひとつ」の間で複数回答したもの（以下、その他の設問についても同様）



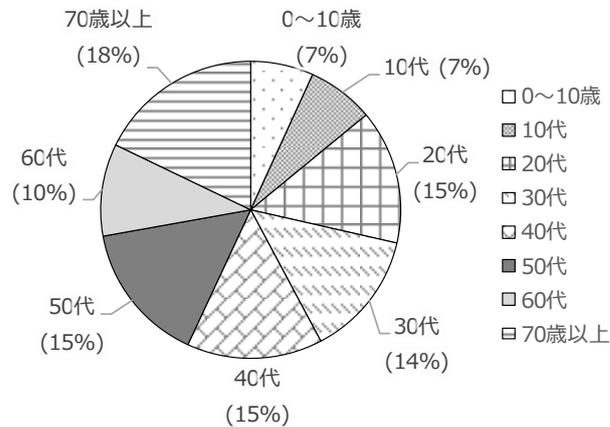
【設問 2】あなたのご年齢についてお尋ねします。該当する番号に○をつけてください。

項目	回答
10代、20代	7%
30代	14%
40代	18%
50代	18%
60代	13%
70歳以上	29%
無効回答	1%



<参考> 大田区の人口の年齢別割合(令和5年10月1日時点)

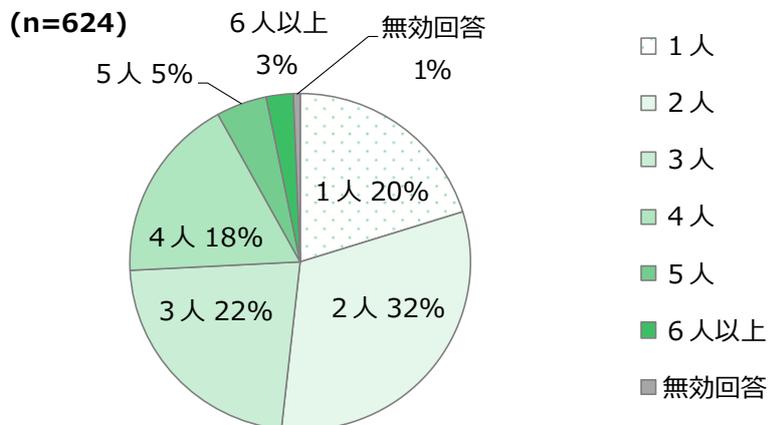
※母集団(人口総数)は734,114人



出典:大田区住民基本台帳

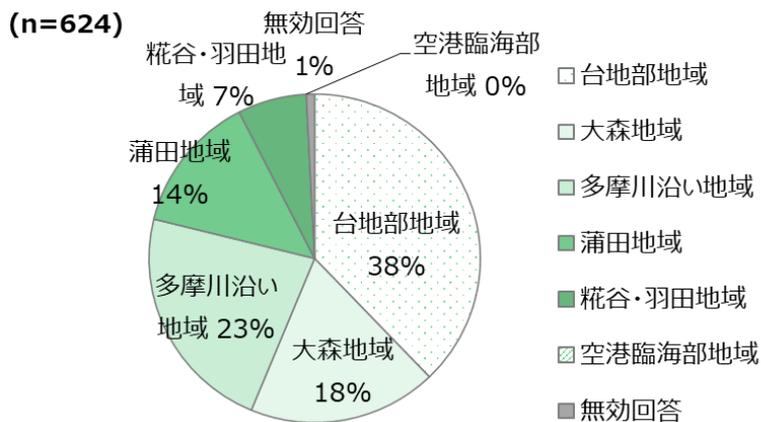
【設問 3】あなたの家の居住者人数はあなたを含め何人ですか。該当する番号に○をつけてください。

項目	回答
1人	20%
2人	32%
3人	22%
4人	18%
5人	5%
6人以上	3%
無効回答	1%



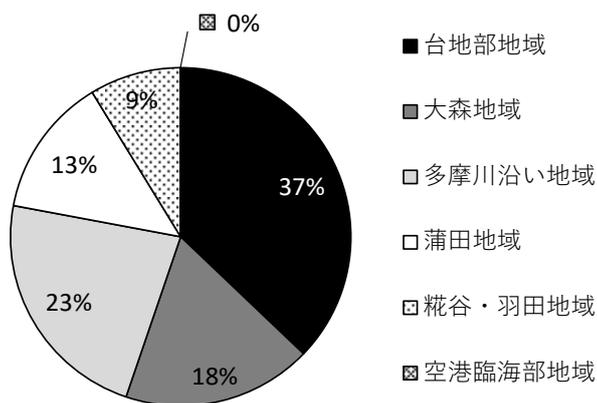
【設問 4】あなたの現在の居住地区についてお尋ねします。該当する番号に○をつけてください。

項目	回答
台地部地域	38%
大森地域	18%
多摩川沿い地域	23%
蒲田地域	14%
糀谷・羽田地域	7%
空港臨海部地域	0%
無効回答	1%



<参考> 大田区の人口の居住地別割合(令和 6 年 1 月 1 日時点)

※母集団(人口総数)は 733,634 人



出典: 大田区住民基本台帳

## 2.2 大田区对环境に対する関心度・満足度

【設問 5】あなたは、大田区的环境をどのように感じていますか？項目ごとにあなたの「関心度」、「満足度」について、それぞれ最も近い答えを1つずつ選び、番号に○をつけて下さい。

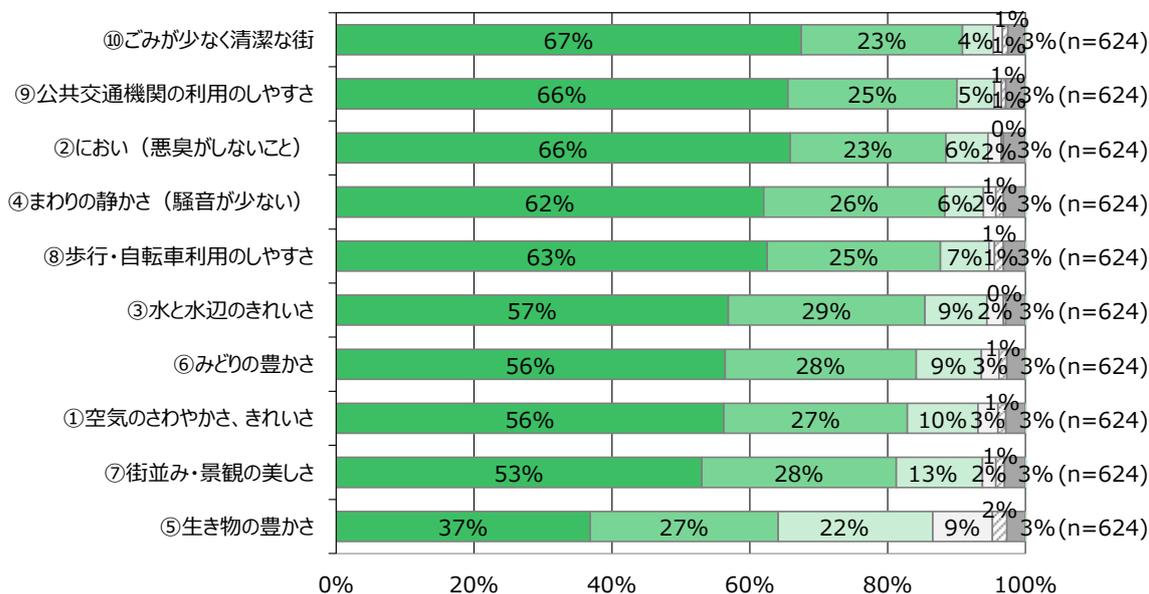
### 1) 全体集計【関心度】

- ・「関心がある」、「少し関心がある」と回答した割合の合計は多くの項目で 80%を上回り、「⑨公共交通機関の利用のしやすさ」は 91%と満足度の高い結果となっている。
- ・一方、「⑤生き物の豊かさ」への関心は低く、「関心がある」と回答した割合は 50%を下回っている。

	関心度					
	1.関心がある	2.少し関心がある	3.どちらともいえない	4.あまり関心がない	5.関心がない	無効回答
⑩ごみが少なく清潔な街	67%	23%	4%	1%	1%	3%
⑨公共交通機関の利用のしやすさ	66%	25%	5%	1%	1%	3%
②におい(悪臭がしないこと)	66%	23%	6%	2%	0%	3%
④まわりの静かさ(騒音が少ない)	62%	26%	6%	2%	1%	3%
⑧歩行・自転車利用のしやすさ	63%	25%	7%	1%	1%	3%
③水と水辺のきれいさ	57%	29%	9%	2%	0%	3%
⑥みどりの豊かさ	56%	28%	9%	3%	1%	3%
①空気のさわやかさ、きれいさ	56%	27%	10%	3%	1%	3%
⑦街並み・景観の美しさ	53%	28%	13%	2%	1%	3%
⑤生き物の豊かさ	37%	27%	22%	9%	2%	3%

※関心度が高い順に回答番号を並び替えている。

■ 1.関心がある ■ 2.少し関心がある ■ 3.どちらともいえない □ 4.あまり関心がない ■ 5.関心がない ■ 無効回答



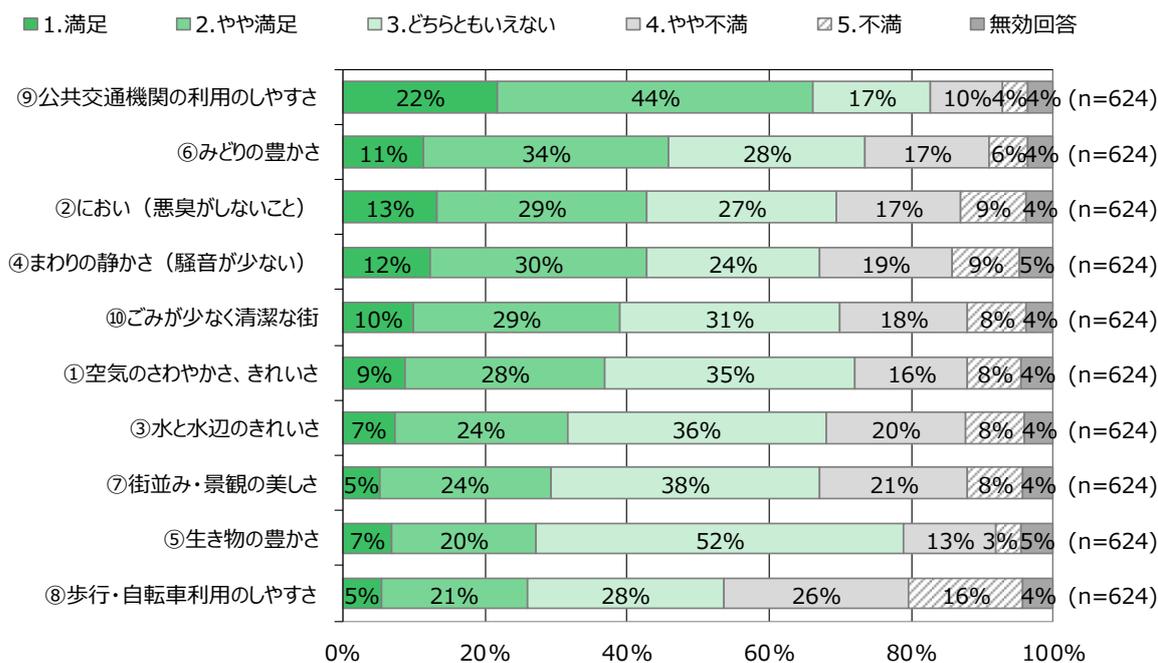
※関心度が高い順に回答番号を並び替えている。

## 2) 全体集計【満足度】

- ・「満足」、「やや満足」と回答した割合の合計は、「⑨公共交通機関の利用のしやすさ」が66%と最も高く、次いで「⑥みどりの豊かさ」が45%となっている。
- ・一方、「⑤生き物の豊かさ」「⑦街並み・景観の美しさ」「⑧歩行・自転車利用のしやすさ」について、「満足」、「やや満足」と回答した割合の合計は、30%未満と満足度の低い結果となっている。

	満足度					
	1.満足	2.やや満足	3.どちらともいえない	4.やや不満	5.不満	無効回答
⑨公共交通機関の利用のしやすさ	22%	44%	17%	10%	4%	4%
⑥みどりの豊かさ	11%	34%	28%	17%	6%	4%
②におい(悪臭がしないこと)	13%	29%	27%	17%	9%	4%
④まわりの静かさ(騒音が少ない)	12%	30%	24%	19%	9%	5%
⑩ごみが少なく清潔な街	10%	29%	31%	18%	8%	4%
①空気のさわやかさ、きれいさ	9%	28%	35%	16%	8%	4%
③水と水辺のきれいさ	7%	24%	36%	20%	8%	4%
⑦街並み・景観の美しさ	5%	24%	38%	21%	8%	4%
⑤生き物の豊かさ	7%	20%	52%	13%	3%	5%
⑧歩行・自転車利用のしやすさ	5%	21%	28%	26%	16%	4%

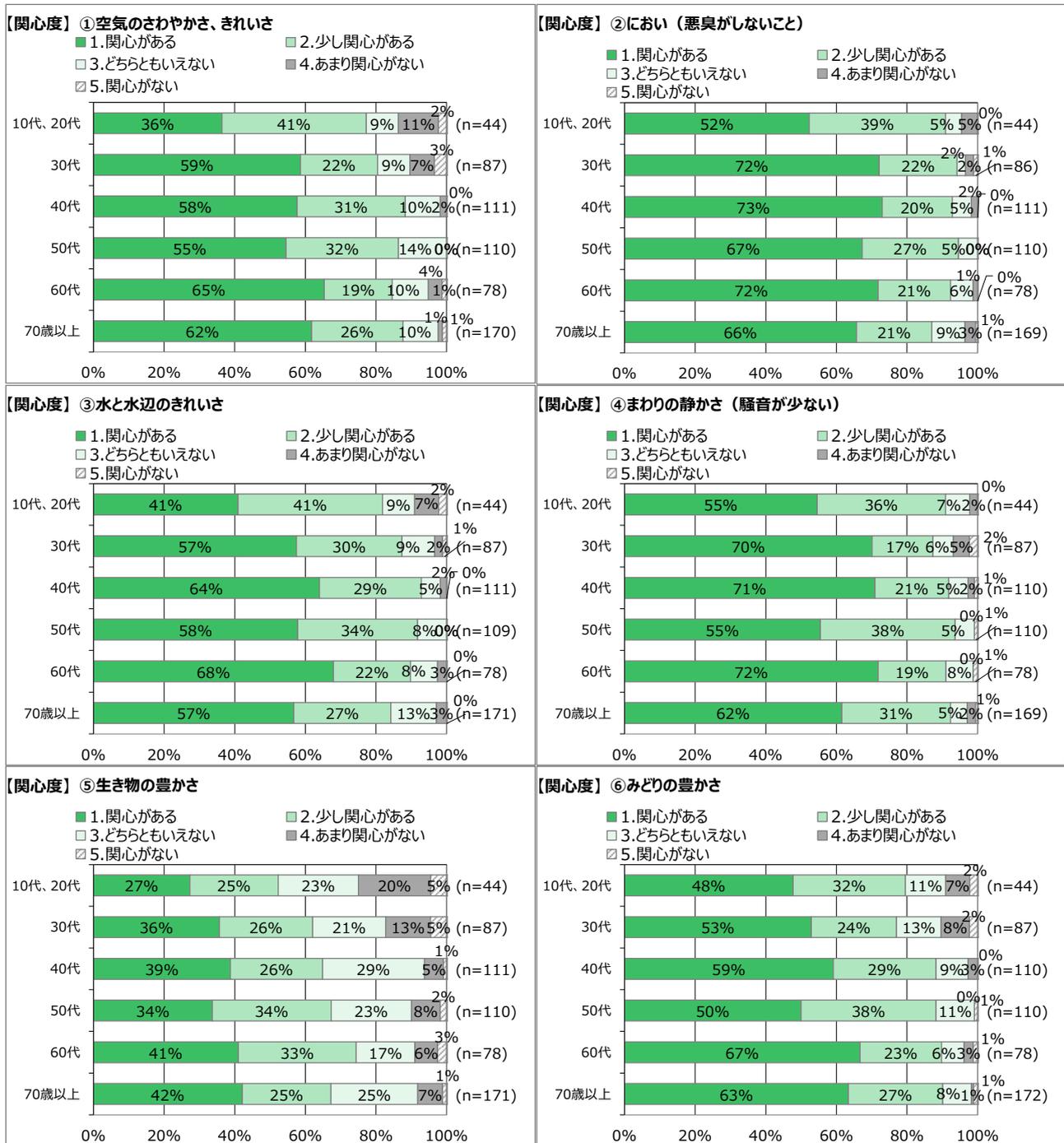
※満足度が高い順に回答番号を並び替えている。

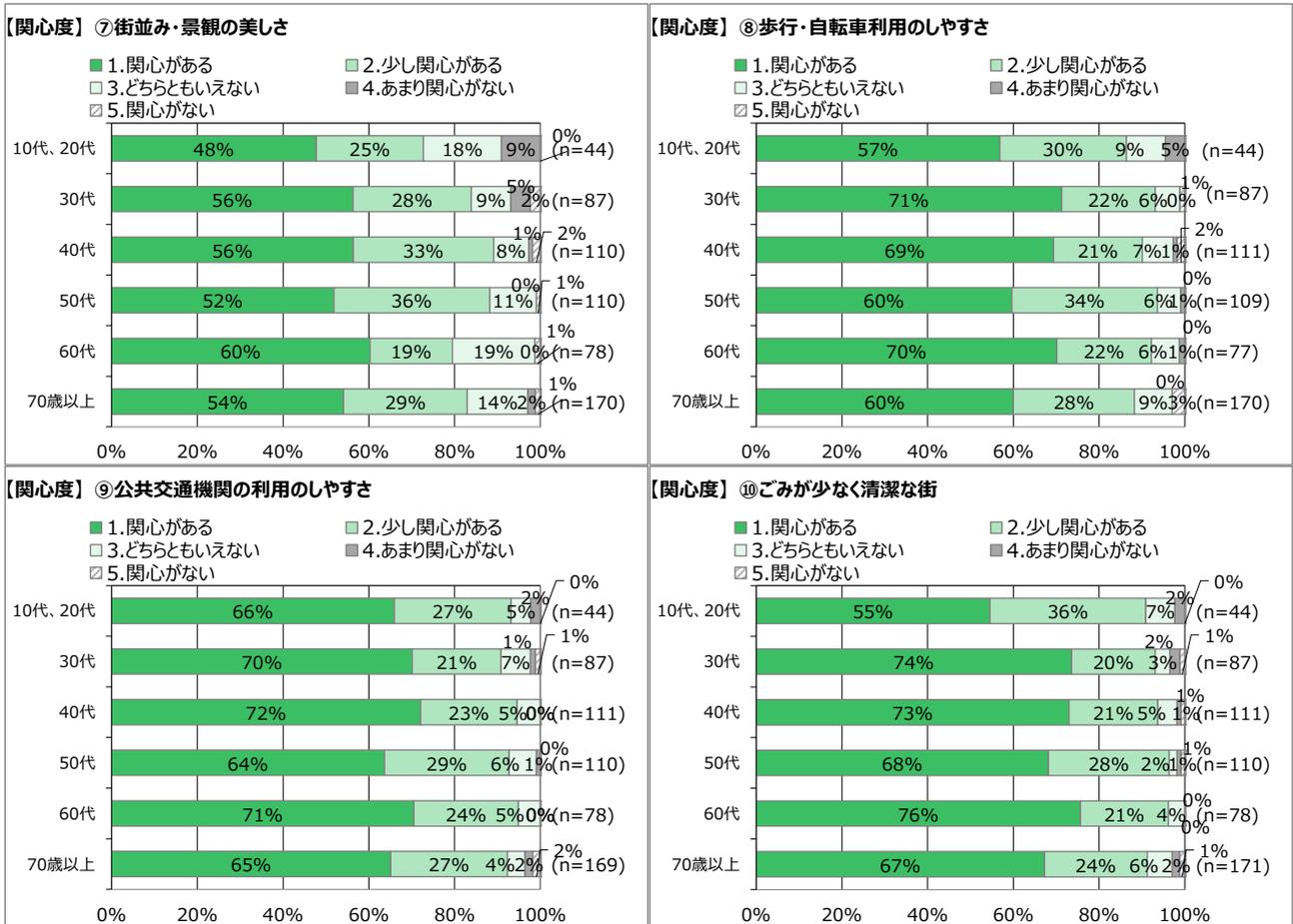


※満足度が高い順に回答番号を並び替えている。

### 3) クロス集計【年代×関心度】

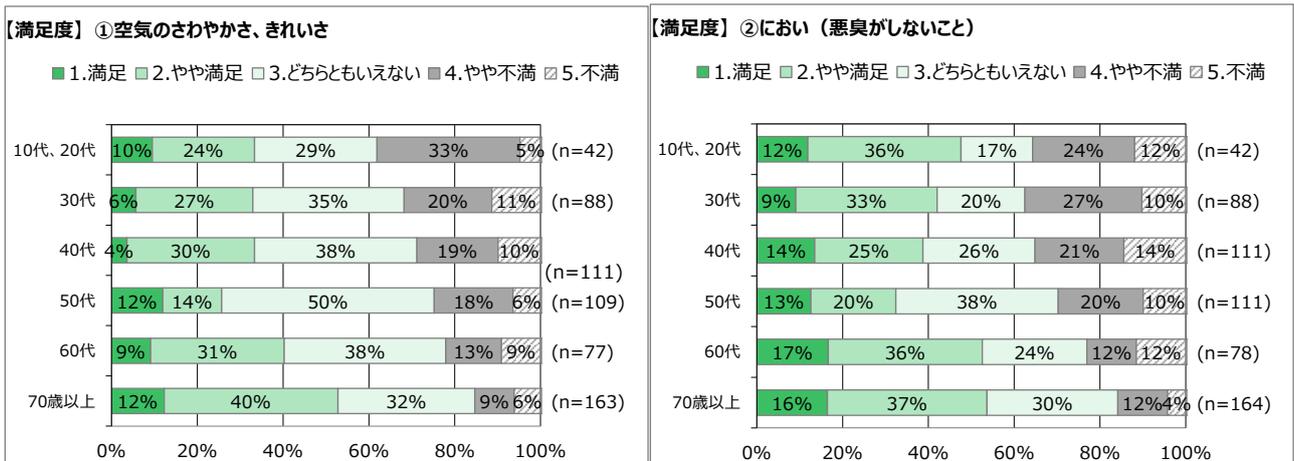
・ 全体を通して「関心がある」と回答した割合は、他の年代と比較して 10 代、20 代が低い傾向となっている。





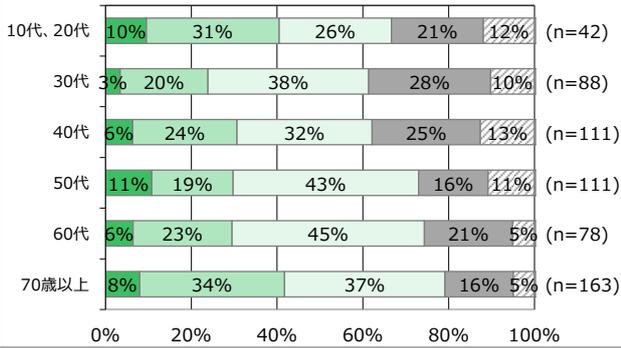
#### 4) クロス集計【年代×満足度】

- ・ 「①空気のさわやかさ、きれいさ」、「②におい(悪臭がしないこと)」、「③水と水辺のきれいさ」、「⑩ごみが少なく清潔な街」について「やや不満」、「不満」と感じている割合の合計は、10～40代が高い傾向となっている。
- ・ 全体を通じて70歳以上の「やや不満」、「不満」と感じている割合は低い傾向となっている。



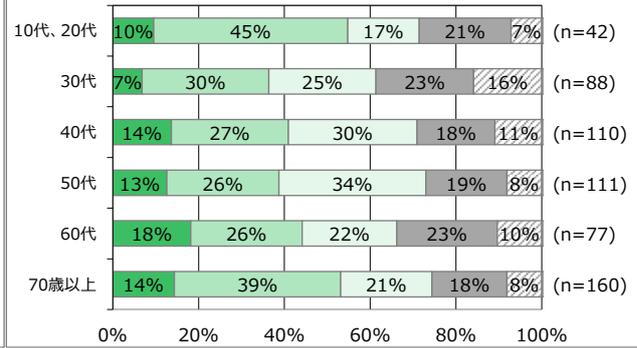
【満足度】③水と水辺のきれいさ

■ 1.満足 ■ 2.やや満足 □ 3.どちらともいえない ■ 4.やや不満 ▨ 5.不満



【満足度】④まわりの静かさ（騒音が少ない）

■ 1.満足 ■ 2.やや満足 □ 3.どちらともいえない ■ 4.やや不満 ▨ 5.不満



【満足度】⑤生き物の豊かさ

■ 1.満足 ■ 2.やや満足 □ 3.どちらともいえない ■ 4.やや不満 ▨ 5.不満



【満足度】⑥みどりの豊かさ

■ 1.満足 ■ 2.やや満足 □ 3.どちらともいえない ■ 4.やや不満 ▨ 5.不満



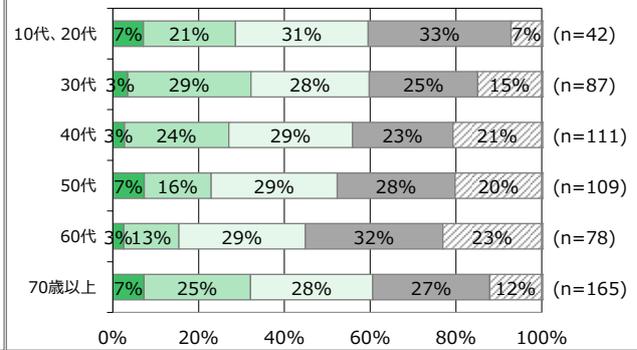
【満足度】⑦街並み・景観の美しさ

■ 1.満足 ■ 2.やや満足 □ 3.どちらともいえない ■ 4.やや不満 ▨ 5.不満



【満足度】⑧歩行・自転車利用のしやすさ

■ 1.満足 ■ 2.やや満足 □ 3.どちらともいえない ■ 4.やや不満 ▨ 5.不満



【満足度】⑨公共交通機関の利用のしやすさ

■ 1.満足 ■ 2.やや満足 □ 3.どちらともいえない ■ 4.やや不満 ▨ 5.不満



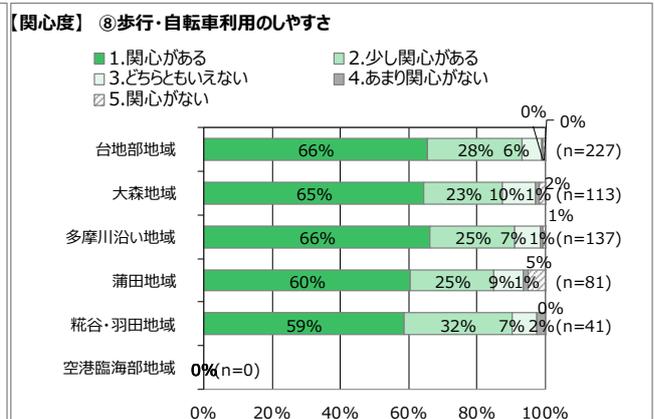
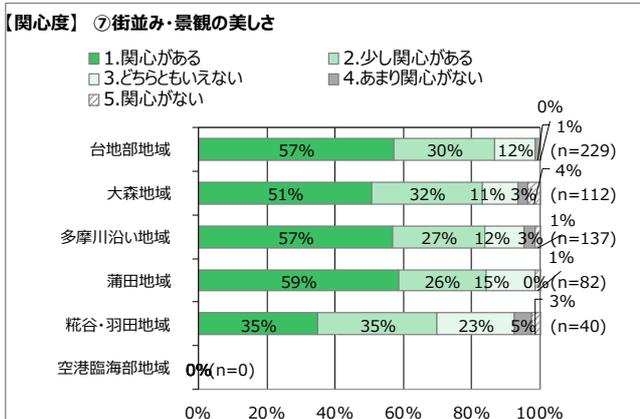
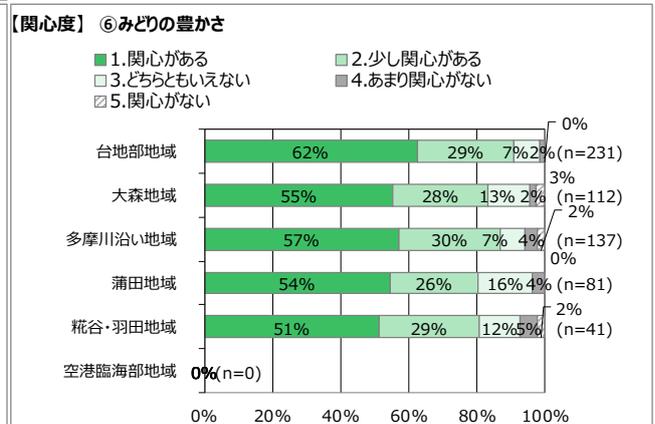
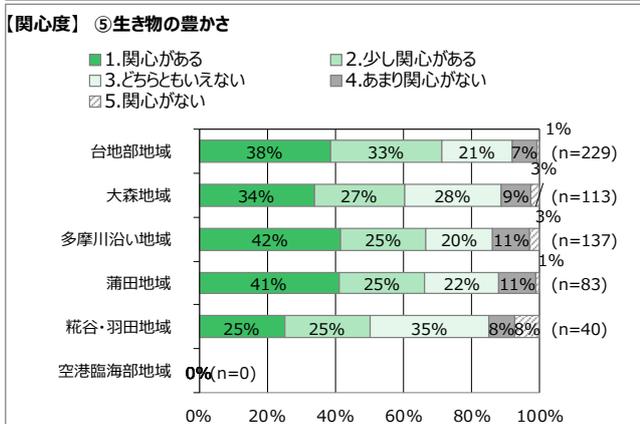
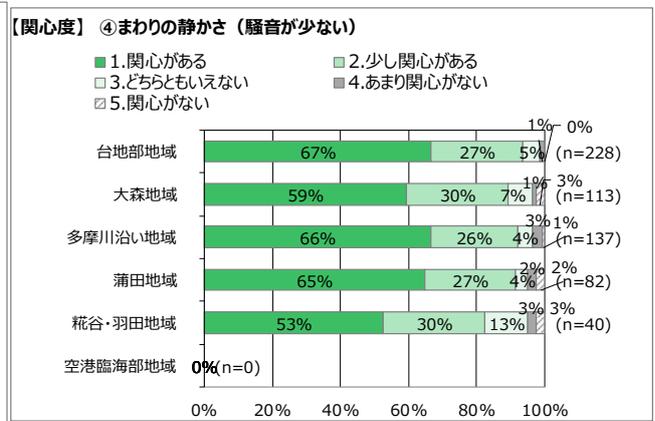
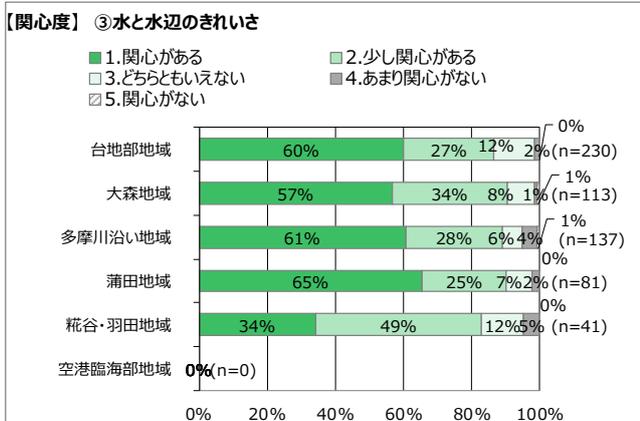
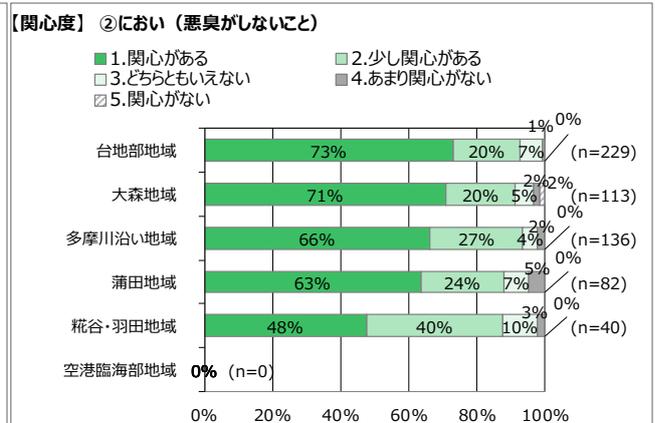
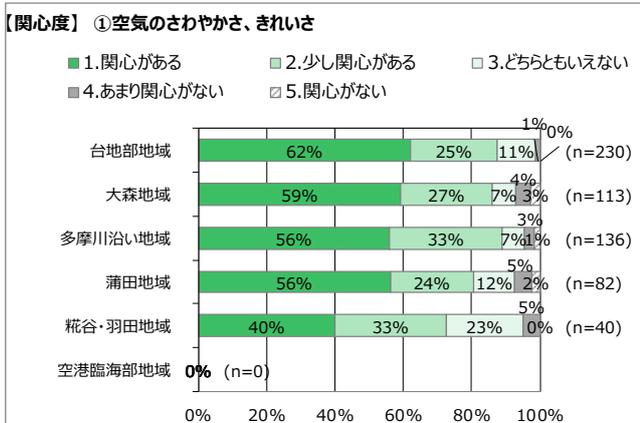
【満足度】⑩ゴミが少なく清潔な街

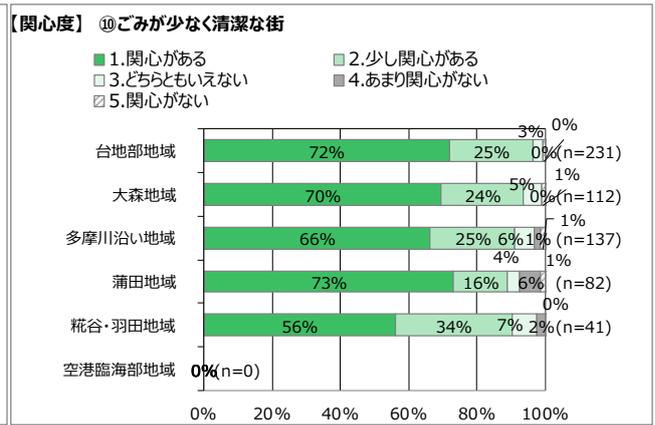
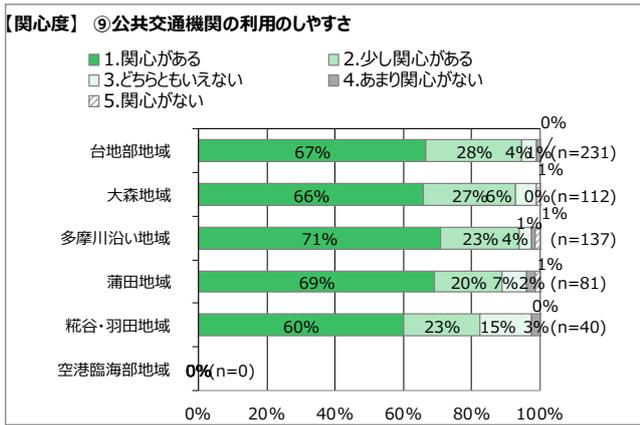
■ 1.満足 ■ 2.やや満足 □ 3.どちらともいえない ■ 4.やや不満 ▨ 5.不満



## 5) クロス集計【居住地区×関心度】

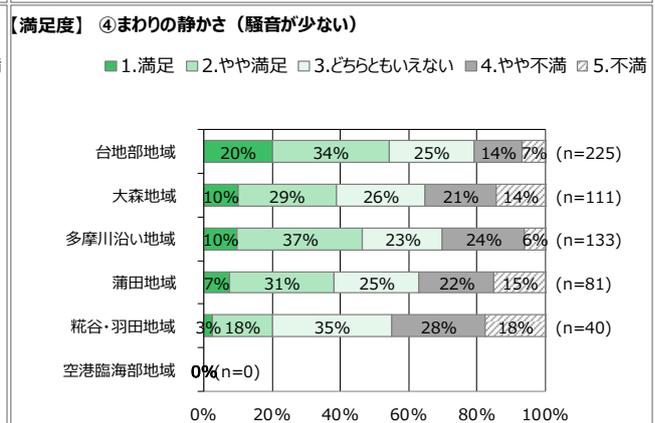
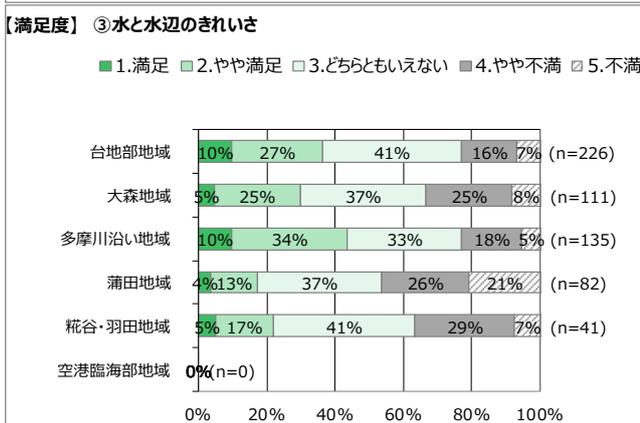
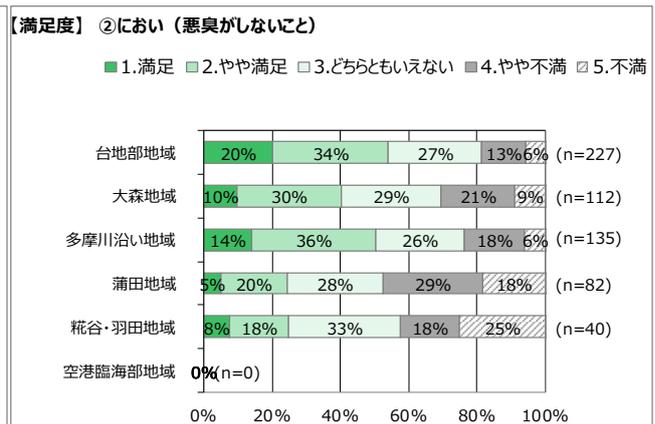
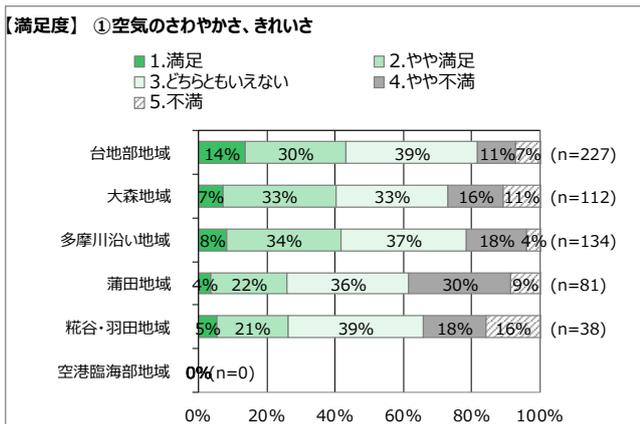
・全体を通して「関心がある」、「やや関心がある」と回答した割合の合計は、「糀谷・羽田地域」がやや低い傾向となっている。





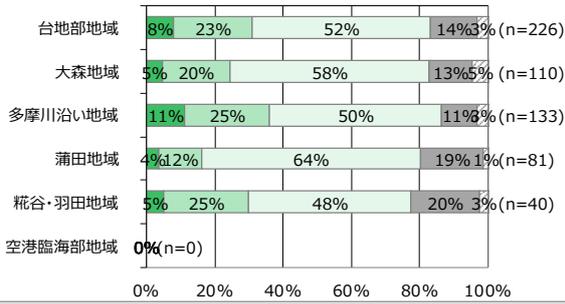
6) クロス集計【居住地区×満足度】

- ・「台地部地域」、「多摩川沿い地域」について「②におい(悪臭がしないこと)」、「③水と水辺のきれいさ」、「④まわりの静かさ(騒音が少ない)」、「⑤生き物の豊かさ」、「⑥みどりの豊かさ」、「⑧歩行・自転車利用のしやすさ」について、他地域よりも満足度が高い傾向となっている。
- ・一方、「蒲田地域」、「糀谷・羽田地域」について「①空気のさわやかさ、きれいさ」、「②におい(悪臭がしないこと)」、「③水と水辺のきれいさ」、「⑥みどりの豊かさ」、「⑦街並み・景観の美しさ」、「⑩ゴミが少なく清潔な街」について、他地域よりも満足度が低い傾向となっている。



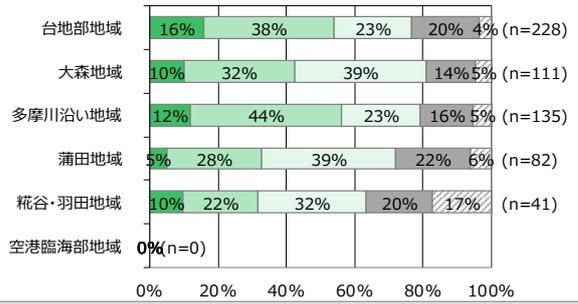
【満足度】 ⑤ 生き物の豊かさ

■ 1.満足 ■ 2.やや満足 □ 3.どちらともいえない ■ 4.やや不満 □ 5.不満



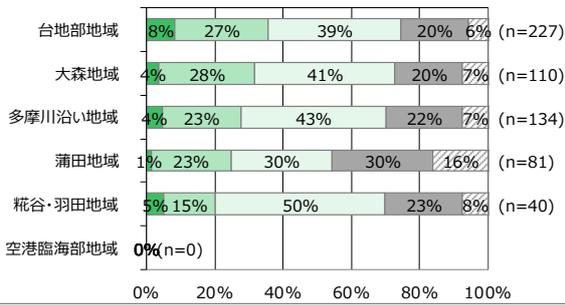
【満足度】 ⑥ みどりの豊かさ

■ 1.満足 ■ 2.やや満足 □ 3.どちらともいえない ■ 4.やや不満 □ 5.不満



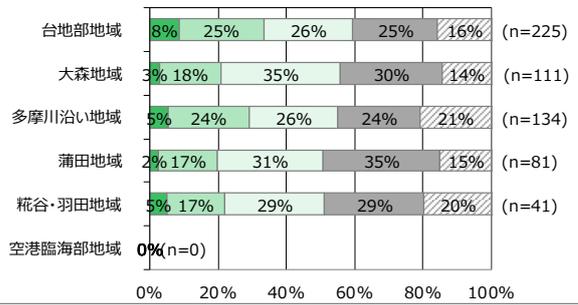
【満足度】 ⑦ 街並み・景観の美しさ

■ 1.満足 ■ 2.やや満足 □ 3.どちらともいえない ■ 4.やや不満 □ 5.不満



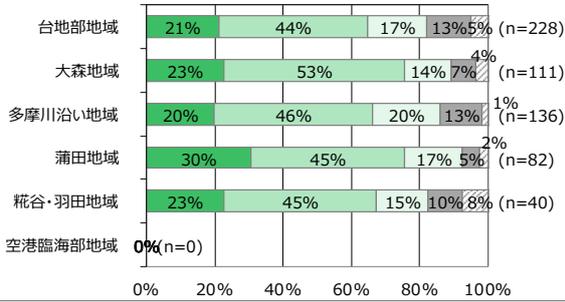
【満足度】 ⑧ 歩行・自転車利用のしやすさ

■ 1.満足 ■ 2.やや満足 □ 3.どちらともいえない ■ 4.やや不満 □ 5.不満



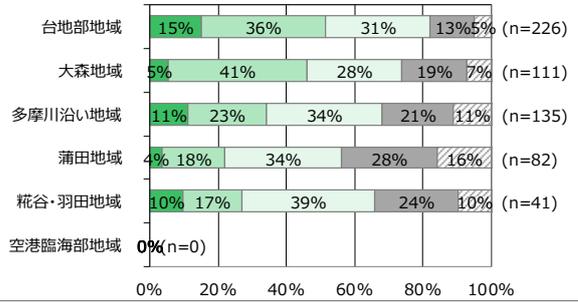
【満足度】 ⑨ 公共交通機関の利用のしやすさ

■ 1.満足 ■ 2.やや満足 □ 3.どちらともいえない ■ 4.やや不満 □ 5.不満



【満足度】 ⑩ ごみが少なく清潔な街

■ 1.満足 ■ 2.やや満足 □ 3.どちらともいえない ■ 4.やや不満 □ 5.不満



7) クロス集計(散布図)【関心度×満足度】

下記の表<調査項目の点数>に基づき散布図を作成した。

また、下記の図<散布図のゾーン区分の考え方>に基づき次頁で結果分析を行った。

<調査項目の点数>

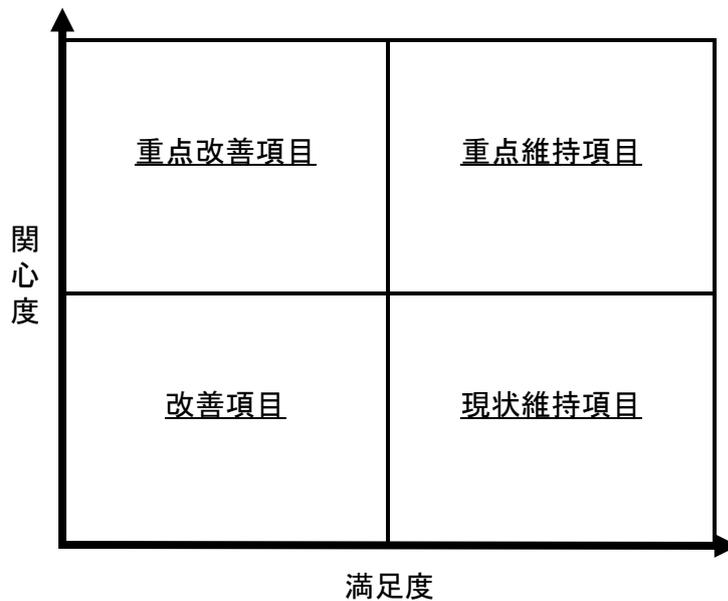
調査項目	関心度	満足度
	R5	R5
1.空気のさわやかさ、きれいさ	0.68977	0.07718
2.におい(悪臭がしないこと)	0.78394	0.10500
3.水と水辺のきれいさ	0.71700	0.01252
4.まわりの静かさ(騒音が少ない)	0.75579	0.09175
5.生き物の豊かさ	0.45305	0.07479
6.みどりの豊かさ	0.69769	0.14867
7.街並み・景観の美しさ	0.66942	-0.01005
8.歩行・自転車利用のしやすさ	0.75828	-0.14070
9.公共交通機関の利用のしやすさ	0.78960	0.36628
10.ごみが少なく清潔な街	0.79770	0.07500

※ 項目ごとの回答結果を下記の通り点数化し、平均値を算出した。

関心度⇒関心がある:1点、少し関心がある:0.5点、どちらともいえない:0点、

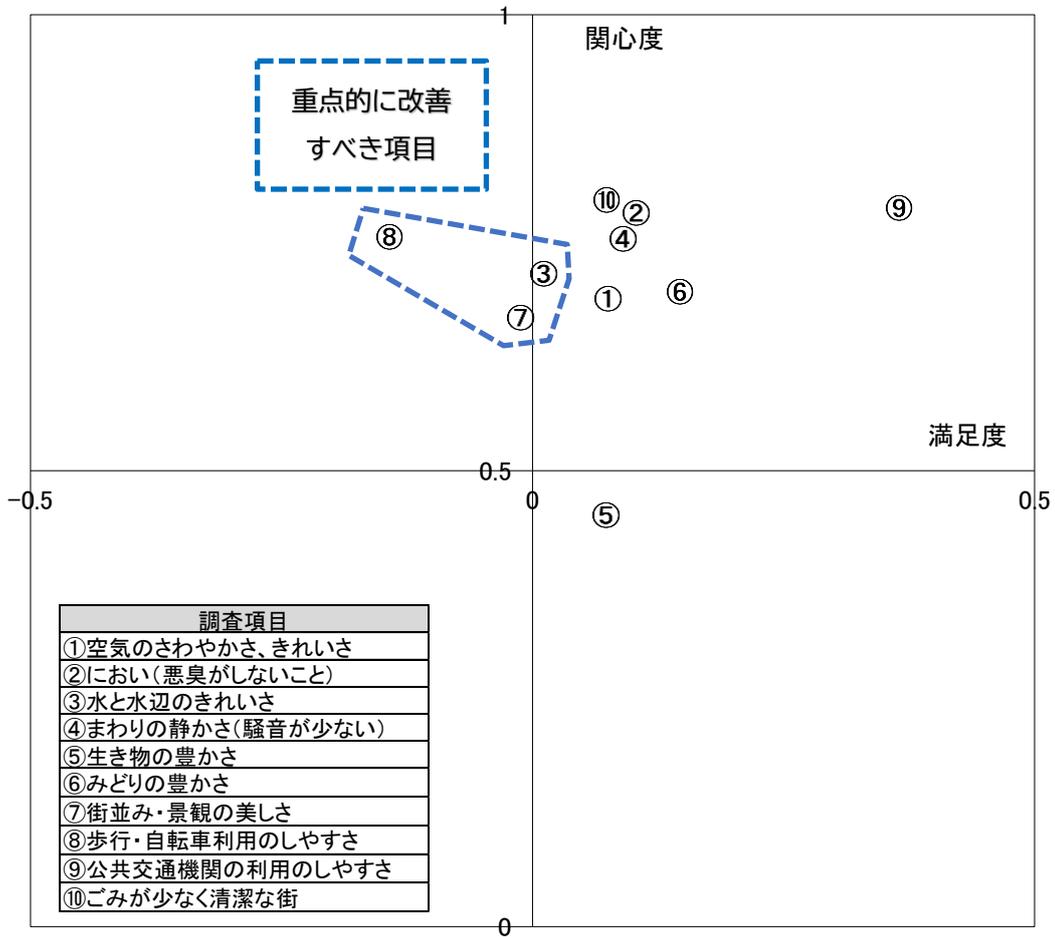
あまり関心がない:-0.5点、関心がない:-1点

満足度⇒満足:1点、やや満足:0.5点、どちらともいえない:0点、やや不満:-0.5点、不満:-1点



<散布図のゾーン区分の考え方>

- ・ 関心度および満足度が高い項目は、「①空気のさわやかさ、きれいさ」「②におい(悪臭がしないこと)」「④まわりの静かさ(騒音が少ない)」、「⑥みどりの豊かさ」「⑨公共交通機関の利用のしやすさ」「⑩ごみが少なく清潔な街」など多く確認された。
- ・ 「⑤生き物の豊かさ」は、満足度が高い一方、関心度が低い結果となっている。
- ・ 「③水と水辺のきれいさ」「⑦街並み・景観の美しさ」「⑧歩行・自転車利用のしやすさ」は、関心度が高いものの満足度が低いため重点的に改善すべき項目である。



<大田区の環境に対する区民の関心度・満足度の散布図>

## 8) 過年度との比較①【関心度】

「【設問 6】:大田区の環境に対する関心度・満足度」について過年度アンケートと類似の設問・回答結果を整理した。

設問は概ね同様であるが、R5 の「関心度」は H28・H22 の調査では「重要度」と表現されている。また、回答項目も、意味は概ね同様であるが、表現が一部異なる(下表参照)。

### <設問>

【R5】あなたは、大田区の環境をどのように感じていますか？項目ごとにあなたの「関心度」、「満足度」について、それぞれ最も近い答えを1つずつ選び、番号に○をつけて下さい。

【H28、H22】あなたは、大田区の環境をどのように感じていますか。項目ごとにあなたの「満足度」及び「重要度」について、それぞれ最も近い答えを1つずつ選び、番号に○をつけて下さい。

### <回答項目>

R5 回答項目	H28、H22 回答項目
①空気のさわやかさ、きれいさ	①空気のさわやかさ、きれいさ
②におい(悪臭がしないこと)	②におい(悪臭がしないこと)
③水と水辺のきれいさ	③水と水辺のきれいさ
④まわりの静かさ(騒音が少ない)※	④まわりの静けさ※
⑤生き物の豊かさ	⑥生き物の豊かさ
⑥みどりの豊かさ※	⑦自然のみどりの豊かさ※
⑦街並み・景観の美しさ※	⑩まち並みの美しさ※
⑧歩行・自転車利用のしやすさ※	⑫歩道、自転車道の整備状況※
⑨公共交通機関の利用のしやすさ	⑬公共交通機関の利用のしやすさ
⑩ごみが少なく清潔な街※	⑮地域内の清潔さ※

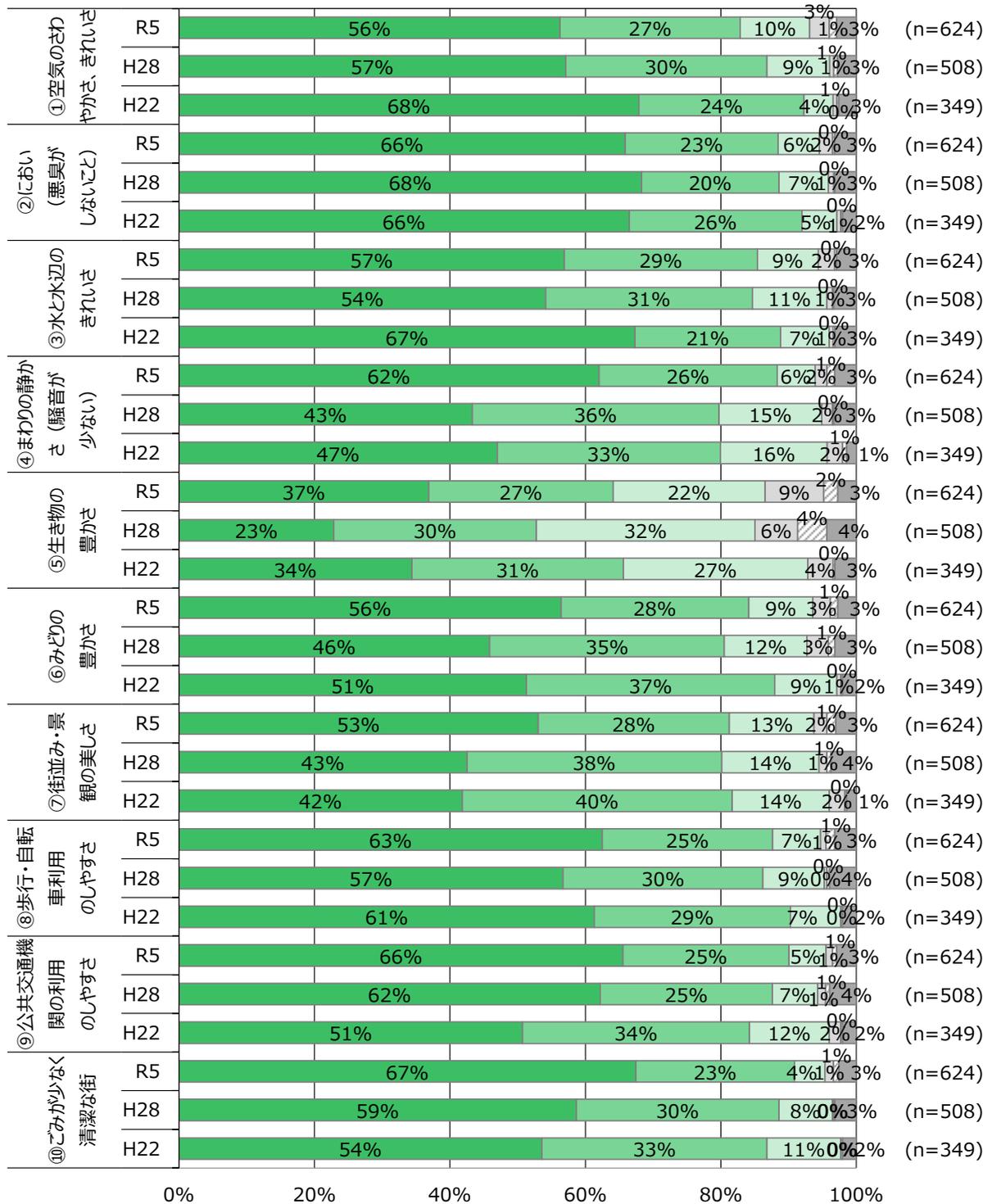
※R5、H28、H22 の回答項目で意味は同じであるが、表現が多少異なるものは※印としている

### <集計結果>

次頁に記載。

- ・「⑨公共交通機関の利用のしやすさ」、「⑩ごみが少なく清潔な街」で「関心がある」、「少し関心がある」と回答した割合の合計は、H22～R5 にかけて徐々に高くなっている。
- ・ R5 で生活環境（「④まわりの静かさ（騒音が少ない）」、「⑦街並み・景観の美しさ」）について「関心がある」と回答した割合は、H22・H28と比較して 10 ポイント以上高い結果となっている。
- ・ 生き物とみどり（「⑤生き物の豊かさ」、「⑥みどりの豊かさ」）について「関心がある」、「少し関心がある」と回答した割合の合計は、H22～H28 にかけて減少したものの、H28～R5 にかけて再び増加している。

■ 1.関心がある ■ 2.少し関心がある ■ 3.どちらともいえない ■ 4.あまり関心がない ■ 5.関心がない ■ 無効回答



9) 過年度との比較②【満足度】

「【設問 5】:大田区の環境に対する関心度・満足度」について過年度アンケートと類似の設問・回答結果を整理した。

設問は概ね同様であるものの、回答項目について意味は概ね同様であるが、表現が一部異なる(下表参照)。

<設問>

【R5】あなたは、大田区の環境をどのように感じていますか？項目ごとにあなたの「関心度」、「満足度」について、それぞれ最も近い答えを1つずつ選び、番号に○をつけて下さい。

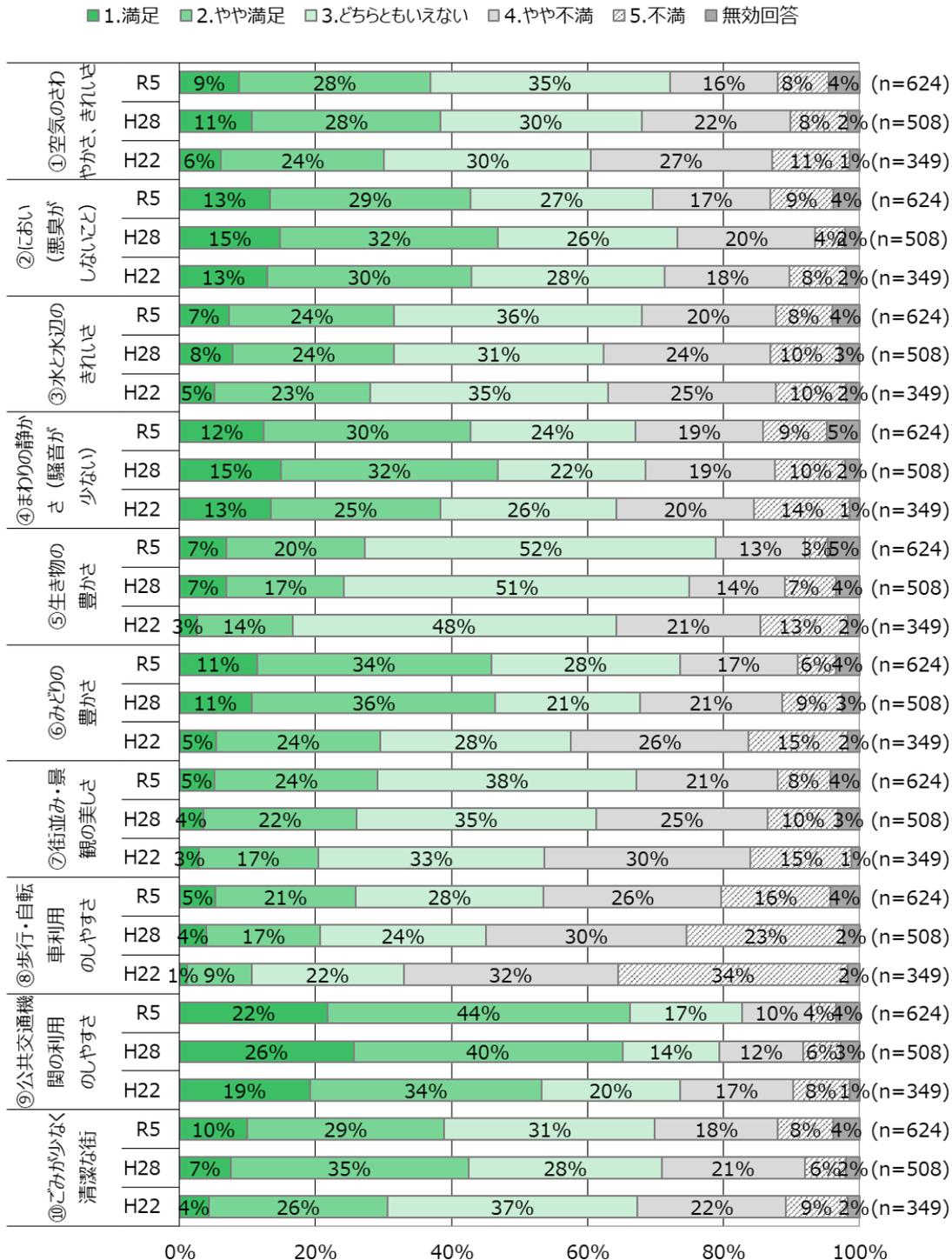
【H28、H22】あなたは、大田区の環境をどのように感じていますか。項目ごとにあなたの「満足度」及び「重要度」について、それぞれ最も近い答えを1つずつ選び、番号に○をつけて下さい。

<回答項目>

R5 回答項目	H28、H22 回答項目
①空気のさわやかさ、きれいさ	①空気のさわやかさ、きれいさ
②におい(悪臭がしないこと)	②におい(悪臭がしないこと)
③水と水辺のきれいさ	③水と水辺のきれいさ
④まわりの静かさ(騒音が少ない)※	④まわりの静けさ※
⑤生き物の豊かさ	⑥生き物の豊かさ
⑥みどりの豊かさ※	⑦自然のみどりの豊かさ※
⑦街並み・景観の美しさ※	⑩まち並みの美しさ※
⑧歩行・自転車利用のしやすさ※	⑫歩道、自転車道の整備状況※
⑨公共交通機関の利用のしやすさ	⑬公共交通機関の利用のしやすさ
⑩ごみが少なく清潔な街※	⑮地域内の清潔さ※

※R5、H28、H22 の回答項目で意味は同じであるが、表現が多少異なるものは米印としている

- ・ R5 で「満足」、「やや満足」と回答した割合の合計は、H22 と比較すると、「②におい(悪臭がしないこと)」を除き、全ての項目で高い傾向となっている。
- ・ 一方、R5と H28 を比較すると、生活環境に関する多くの項目(「①空気のさわやかさ、きれいさ」、「②におい(悪臭がしないこと)」、「③水と水辺のきれいさ」、「④まわりの静かさ(騒音が少ない)」、「⑥みどりの豊かさ」、「⑩ごみが少なく清潔な街)」で、H28 実施時よりも「満足」、「やや満足」と回答した割合の合計が低い結果となっている。



10) 過年度との比較③【関心度・満足度】

「【設問 5】:大田区の環境に対する関心度・満足度」について過年度アンケートと類似の設問・回答結果を整理した。

<調査項目の点数>

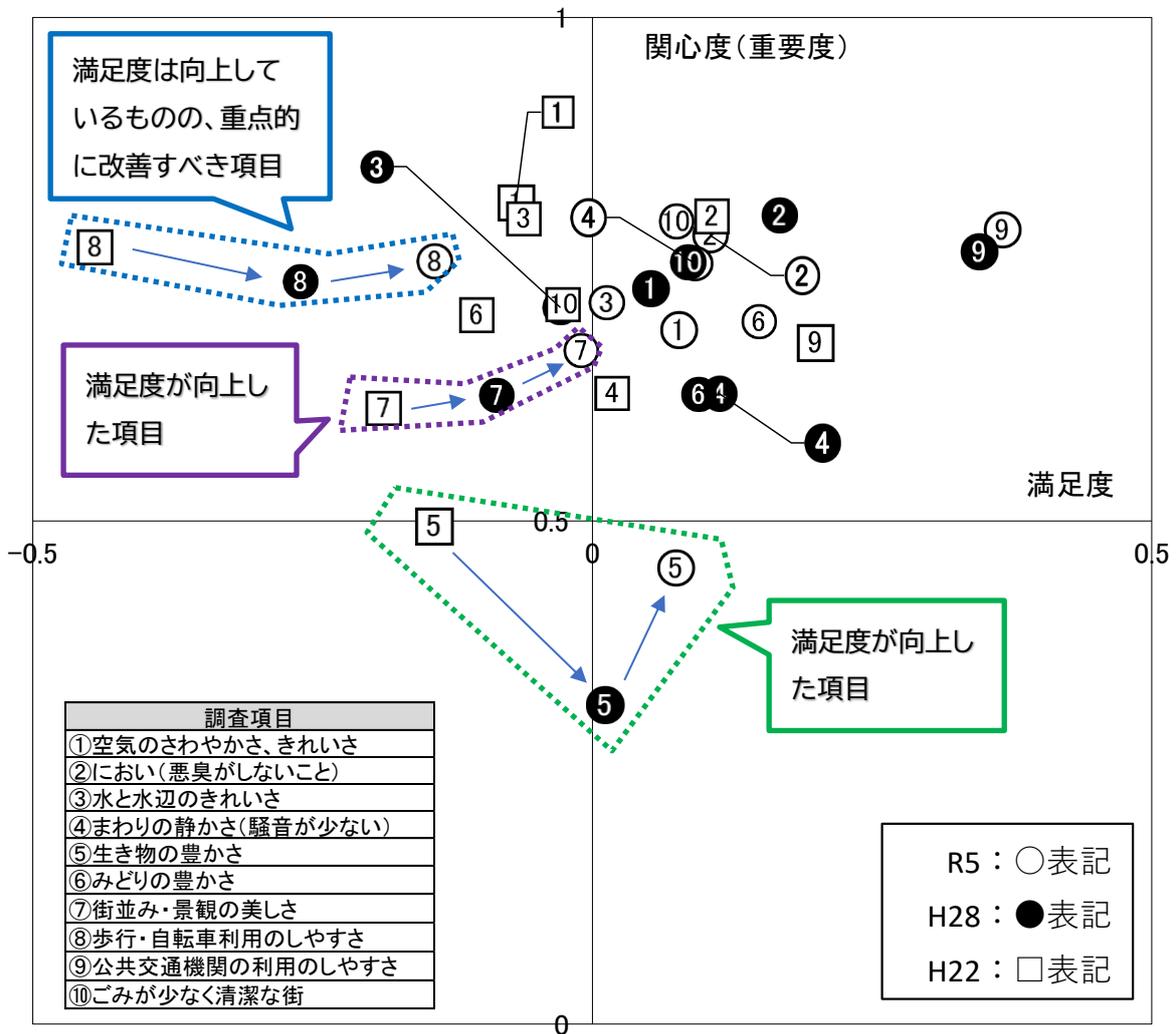
調査項目	関心度(重要度)			満足度		
	H22	H28	R5	H22	H28	R5
1.空気のさわやかさ、きれいさ	0.81618	0.73077	0.68977	-0.06831	0.05210	0.07718
2.におい(悪臭がしないこと)	0.80263	0.80386	0.78394	0.10673	0.16700	0.10500
3.水と水辺のきれいさ	0.80030	0.71181	0.71700	-0.06140	-0.02840	0.01252
4.まわりの静かさ(騒音が少ない)	0.62645	0.62627	0.75579	0.01744	0.11368	0.09175
5.生き物の豊かさ	0.49408	0.31687	0.45305	-0.14140	0.01122	0.07479
6.みどりの豊かさ	0.70468	0.62602	0.69769	-0.10350	0.09495	0.14867
7.街並み・景観の美しさ	0.61192	0.62474	0.66942	-0.18696	-0.08537	-0.01005
8.歩行・自転車利用のしやすさ	0.77193	0.73770	0.75828	-0.44461	-0.26109	-0.14070
9.公共交通機関の利用のしやすさ	0.67690	0.76742	0.78960	0.19913	0.34615	0.36628
10.ごみが少なく清潔な街	0.71491	0.75711	0.79770	-0.02624	0.08534	0.07500
平均	0.70200	0.67026	0.71122	-0.07091	0.04956	0.08004

※ 項目ごとの回答結果を下記の通り点数化し、平均値を算出した。

関心度⇒関心がある:1点、少し関心がある:0.5点、どちらともいえない:0点、あまり関心がない:-0.5点、関心がない:-1点

満足度⇒満足:1点、やや満足:0.5点、どちらともいえない:0点、やや不満:-0.5点、不満:-1点

- ・ H22～R5 にかけて、多くの項目の満足度が上がっており、「⑤生き物の豊かさ」「⑥みどりの豊かさ」「⑦街並み・景観の美しさ」「⑨公共交通機関の利用しやすさ」は上げ幅が大きい。
- ・ 一方、「⑧歩行・自転車利用のしやすさ」は、満足度が大きく向上しているものの、依然として満足度が低い  
ため重点的に改善すべき項目である。



<大田区の環境に対する区民の関心度(重要度)・満足度の散布図>

## 2.3 大田区の環境課題に対するあなたの関心度・進捗度について

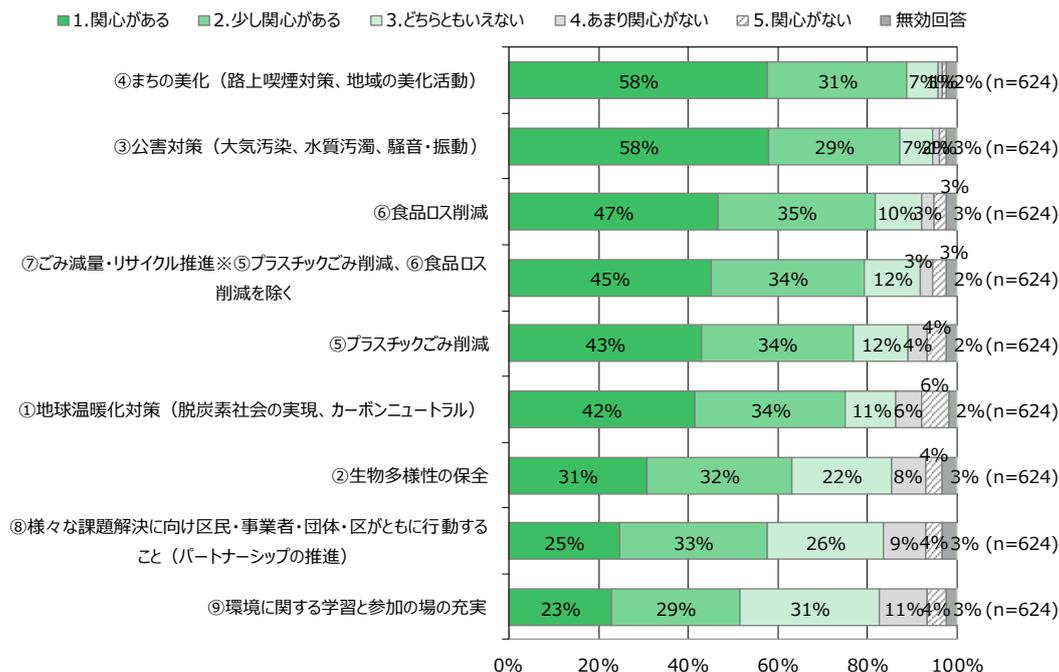
【設問 6】大田区が取組を進めるべき環境課題は多岐にわたっています。次に挙げるそれぞれの環境課題について、どの程度関心があるか、また、課題に対する大田区が取組がどの程度進んでいると思うか、あなたの考えに最も近いものを1つずつ選び○をつけてください。

### 1) 全体集計【関心度】

- ・「関心がある」、「少し関心がある」と回答した割合の合計は、「④まちの美化(路上喫煙対策、地域の美化活動)」、「③公害対策(大気汚染、水質汚濁、騒音・振動)」、「⑥食品ロス削減」の順に高く、いずれも80%を上回っている。
- ・一方、「⑨環境に関する学習と参加の場の充実」について「関心がある」と回答した割合は23%と最も低く、「⑧様々な課題解決に向け区民・事業者・団体・区がともに行動すること(パートナーシップの推進)」が25%、「②生物多様性の保全」が31%となっている。

	関心度					
	関心がある	少し関心がある	どちらともいえない	あまり関心がない	関心がない	無回答
④まちの美化(路上喫煙対策、地域の美化活動)	58%	31%	7%	1%	1%	2%
③公害対策(大気汚染、水質汚濁、騒音・振動)	58%	29%	7%	2%	1%	3%
⑥食品ロス削減	47%	35%	10%	3%	3%	3%
⑦ごみ減量・リサイクル推進※⑤プラスチックごみ削減、⑥食品ロス削減を除く	45%	34%	12%	3%	3%	2%
⑤プラスチックごみ削減	43%	34%	12%	4%	4%	2%
①地球温暖化対策(脱炭素社会の実現、カーボンニュートラル)	42%	34%	11%	6%	6%	2%
②生物多様性の保全	31%	32%	22%	8%	4%	3%
⑧様々な課題解決に向け区民・事業者・団体・区がともに行動すること(パートナーシップの推進)	25%	33%	26%	9%	4%	3%
⑨環境に関する学習と参加の場の充実	23%	29%	31%	11%	4%	3%

※関心度が高い順に回答番号を並び替えている。



※関心度が高い順に回答番号を並び替えている。

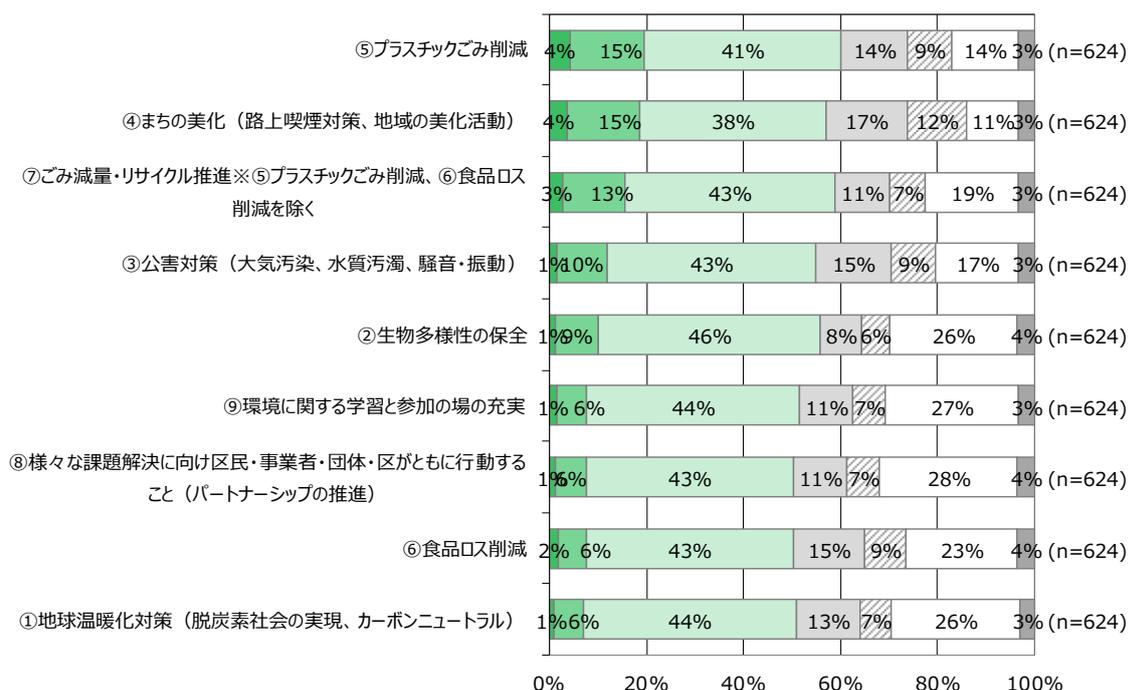
## 2) 全体集計【区の実施の進捗】

- ・ 全体を通じて「進んでいる」、「やや進んでいる」と回答した割合が低く、「ふつう」、「分からない」と回答した割合が高い。
- ・ 「進んでいる」、「やや進んでいる」と回答した割合の合計は、「④まちの美化(路上喫煙対策、地域の美化活動)」、「⑤プラスチックごみ削減」が19%と最も高く、次いで「⑦ごみ減量・リサイクル推進」が16%となっている。
- ・ 一方、「遅れている」、「やや遅れている」と回答した割合の合計は、「③公害対策(大気汚染、水質汚濁、騒音・振動)」、「④まちの美化(路上喫煙対策、地域の美化活動)」、「⑤プラスチックごみ削減」、「⑥食品ロス削減」が20%を上回っている。

	区の実施の進捗						
	進んでいる	やや進んでいる	ふつう	やや遅れている	遅れている	分からない	無回答
⑤プラスチックごみ削減	4%	15%	41%	14%	9%	14%	3%
④まちの美化(路上喫煙対策、地域の美化活動)	4%	15%	38%	17%	12%	11%	3%
⑦ごみ減量・リサイクル推進※⑤プラスチックごみ削減、⑥食品ロス削減を除く	3%	13%	43%	11%	7%	19%	3%
③公害対策(大気汚染、水質汚濁、騒音・振動)	1%	10%	43%	15%	9%	17%	3%
②生物多様性の保全	1%	9%	46%	8%	6%	26%	4%
⑨環境に関する学習と参加の場の充実	1%	6%	44%	11%	7%	27%	3%
⑧様々な課題解決に向け区民・事業者・団体・区がともに行動すること(パートナーシップの推進)	1%	6%	43%	11%	7%	28%	4%
⑥食品ロス削減	2%	6%	43%	15%	9%	23%	4%
①地球温暖化対策(脱炭素社会の実現、カーボンニュートラル)	1%	6%	44%	13%	7%	26%	3%

※区の実施の進捗が高い順に回答番号を並び替えている。

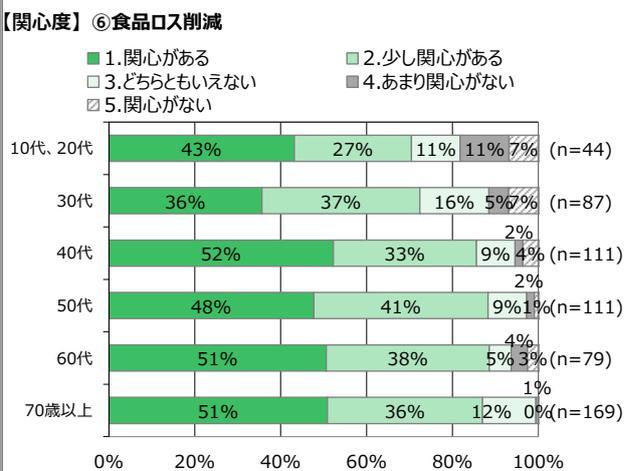
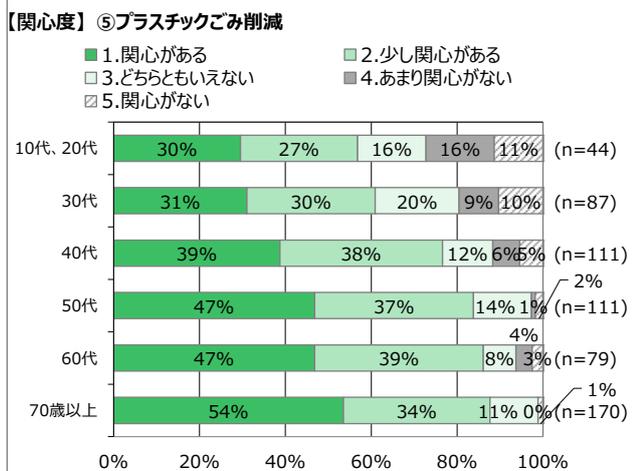
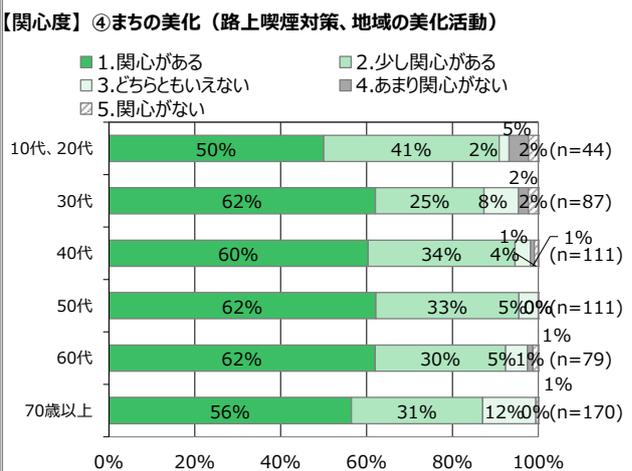
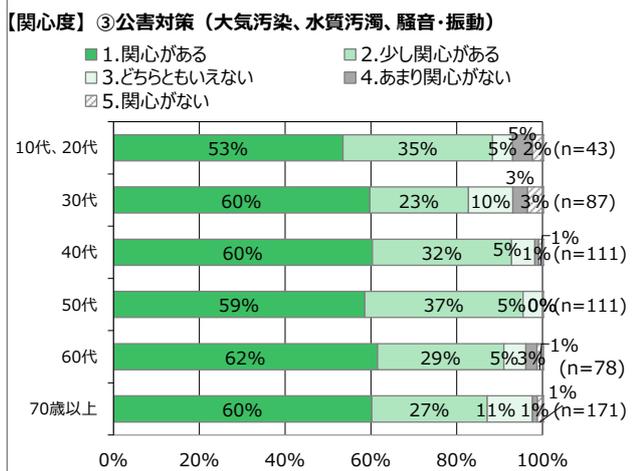
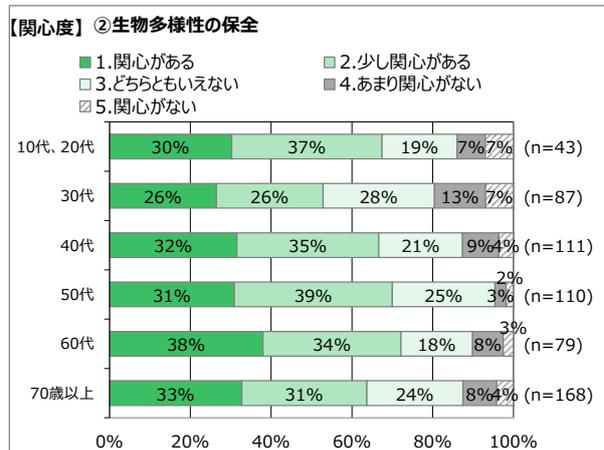
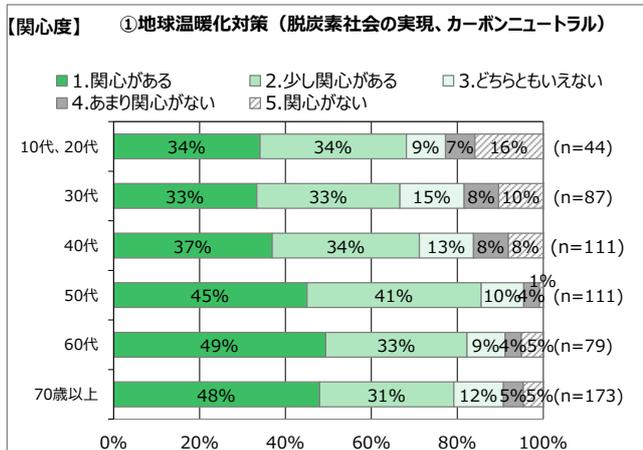
■ 1. 進んでいる ■ 2. やや進んでいる ■ 3. ふつう ■ 4. やや遅れている ■ 5. 遅れている □ 6. 分からない ■ 無効回答

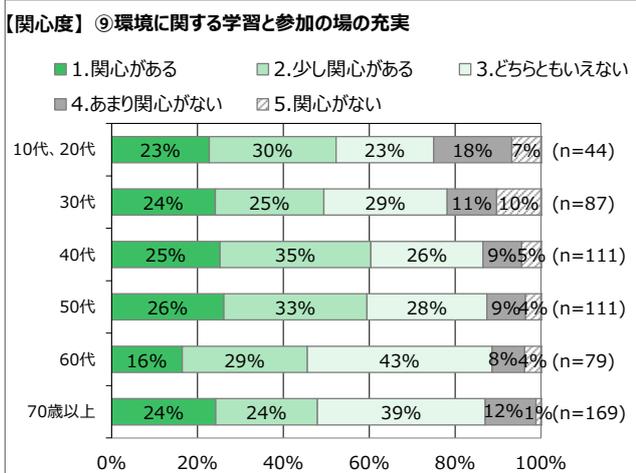
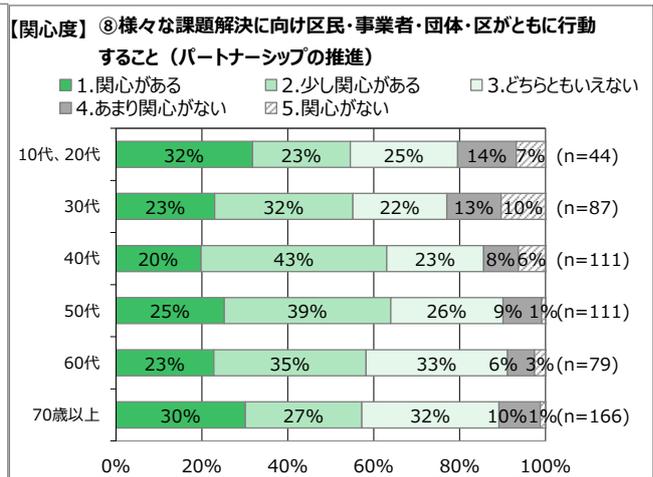
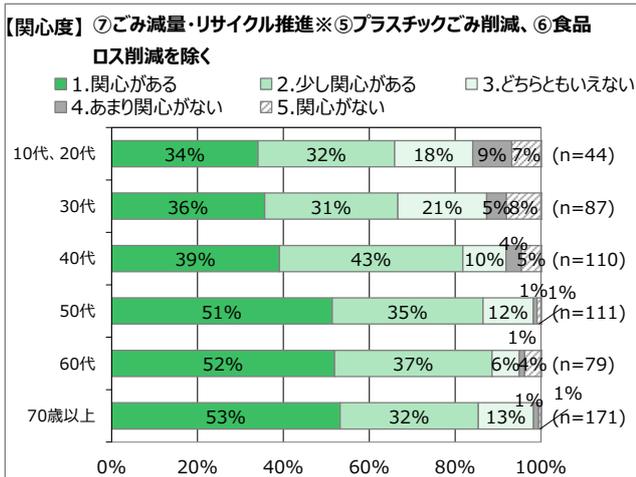


※区の実施の進捗が高い順に回答番号を並び替えている。

### 3) クロス集計【年代×関心度】

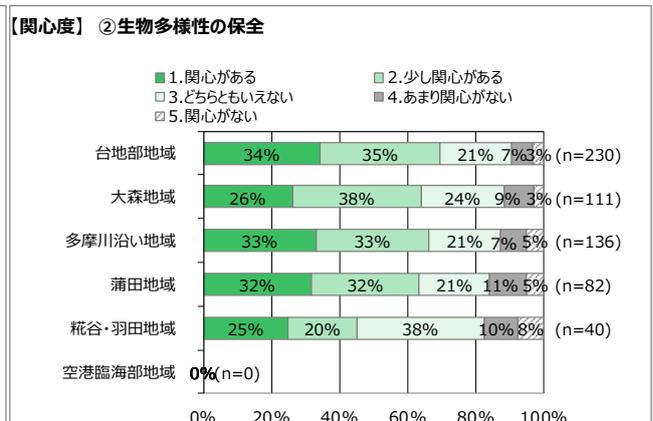
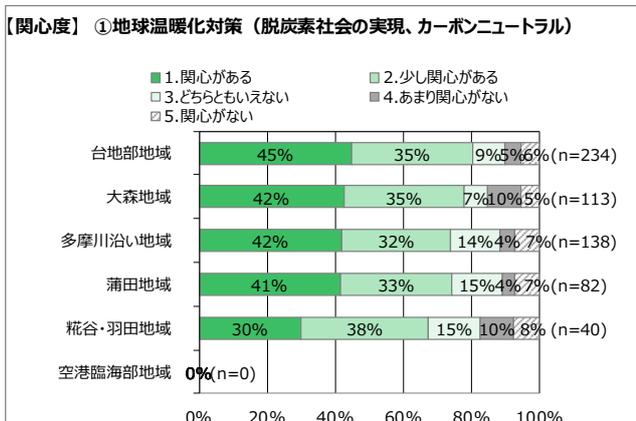
- 「①地球温暖化対策(脱炭素社会の実現、カーボンニュートラル)」、「⑤プラスチックごみ削減」、「⑥食品ロス削減」、「⑦ごみ減量・リサイクル推進」について「関心がある」、「少し関心がある」と回答した割合の合計は、年齢が上がるにつれて概ね高い傾向となっている。
- 「⑧様々な課題解決に向け区民・事業者・団体・区がともに行動すること(パートナーシップの推進)」、「⑨環境に関する学習と参加の場の充実」について「関心がある」、「少し関心がある」と回答した割合の合計は、40代、50代が半数以上と高い傾向となっている。

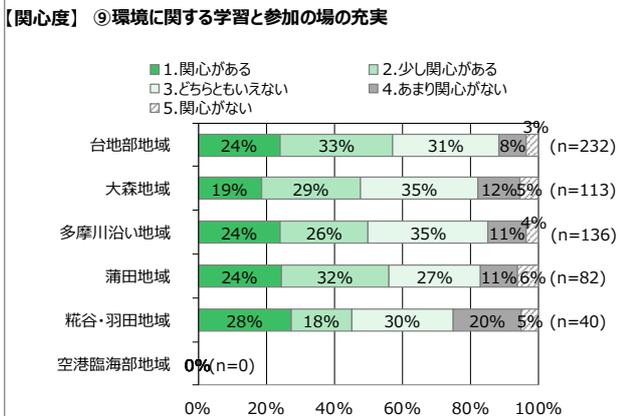
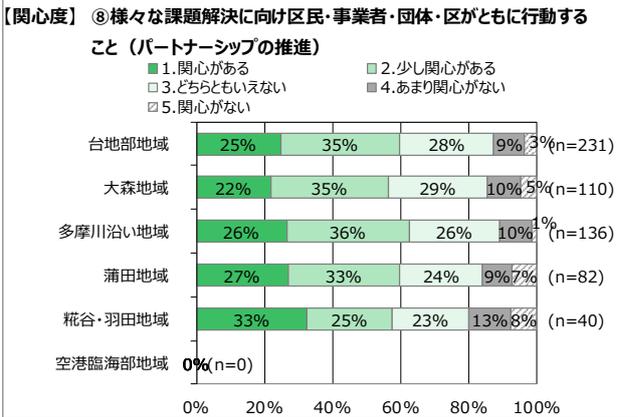
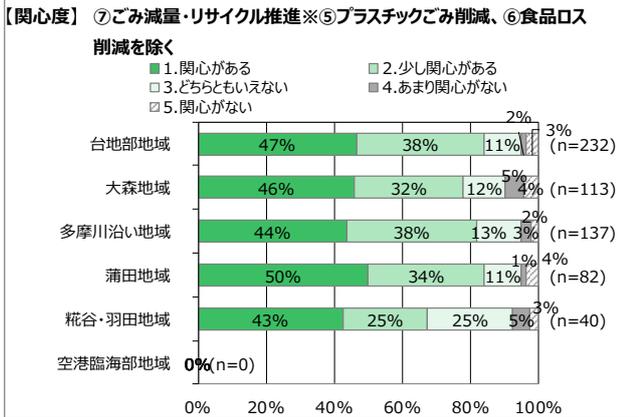
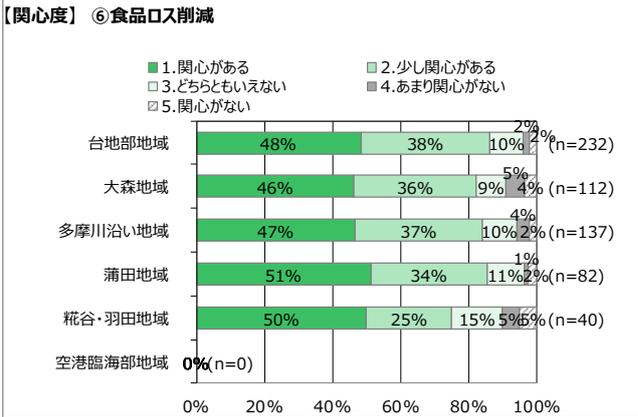
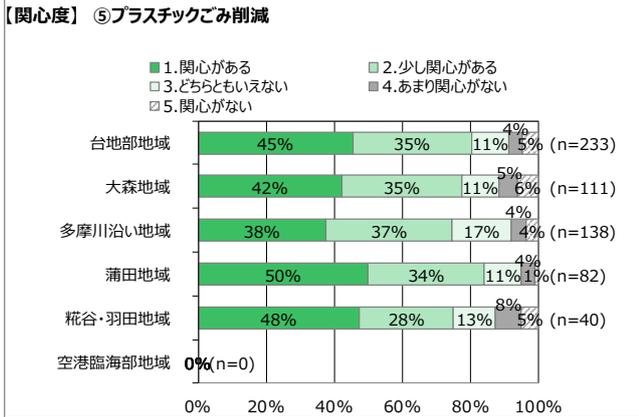
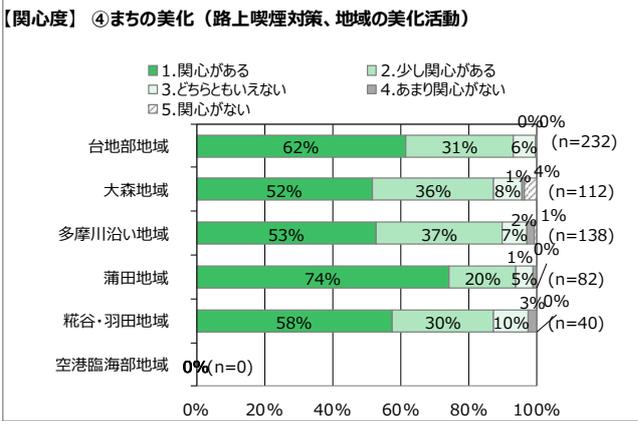
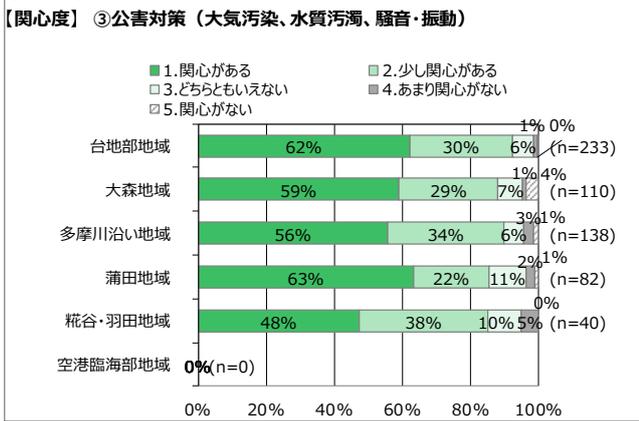




#### 4) クロス集計【居住地区×関心度】

- ・ 全体を通じて「関心がある」、「少し関心がある」と回答した割合の合計は、「台地部地域」が最も高い傾向となっている。
- ・ 一方、「糎谷・羽田地域」は、「関心がある」、「少し関心がある」と回答した割合の合計が、他地域よりも低い傾向となっている。





5) 参考:過年度の類似設問【関心度】

「【設問 6】:大田区が取組を進めるべき環境課題」について過年度アンケートと類似の設問・回答結果を整理した。

設問の趣旨は同様であるが、設問の文章、回答の選択肢及び尺度が異なることに留意が必要である。

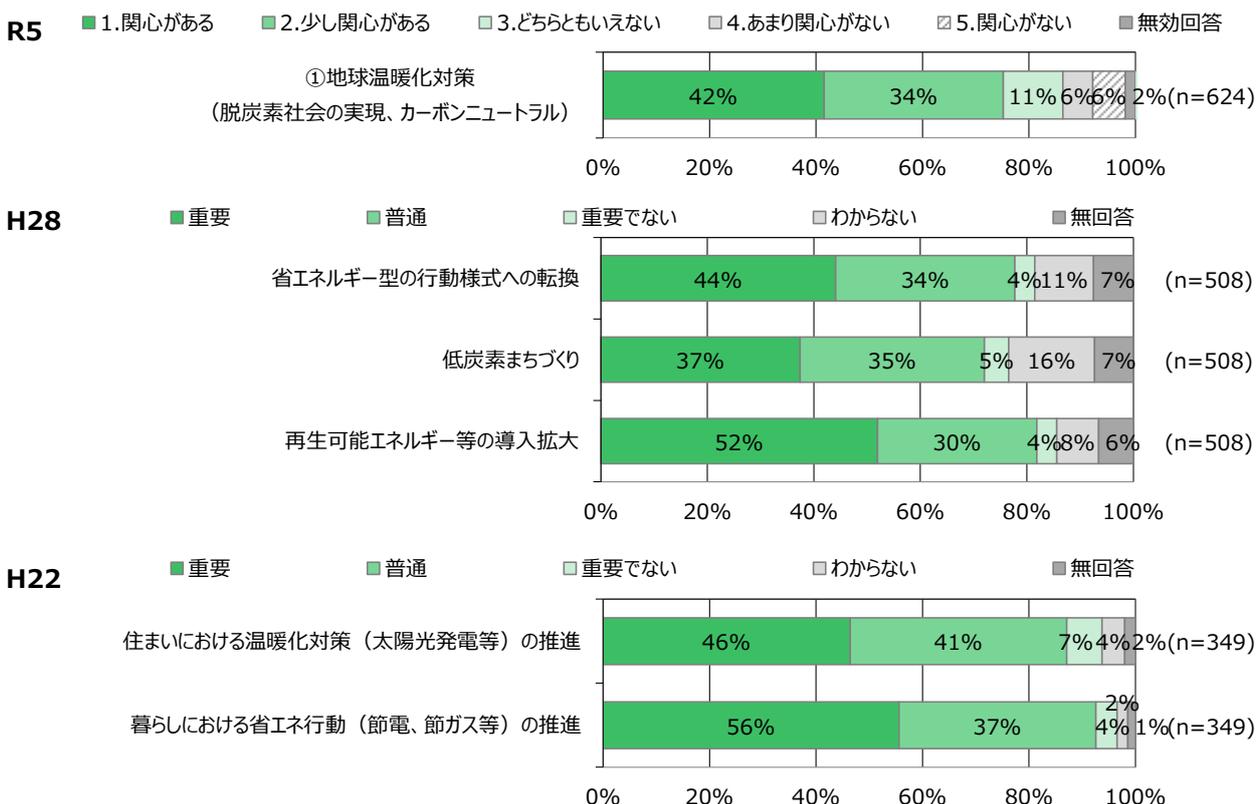
<設問>

【R5】大田区が取組を進めるべき環境課題は多岐にわたっています。次に挙げるそれぞれの環境課題について、どの程度関心があるか、また、課題に対する大田区が取組がどの程度進んでいると思うか、あなたの考えに最も近いものを1つずつ選び○をつけてください。

【H28、H22】環境基本計画では、6つの基本目標を達成するための、大田区が取り組むべき具体的な「施策」を定めています。あなたが考える施策の「重要度」について、回答欄の該当する番号に○をつけて下さい。

<集計結果>

①地球温暖化対策(脱炭素社会の実現、カーボンニュートラル)



## ②生物多様性の保全

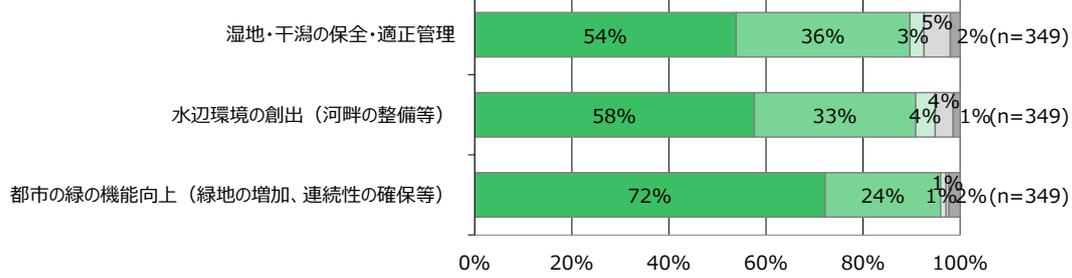
R5 ■ 1.関心がある ■ 2.少し関心がある ■ 3.どちらともいえない ■ 4.あまり関心がない ■ 5.関心がない ■ 無効回答



H28 ■ 重要 ■ 普通 ■ 重要でない ■ わからない ■ 無回答

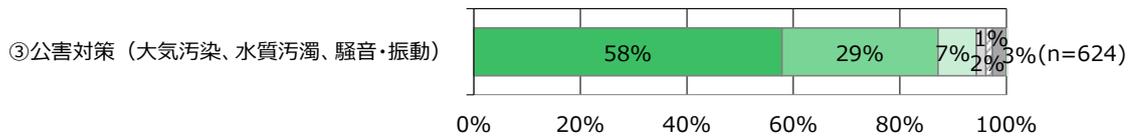


H22 ■ 重要 ■ 普通 ■ 重要でない ■ わからない ■ 無回答

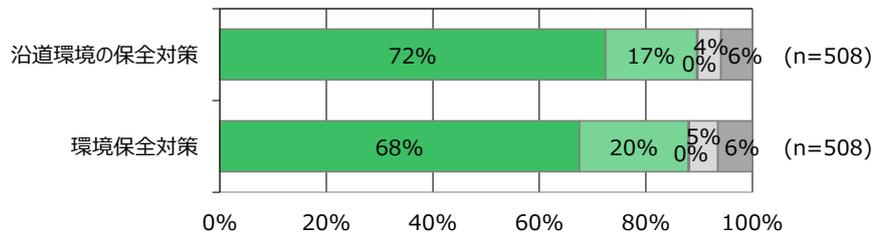


## ③公害対策(大気汚染、水質汚濁、騒音・振動)

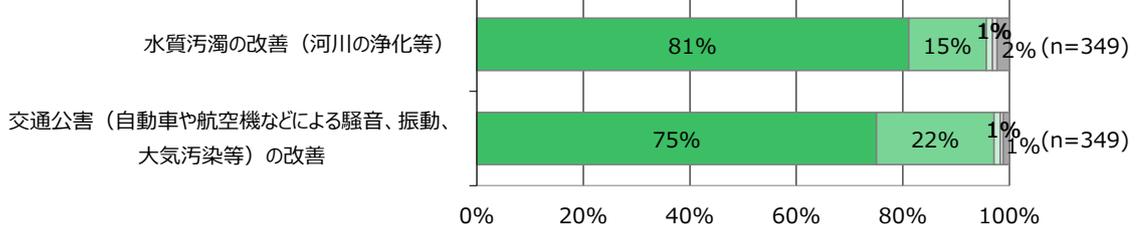
R5 ■ 1.関心がある ■ 2.少し関心がある ■ 3.どちらともいえない ■ 4.あまり関心がない ■ 5.関心がない ■ 無効回答



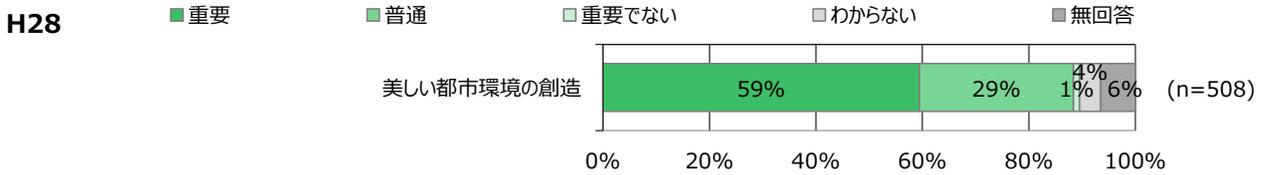
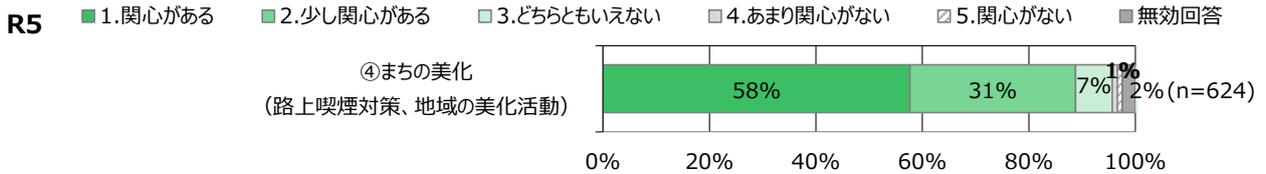
H28 ■ 重要 ■ 普通 ■ 重要でない ■ わからない ■ 無回答



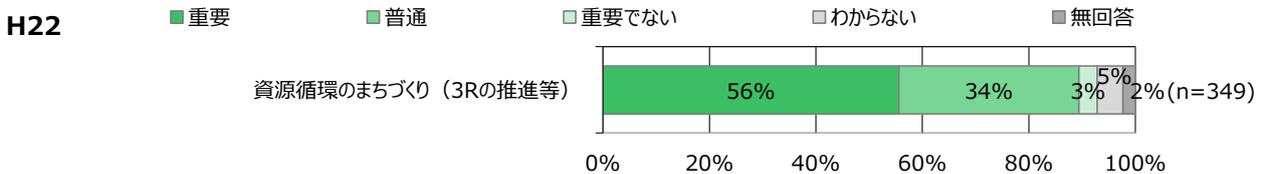
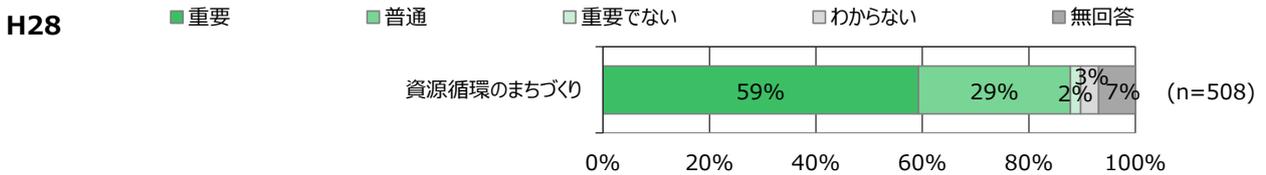
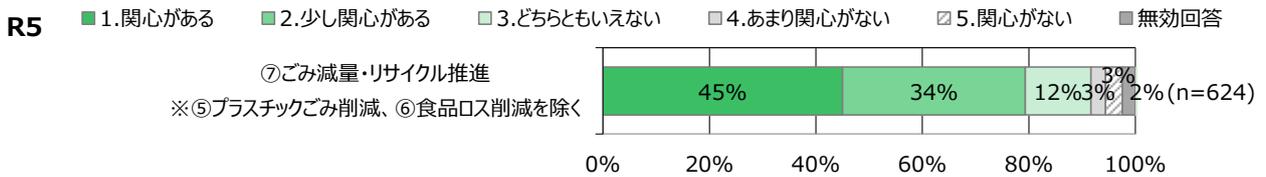
H22 ■ 重要 ■ 普通 ■ 重要でない ■ わからない ■ 無回答



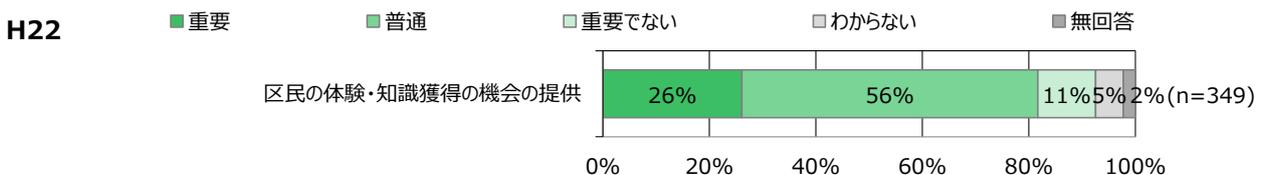
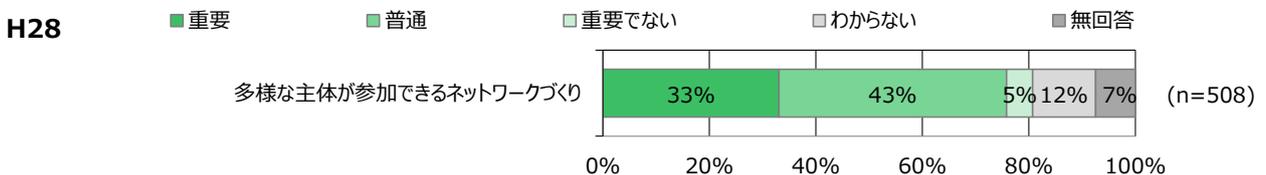
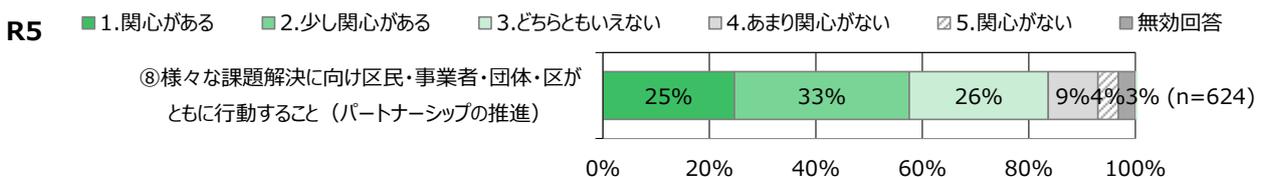
④まちの美化(路上喫煙対策、地域の美化活動)



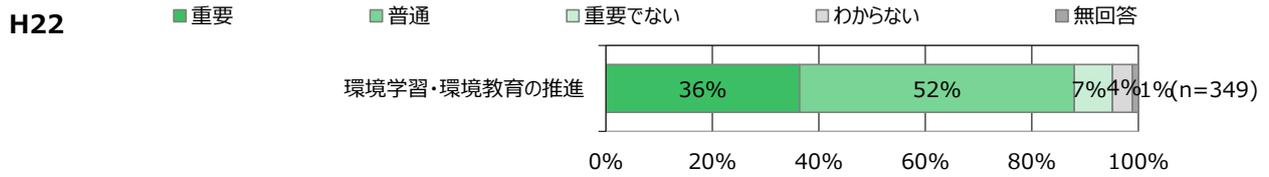
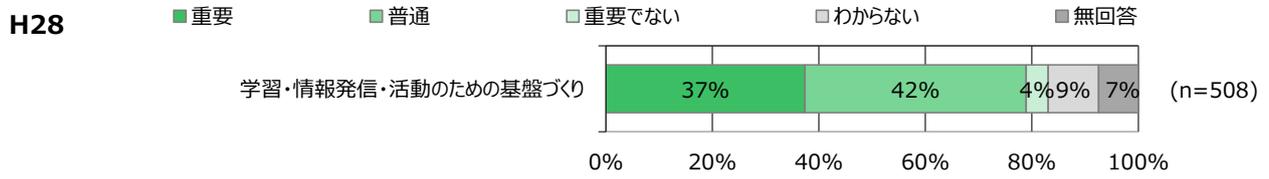
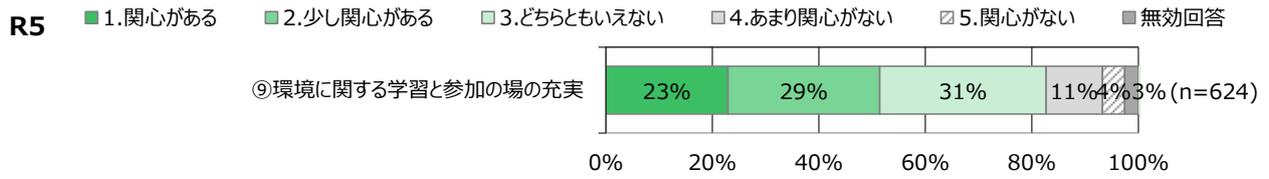
⑦ごみ減量・リサイクル推進 ※⑤プラスチックごみ削減、⑥食品ロス削減を除く



⑧様々な課題解決に向け区民・事業者・団体・区がともに行動すること(パートナーシップの推進)



⑨環境に関する学習と参加の場の充実



## 2.4 環境に関する情報の取得方法について

【設問 7】環境に関する話題に関心を持つのは、どのような情報に触れる時ですか？該当する情報元を選択してください。(〇はいくつでも)

### 1) 全体集計

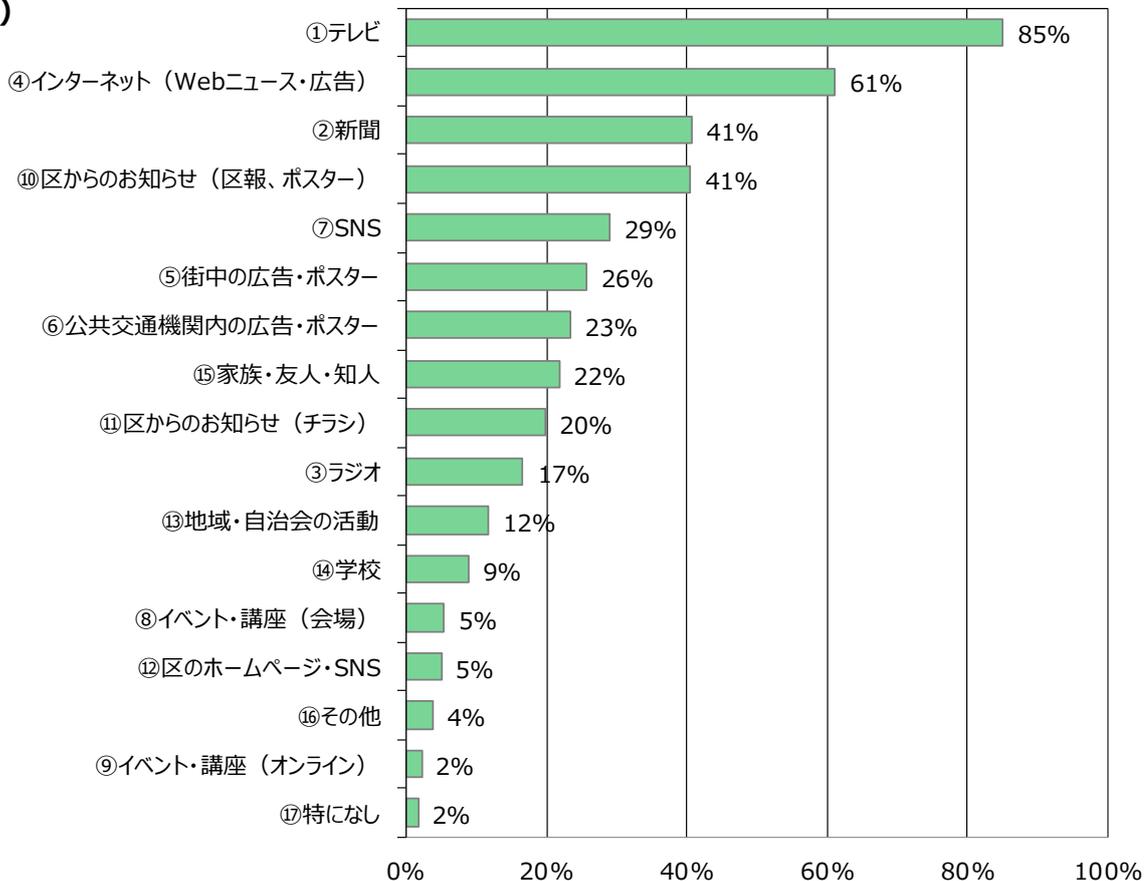
・「①テレビ」が 85%と最も高く、次いで「④インターネット(Web ニュース・広告)」が 61%、「②新聞」、「⑩区からのお知らせ(区報、ポスター)」が 41%となっている。また、「⑤街中の広告・ポスター」、「⑥公共交通機関内の広告・ポスター」、「⑦SNS」、「⑪区からのお知らせ(チラシ)」、「⑮家族・友人・知人」も 20%以上となっており、多様な媒体から環境に関する情報を得ている。

①テレビ	85%	③ラジオ	17%
④インターネット(Web ニュース・広告)	61%	⑬地域・自治会の活動	12%
②新聞	41%	⑭学校	9%
⑩区からのお知らせ(区報、ポスター)	41%	⑧イベント・講座(会場)	5%
⑦SNS	29%	⑫区のホームページ・SNS	5%
⑤街中の広告・ポスター	26%	⑯その他	4%
⑥公共交通機関内の広告・ポスター	23%	⑨イベント・講座(オンライン)	2%
⑮家族・友人・知人	22%	⑰特になし	2%
⑪区からのお知らせ(チラシ)	20%		

※凡例 〇: マスメディア、■: インターネット、■: イベント・講座、■: 広告・ポスター、黒字: その他

※回答率が高い順に回答番号を並び替えている。

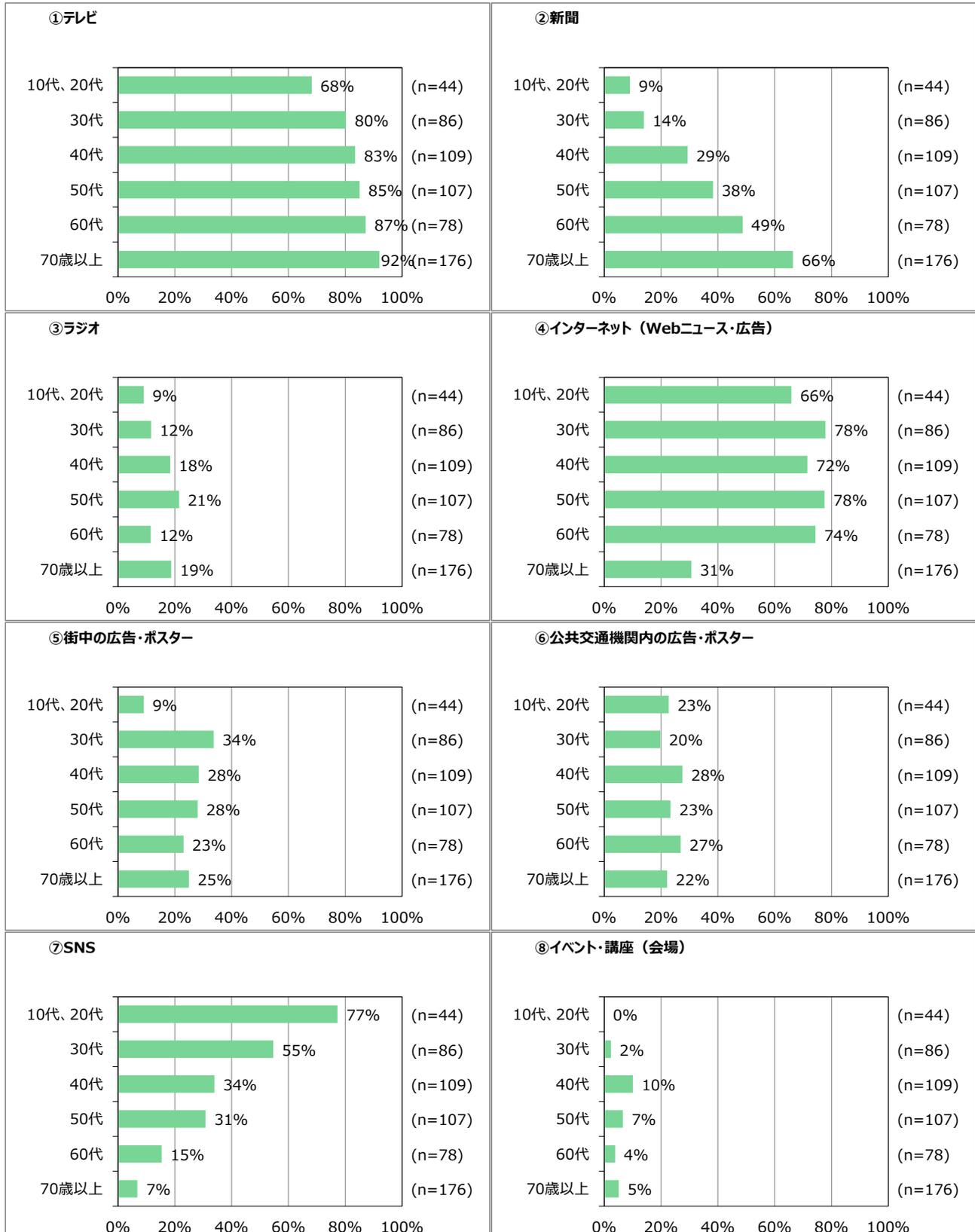
(n=607)



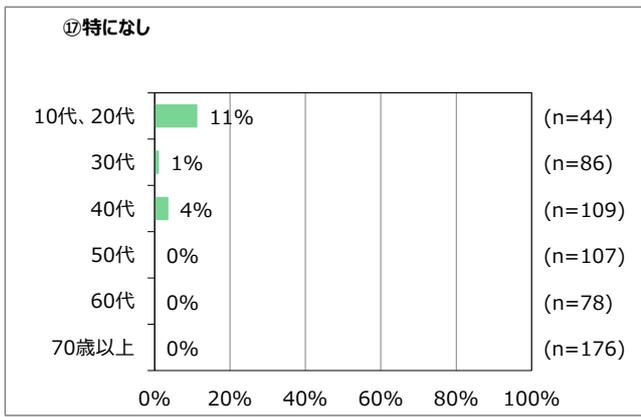
※回答率が高い順に回答番号を並び替えている。

## 2) クロス集計【年代】

- ・「②新聞」、「⑩区からのお知らせ(区報、ポスター)」は、60代、70歳以上が高い傾向となっている。
- ・一方、「⑦SNS」は若年層(10代、20代)が高い傾向となっている。
- ・「⑥公共交通機関内の広告・ポスター」、「⑧イベント・講座(会場)」、「⑫区のホームページ・SNS」、「⑮家族・友人・知人」は年代による大きな差はみられない。







## 2.5 地球温暖化・エネルギー問題への関心について

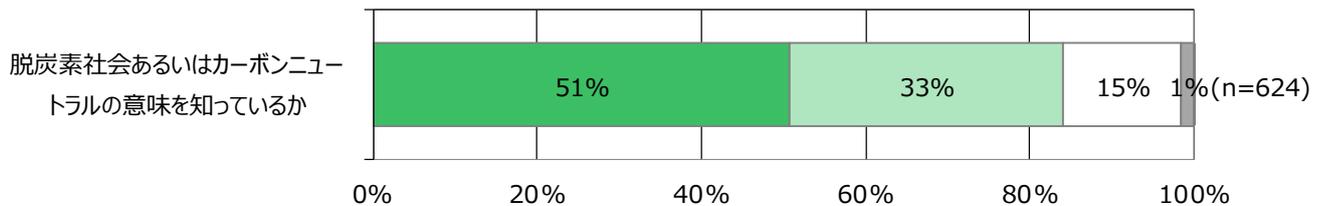
【設問 8】大田区はゼロカーボンシティを宣言し、脱炭素社会の実現を目指しています。あなたは脱炭素社会あるいはカーボンニュートラルの意味を知っていますか？(○は1つ)

### 1) 全体集計

・「①脱炭素社会あるいはカーボンニュートラルの意味を知っている」と回答した割合が 51%と最も高く、次いで「②脱炭素社会あるいはカーボンニュートラルの意味は知らないが、言葉自体は聞いたことがある」が 33%となっている。

① 脱炭素社会あるいはカーボンニュートラルの意味を知っている	51%
② 脱炭素社会あるいはカーボンニュートラルの意味は知らないが、言葉自体は聞いたことがある	33%
③ 知らない	15%
無回答	1%

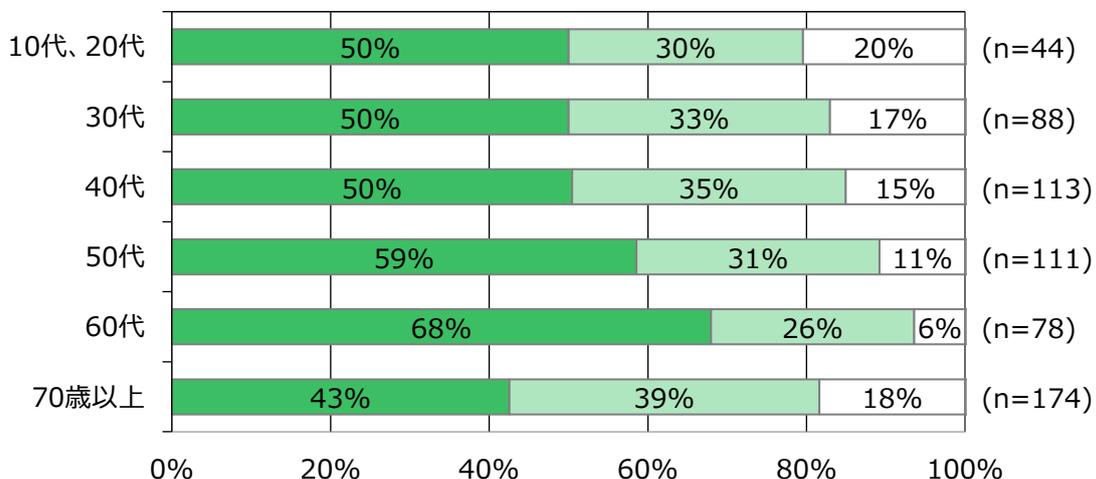
- 1. 脱炭素社会あるいはカーボンニュートラルの意味を知っている
- 2. 脱炭素社会あるいはカーボンニュートラルの意味は知らないが、言葉自体は聞いたことがある
- 3. 知らない
- 無効回答



### 2) クロス集計【年代】

・「①脱炭素社会あるいはカーボンニュートラルの意味を知っている」と回答した割合は、10代~40代で50%となっており、60代が68%と最も高い。  
 ・脱炭素社会あるいはカーボンニュートラルの意味を「③知らない」と回答した割合は、70代を除き、年代が上がるにつれて少なくなる。

- 1. 脱炭素社会あるいはカーボンニュートラルの意味を知っている
- 2. 脱炭素社会あるいはカーボンニュートラルの意味は知らないが、言葉自体は聞いたことがある
- 3. 知らない

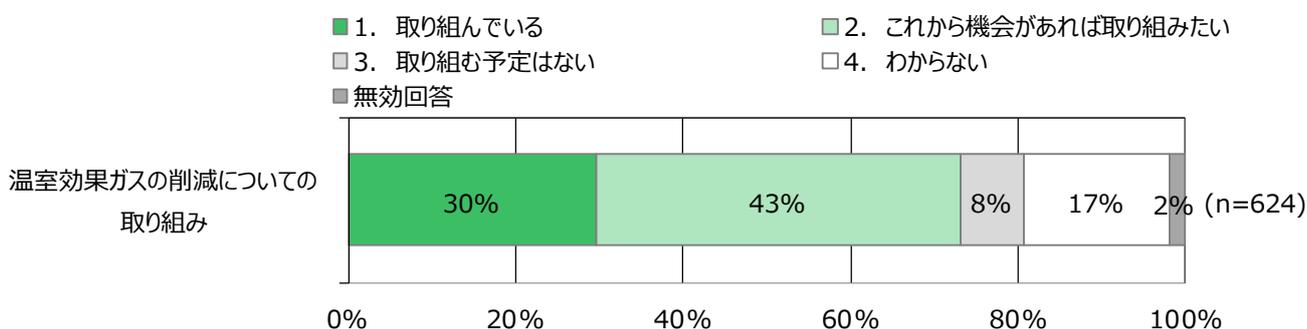


【設問 9-1】脱炭素社会あるいはカーボンニュートラルを実現するために、温室効果ガスの削減が必要です。あなたの住居や、日常生活の中で取り組んでいることはありますか？(○は1つ)

1) 全体集計

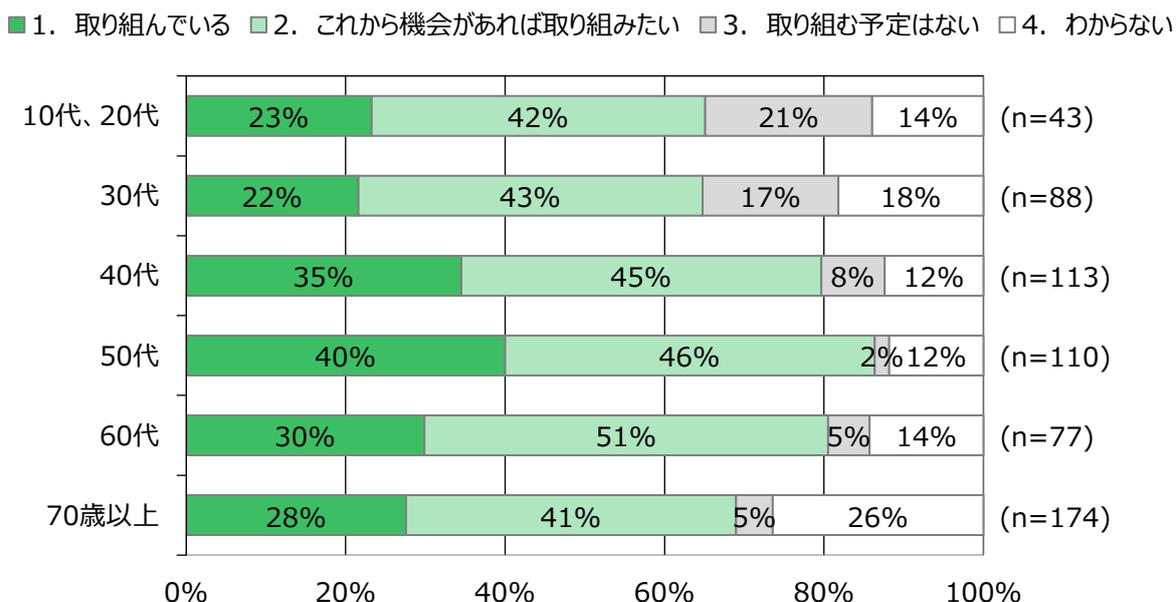
・「②これから機会があれば取り組みたい」と回答した割合が 43%と最も高く、次いで「①取り組んでいる」が 30%となっている。

① 取り組んでいる	30%
② これから機会があれば取り組みたい	43%
③ 取り組む予定はない	8%
④ わからない	17%
無効回答	2%



2) クロス集計【年代】

・「①取り組んでいる」、「②これから機会があれば取り組みたい」と回答した割合の合計は、40代～60代が80%以上と高い。  
 ・一方、「③取り組む予定はない」と回答した割合は、10代～30代が20%前後となっている。



【設問 9-2】「取り組んでいる」、「これから機会があれば取り組みたい」場合は、その取組内容を選択してください。(〇はいくつでも)

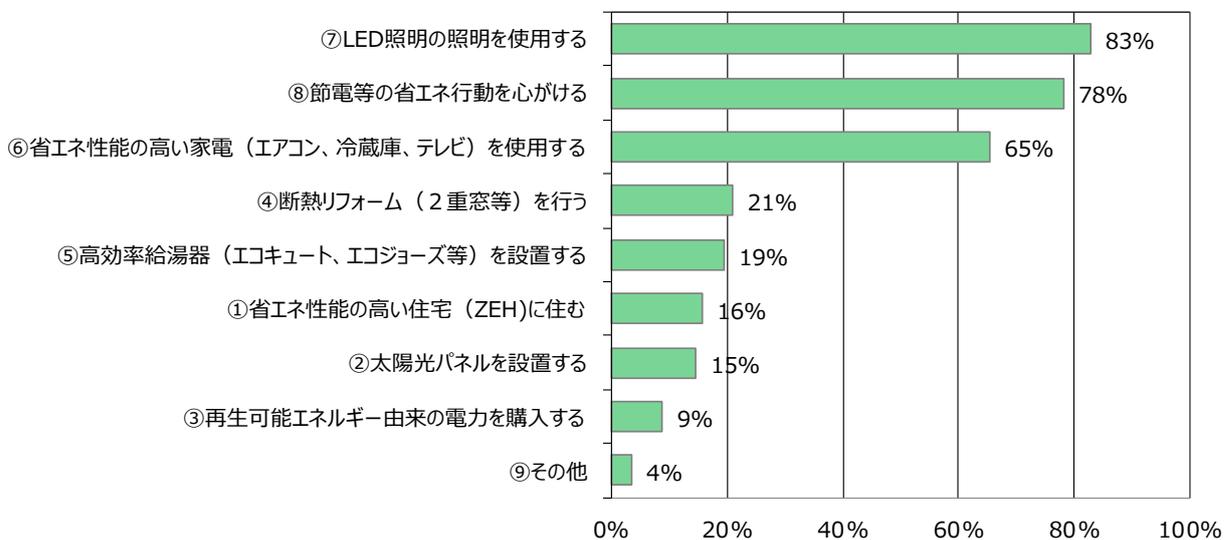
1) 全体集計

- ・【住居】のうち、「⑦LED 照明の照明を使用する」について回答した割合は、83%と最も高く、次いで「⑧節電等の省エネ行動を心がける」が 78%、「⑥省エネ性能の高い家電(エアコン、冷蔵庫、テレビ)を使用する」が 65%となっている。
- ・【移動】のうち、「⑥できるだけ徒歩や自転車で移動する」について回答した割合は 72%と最も高く、次いで「②公共交通機関での移動を心がける」が 69%となっている。

【住居】	
⑦ LED 照明の照明を使用する	83%
⑧ 節電等の省エネ行動を心がける	78%
⑥ 省エネ性能の高い家電(エアコン、冷蔵庫、テレビ)を使用する	65%
④ 断熱リフォーム(2重窓等)を行う	21%
⑤ 高効率給湯器(エコキュート、エコジョーズ等)を設置する	19%
① 省エネ性能の高い住宅(ZEH)に住む	16%
② 太陽光パネルを設置する	15%
③ 再生可能エネルギー由来の電力を購入する	9%
⑨ その他	4%

※回答率が高い順に回答番号を並び替えている。

【住居】 (n=453)

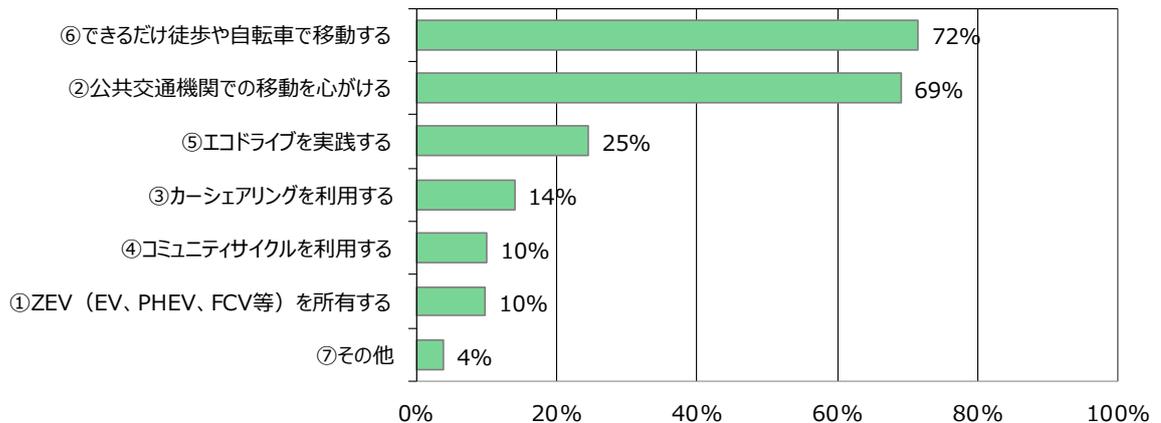


※回答率が高い順に回答番号を並び替えている。

【移動】	
⑥ できるだけ徒歩や自転車で移動する	72%
② 公共交通機関での移動を心がける	69%
⑤ エコドライブを実践する	25%
③ カーシェアリングを利用する	14%
④ コミュニティサイクルを利用する	10%
① ZEV(EV、PHEV、FCV等)を所有する	10%
⑦ その他	4%

※回答率が高い順に回答番号を並び替えている。

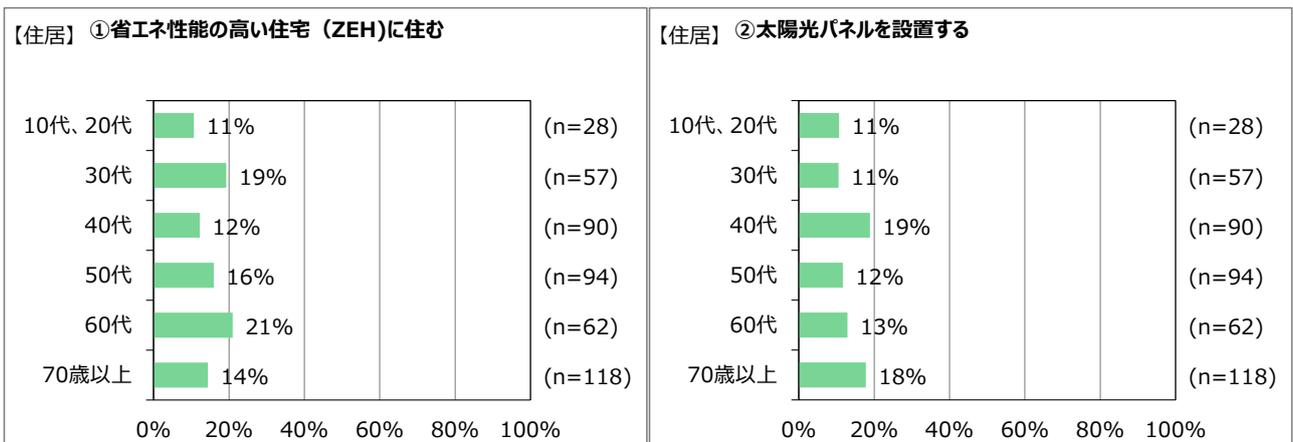
【移動】 (n=436)

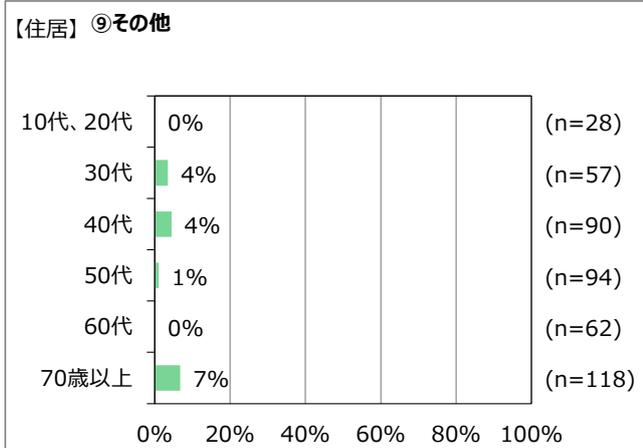
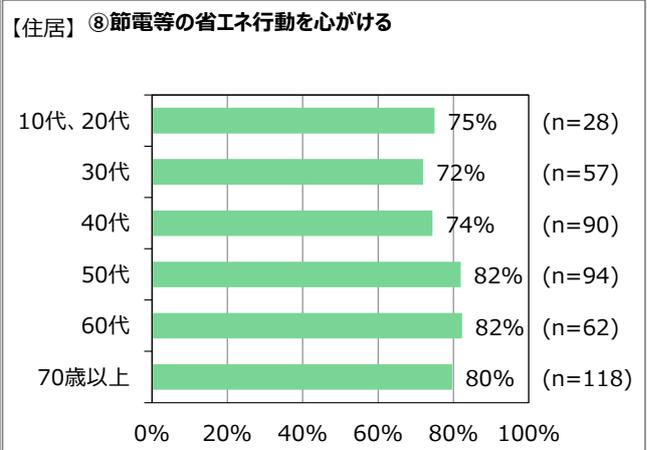
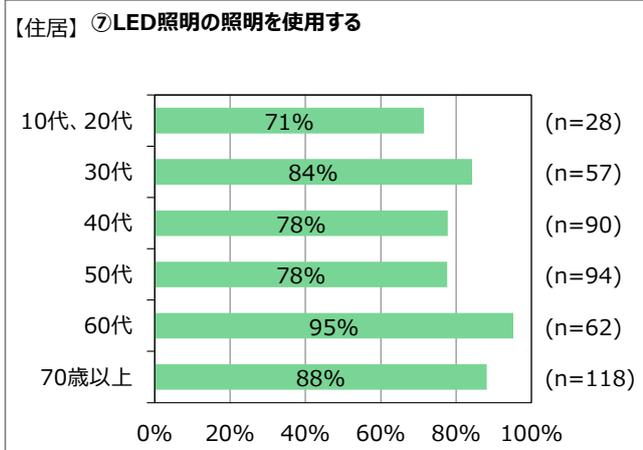
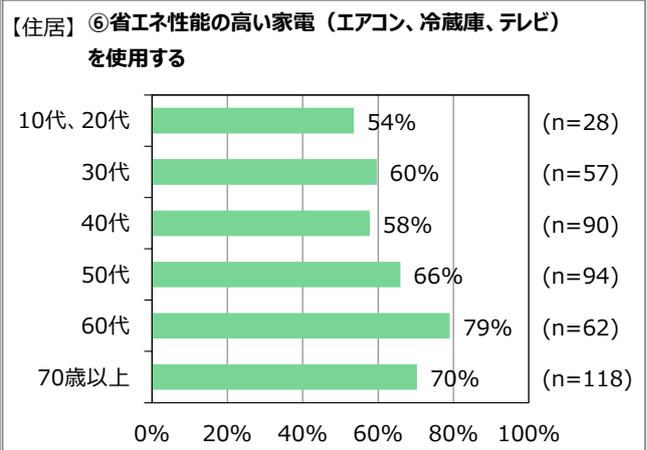
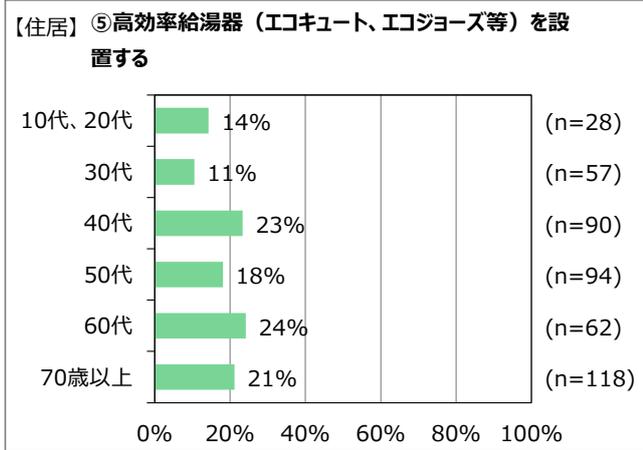
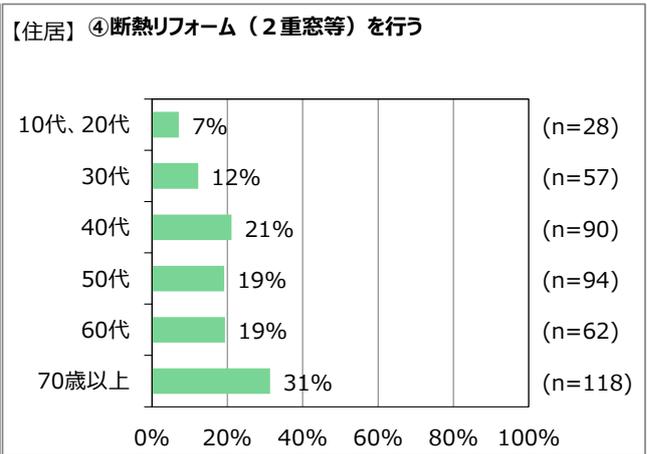
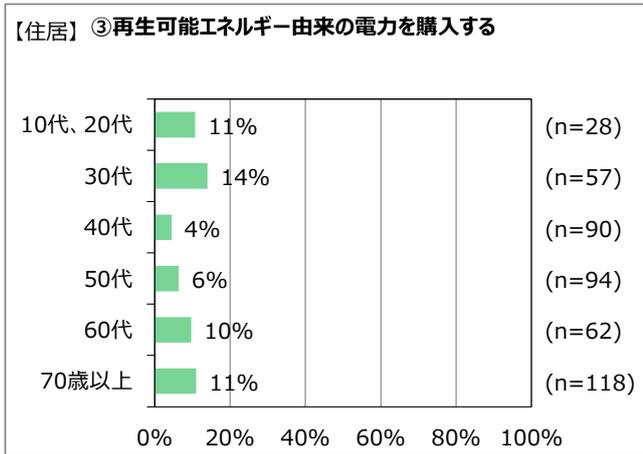


※回答率が高い順に回答番号を並び替えている。

2) クロス集計【年代×住居】

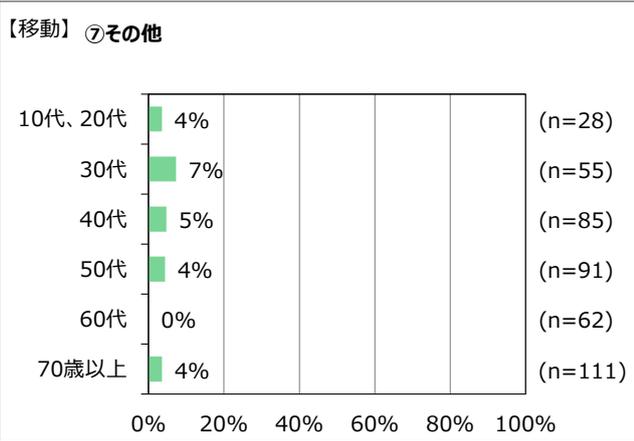
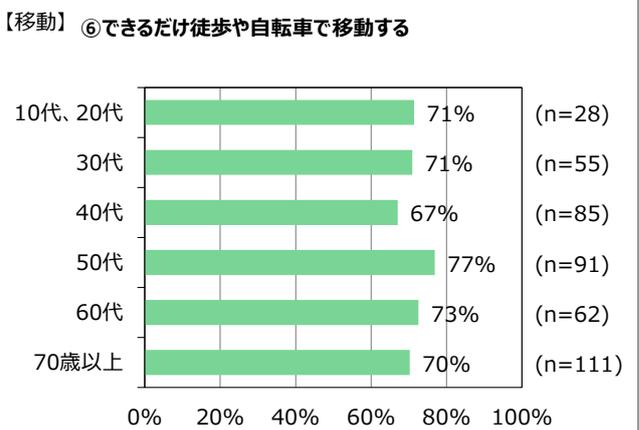
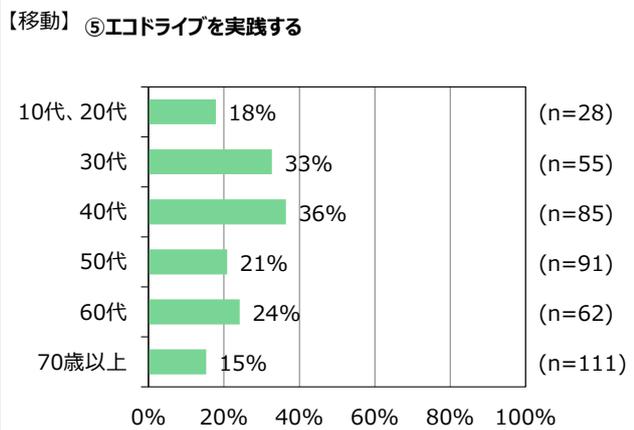
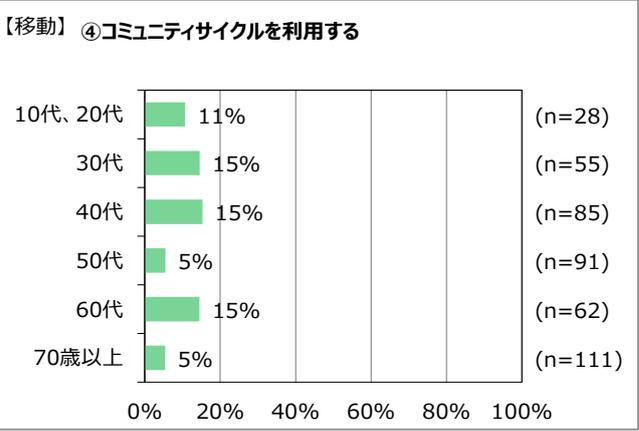
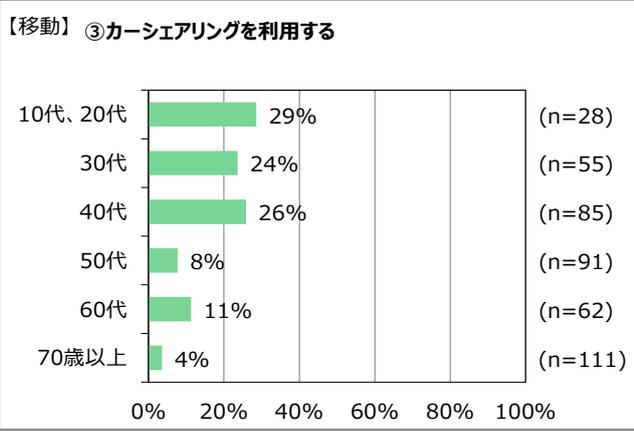
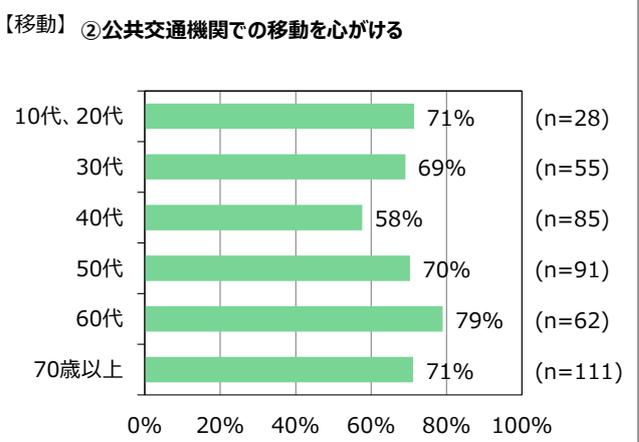
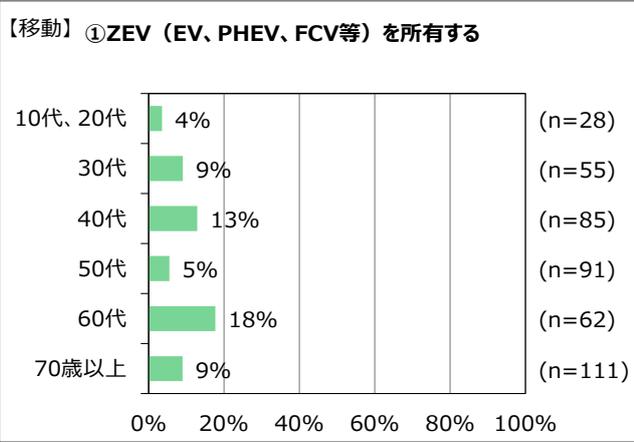
・年代による大きな差異は見られないものの、「⑥省エネ性能の高い家電(エアコン、冷蔵庫、テレビ)を使用する」、「⑦LED 照明の照明を使用する」、「⑧節電等の省エネ行動を心がける」について回答した割合は、60代が高い。





### 3) クロス集計【年代×移動】

- ・「③カーシェアリングを利用する」について回答した割合は、10代～40代が20%以上と高い。
- ・「④コミュニティサイクルを利用する」、「⑤エコドライブを実践する」について回答した割合は、20代、50代、70歳以上が低い。



#### 4) 参考:過年度の類似設問【省エネ機器・設備】

「【設問 9】:家庭における温室効果ガス削減への取組状況」について過年度アンケートと類似の設問・回答結果を整理した。

設問の趣旨は同様であるが、設問の文章、回答の選択肢及び尺度が異なることに留意が必要である。

#### <設問>

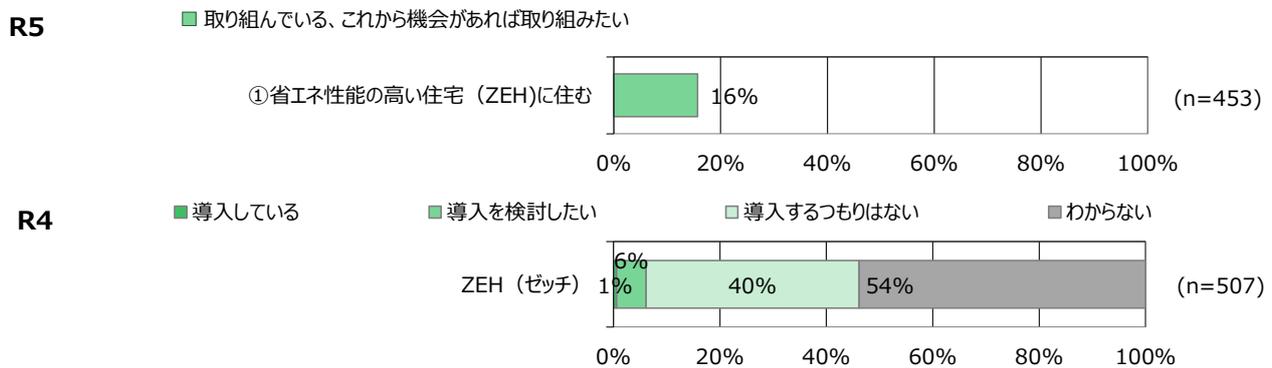
【R5】脱炭素社会あるいはカーボンニュートラルを実現するために、温室効果ガスの削減が必要です。あなたの住居や、日常生活の中で取り組んでいることはありますか？(○は1つ)「取り組んでいる」、「これから機会があれば取り組みたい」場合は、その取組内容を選択してください。(○はいくつでも)

【R4】以下の省エネルギー・再生可能エネルギー設備の設置・利用状況について、該当する番号に○をつけてください。(項目ごとに○はひとつ)

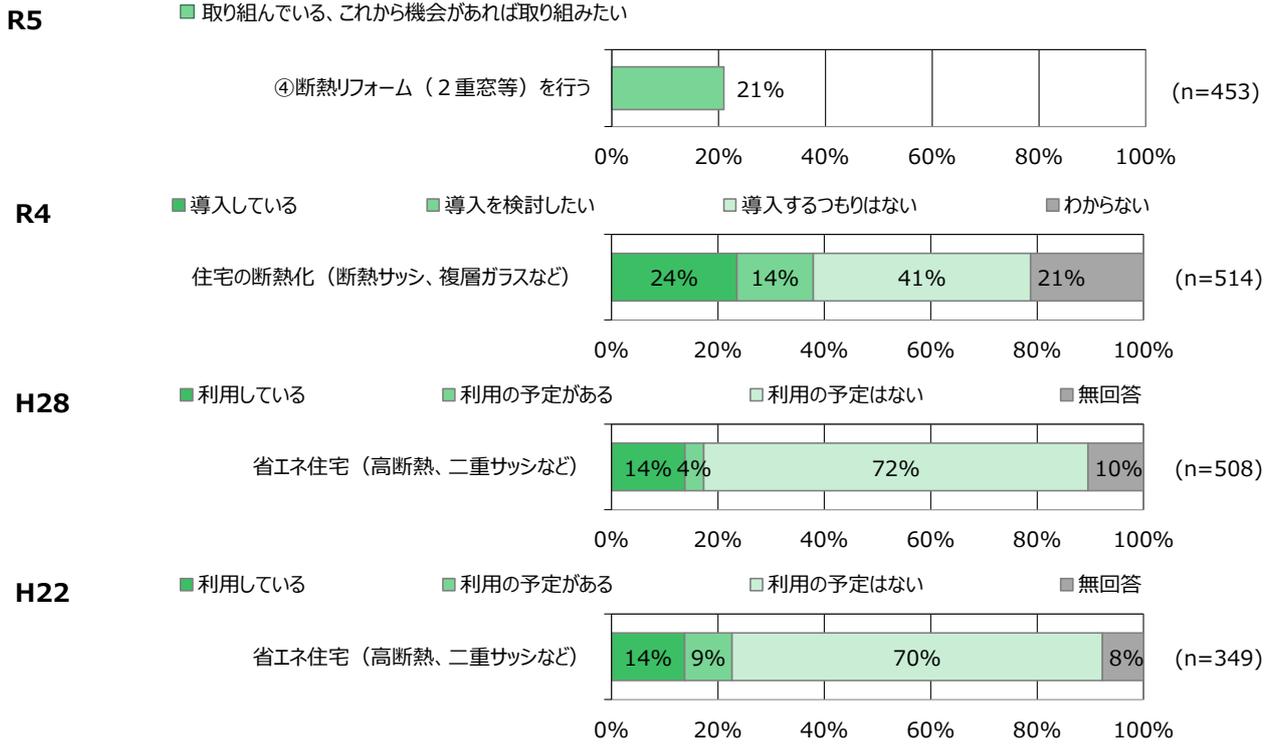
【H28・22】あなたのご家庭では再生可能エネルギーや省エネルギー機器などを利用していますか。利用状況について1~3から1つ選び、該当する番号に○をつけてください。

#### <集計結果>

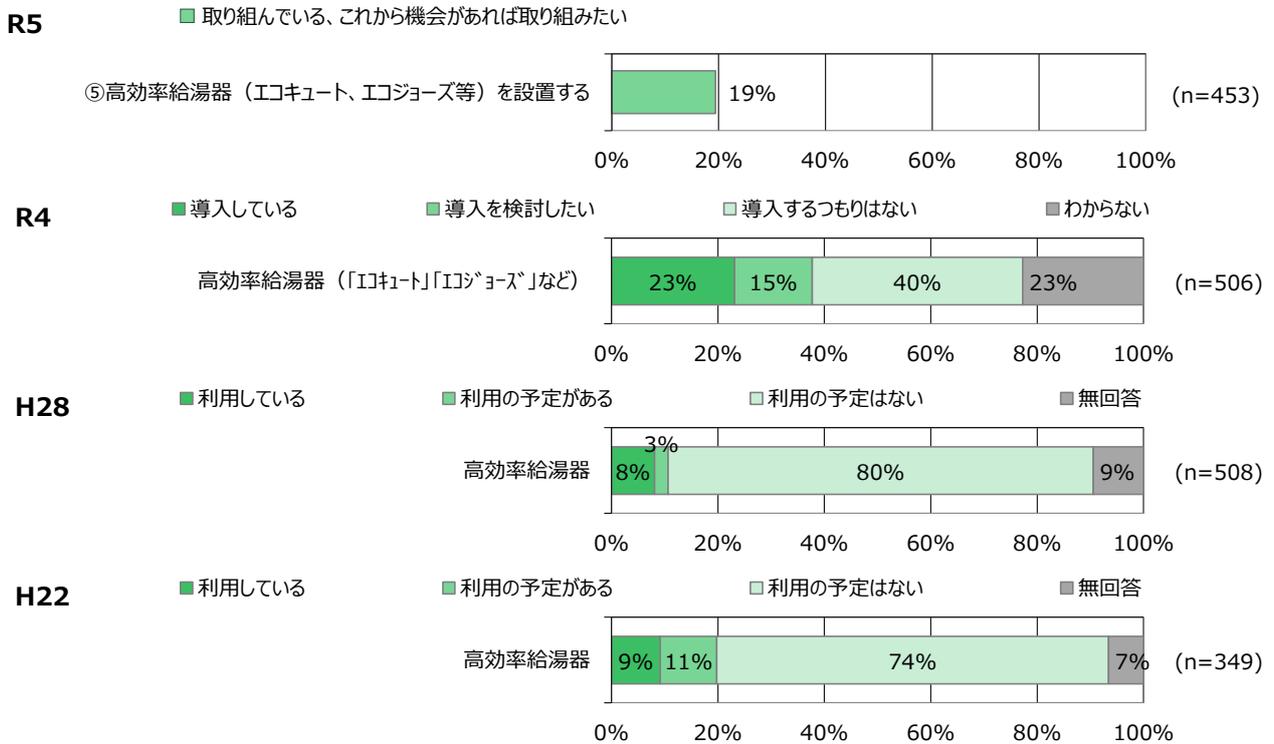
##### ①省エネ性能の高い住宅(ZEH)に住む



#### ④断熱リフォーム(2重窓等)を行う



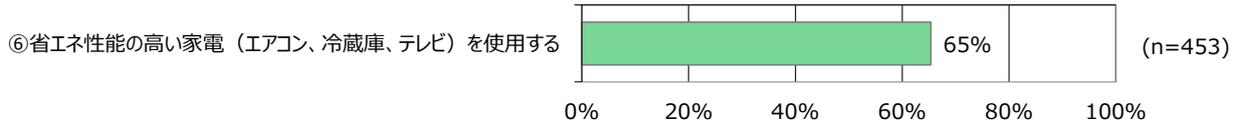
#### ⑤高効率給湯器(エコキュート、エコジョーズ等)を設置する



⑥省エネ性能の高い家電(エアコン、冷蔵庫、テレビ)を使用する

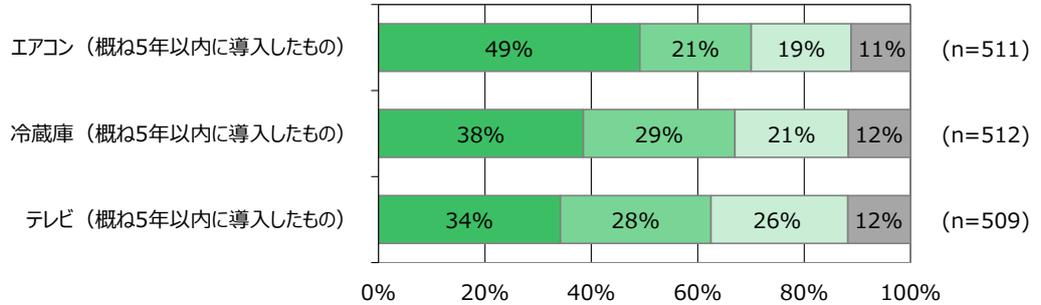
R5

■ 取り組んでいる、これから機会があれば取り組みたい



R4

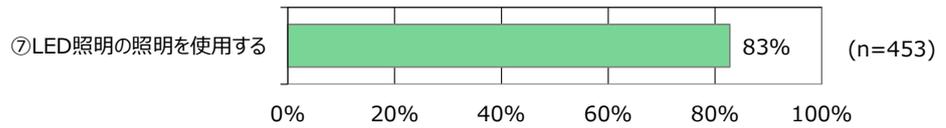
■ 導入している ■ 導入を検討したい □ 導入するつもりはない ■ わからない



⑦LED 照明の照明を使用する

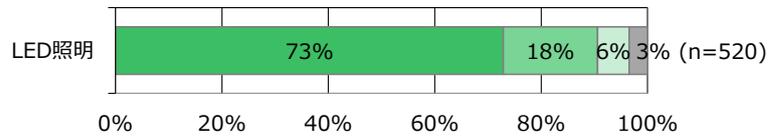
R5

■ 取り組んでいる、これから機会があれば取り組みたい



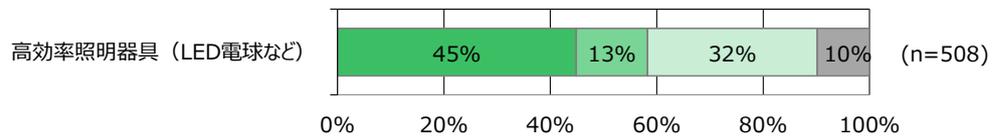
R4

■ 導入している ■ 導入を検討したい □ 導入するつもりはない ■ わからない



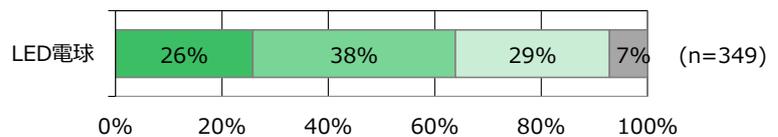
H28

■ 利用している ■ 利用の予定がある □ 利用の予定はない ■ 無回答



H22

■ 利用している ■ 利用の予定がある □ 利用の予定はない ■ 無回答



5) 参考:過年度の類似設問【省エネ行動】

「【設問 9】:家庭における温室効果ガス削減への取組状況」について過年度アンケートと類似の設問・回答結果を整理した。

設問の趣旨は同様であるが、設問の文章、回答の選択肢及び尺度が異なることに留意が必要である。

<設問>

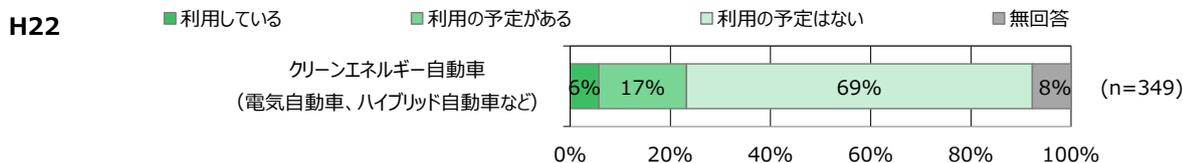
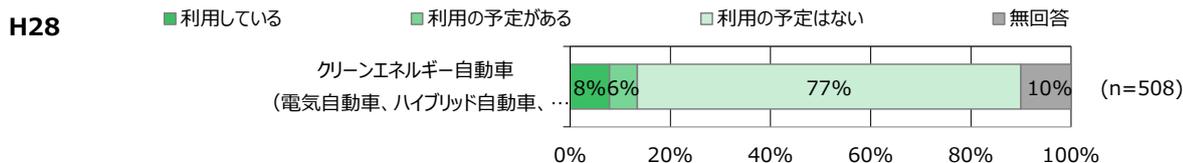
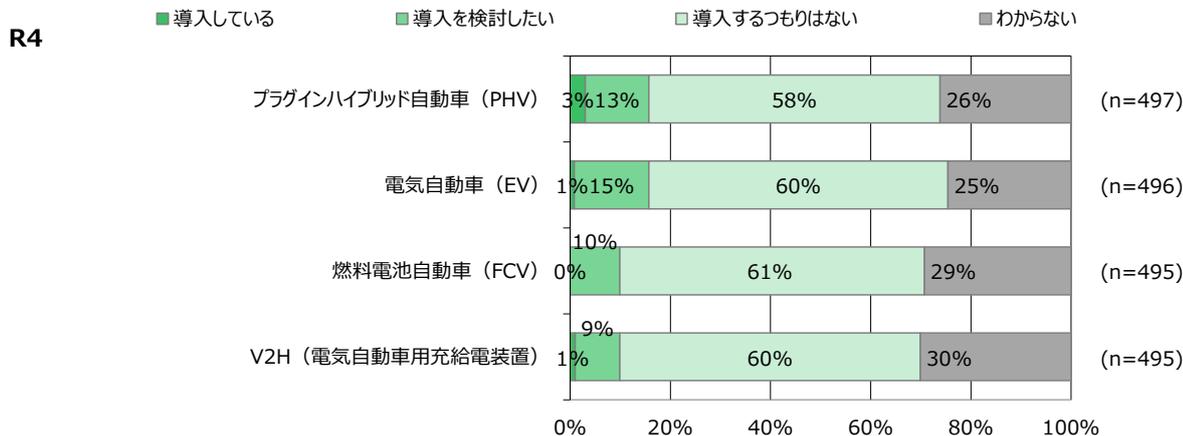
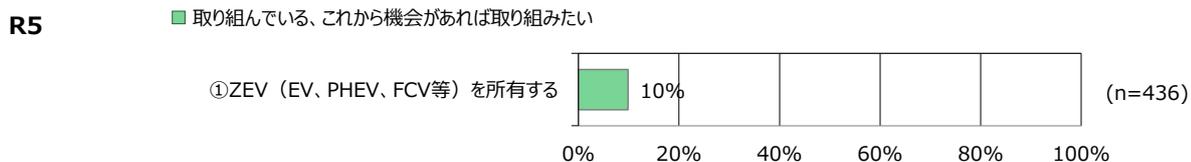
【R5】脱炭素社会あるいはカーボンニュートラルを実現するために、温室効果ガスの削減が必要です。あなたの住居や、日常生活の中で取り組んでいることはありますか？(○は1つ)「取り組んでいる」、「これから機会があれば取り組みたい」場合は、その取組内容を選択してください。(○はいくつでも)

【R4】以下の省エネルギー・再生可能エネルギー設備の設置・利用状況について、該当する番号に○をつけてください。(項目ごとに○はひとつ)

【H28・22】あなたのご家庭では再生可能エネルギーや省エネルギー機器などを利用していますか。利用状況について1~3から1つ選び、該当する番号に○をつけてください。

<集計結果>

①ZEV(EV、PHEV、FCV等)を所有する



## ②公共交通機関での移動を心がける

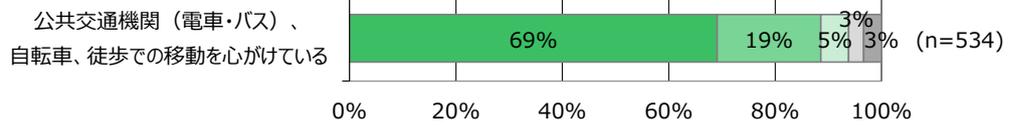
R5

■ 取り組んでいる、これから機会があれば取り組みたい



R4

■ いつも行っている ■ 時々行っている ■ 今後行いたい ■ 今後も行わない



## ⑤エコドライブを実践する

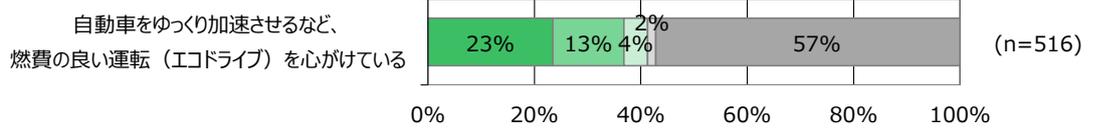
R5

■ 取り組んでいる、これから機会があれば取り組みたい



R4

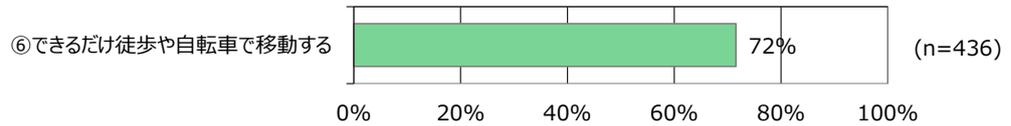
■ いつも行っている ■ 時々行っている ■ 今後行いたい ■ 今後も行わない



## ⑥できるだけ徒歩や自転車で移動する

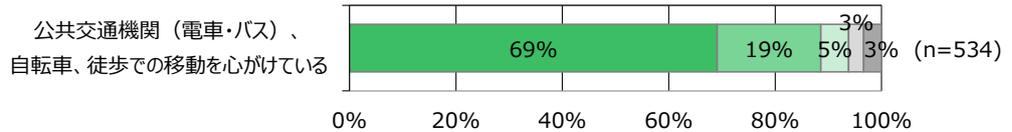
R5

■ 取り組んでいる、これから機会があれば取り組みたい



R4

■ いつも行っている ■ 時々行っている ■ 今後行いたい ■ 今後も行わない



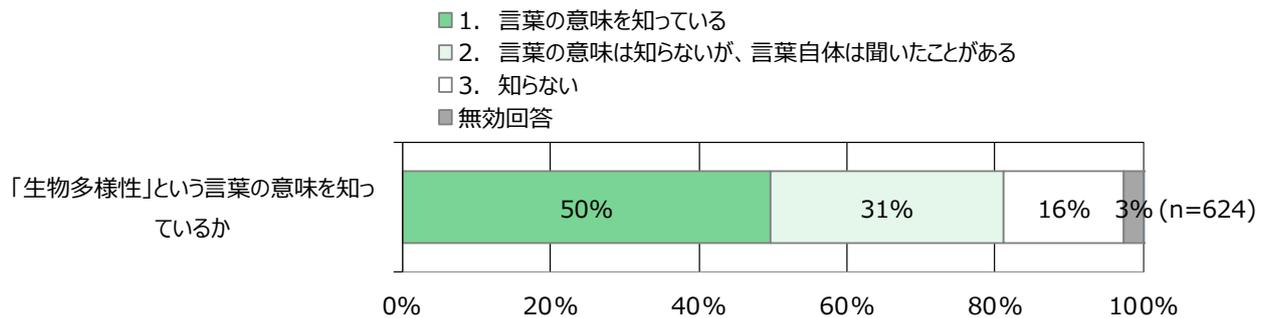
## 2.6 生物多様性について

【設問 10】あなたは、「生物多様性」という言葉の意味(「アンケートの参考として」参照)を知っていますか?(〇は1つ)

### 1) 全体集計

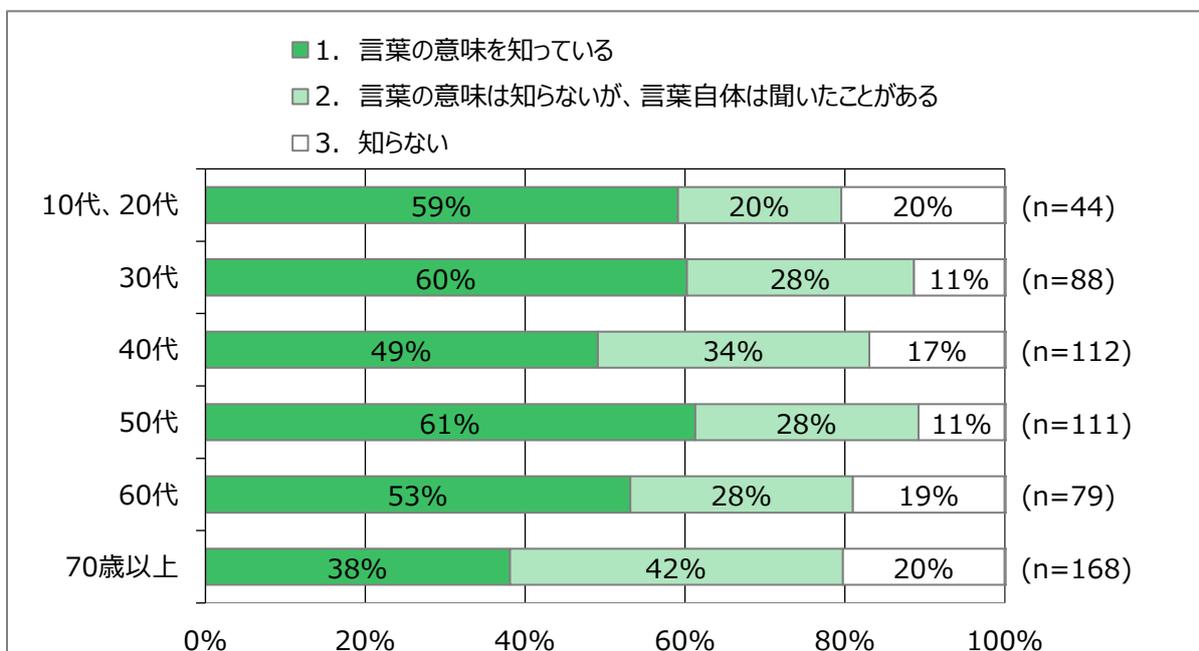
・「①言葉の意味を知っている」と回答した割合は50%と最も高い。

① 言葉の意味を知っている	50%
② 言葉の意味は知らないが、言葉自体は聞いたことがある	31%
③ 知らない	16%
無効回答	3%



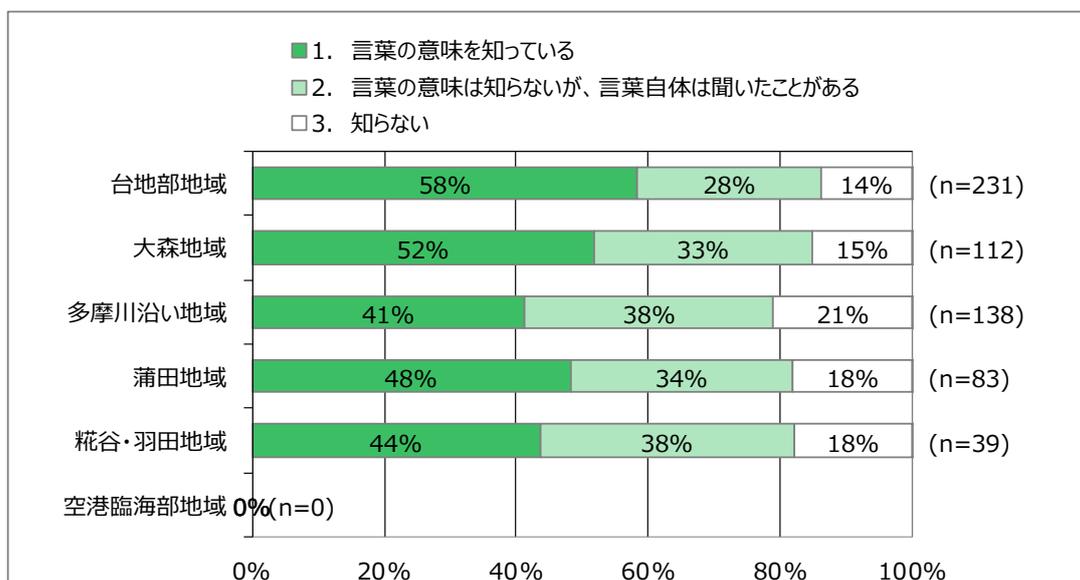
### 2) クロス集計【年代】

・「①言葉の意味を知っている」と回答した割合は10代、20代、30代、50代が60%前後と高いものの、「③知らない」と回答した割合も各年代で一定数おり、20代、70歳以上は20%以上となっている。



### 3) クロス集計【居住地区】

・「①言葉の意味を知っている」、「②言葉の意味は知らないが、言葉自体は聞いたことがある」と回答した割合の合計は、全ての地区で80%以上と高い。



【設問 11】生物多様性は、食材や木材、薬など生活に欠かすことのできない様々な恵みをもたらしています。一方、人間活動などの影響で危機に直面しています。あなたは、生物多様性の危機を招く要因として、どのようなことに関心がありますか？(○はいくつでも)。

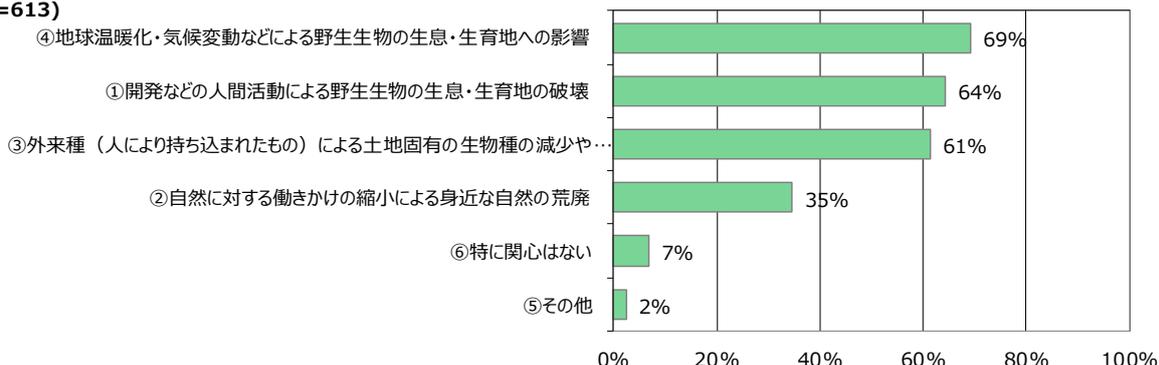
#### 1) 全体集計

・「④地球温暖化・気候変動などによる野生生物の生息・生育地への影響」と回答した割合が69%と最も高く、次いで「①開発などの人間活動による野生生物の生息・生育地の破壊」が64%となっている。  
 ・「②自然に対する働きかけの縮小による身近な自然の荒廃」と回答した割合は、35%と比較的低い。  
 ※「⑤その他」「⑥特に関心はない」を除く。

④ 地球温暖化・気候変動などによる野生生物の生息・生育地への影響	69%
① 開発などの人間活動による野生生物の生息・生育地の破壊	64%
③ 外来種(人により持ち込まれたもの)による土地固有の生物種の減少や消失	61%
② 自然に対する働きかけの縮小による身近な自然の荒廃	35%
⑥ 特に関心はない	7%
⑤ その他	2%

※回答率が高い順に回答番号を並び替えている。

(n=613)



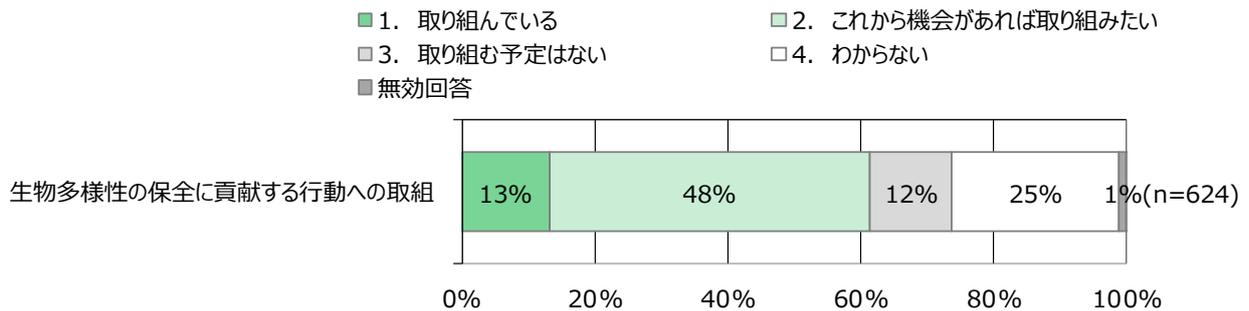
※回答率が高い順に回答番号を並び替えている。

【設問 12-1】あなたは、生物多様性の保全に貢献する行動として、取り組んでいることはありますか？(○は1つ)

1) 全体集計

・「②これから機会があれば取り組みたい」と回答した割合が 48%と最も高く、次いで「④わからない」と回答した割合が 25%となっている。

① 取り組んでいる	13%
② これから機会があれば取り組みたい	48%
③ 取り組む予定はない	12%
④ わからない	25%
無効回答	1%



【設問 12-2】「取り組んでいる」、「これから機会があれば取り組みたい」場合は、その取組内容を選択してください。(○はいくつでも)

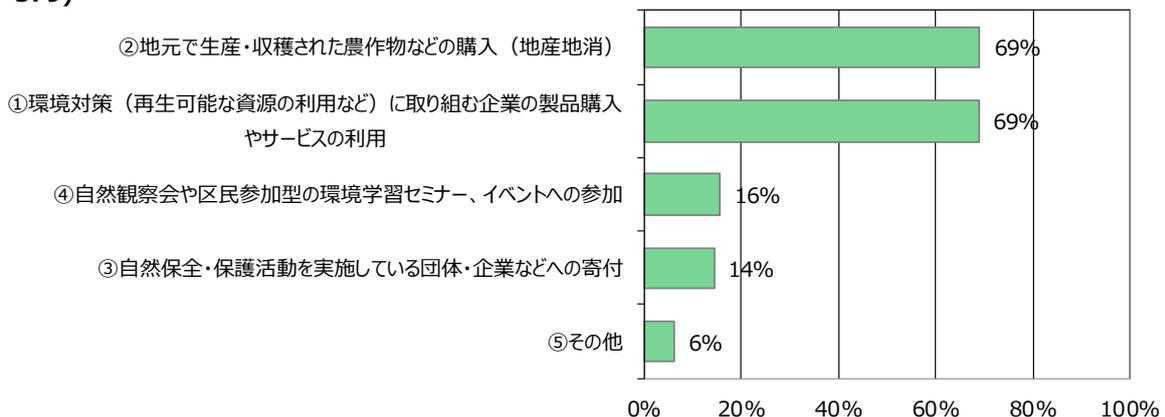
1) 全体集計

・「①環境対策(再生可能な資源の利用など)に取り組む企業の製品購入やサービスの利用」、「②地元で生産・収穫された農作物などの購入(地産地消)」と回答した割合が 69%と最も高い。  
 ・「③自然保全・保護活動を実施している団体・企業などへの寄付」、「④自然観察会や区民参加型の環境学習セミナー、イベントへの参加」と回答した割合は、比較的低い。

② 地元で生産・収穫された農作物などの購入(地産地消)	69%
① 環境対策(再生可能な資源の利用など)に取り組む企業の製品購入やサービスの利用	69%
④ 自然観察会や区民参加型の環境学習セミナー、イベントへの参加	16%
③ 自然保全・保護活動を実施している団体・企業などへの寄付	14%
⑤ その他	6%

※回答率が高い順に回答番号を並び替えている。

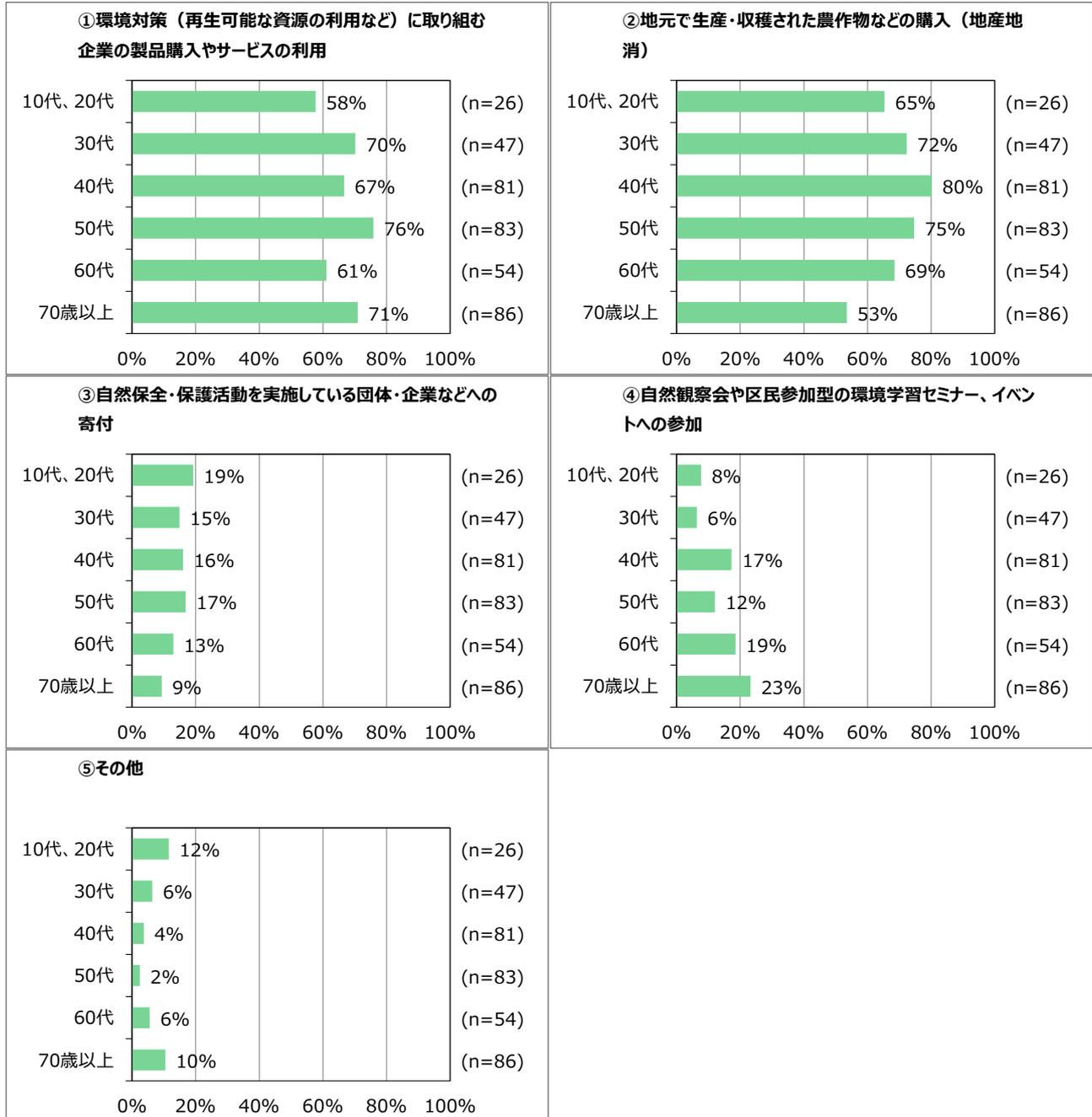
(n=379)



※回答率が高い順に回答番号を並び替えている。

## 2) クロス集計【年代】

- ・「①環境対策(再生可能な資源の利用など)に取り組む企業の製品購入やサービスの利用」は、若年層(10代、20代)よりも30代以上が高い傾向となっている。
- ・「④自然観察会や区民参加型の環境学習セミナー、イベントへの参加」は、若年層(10代、20代)よりも働く世代(40代~50代)、高齢層(60代以上)の方が高い傾向となっている。



## 2.7 ご家庭におけるごみ減量およびリサイクルの取組状況について

【設問 13-1】大田区では、循環型社会を構築するため、様々な取組を行っています。あなたは、家庭から出るごみの減量やリサイクルに取り組んでいますか？(○は1つ)

### 1) 全体集計

・「①取り組んでいる」と回答した割合が 74%と最も高く、次いで「②これから機会があれば取り組みたい」が 16%となっている。

① 取り組んでいる	74%
② これから機会があれば取り組みたい	16%
③ 取り組む予定はない	4%
④ わからない	4%
無効回答	2%

■ 1. 取り組んでいる □ 2. これから機会があれば取り組みたい □ 3. 取り組む予定はない □ 4. わからない ■ 無効回答



【設問 13-2】「取り組んでいる」、「これから機会があれば取り組みたい」場合は、その取組内容を選択してください。(〇はいくつでも)

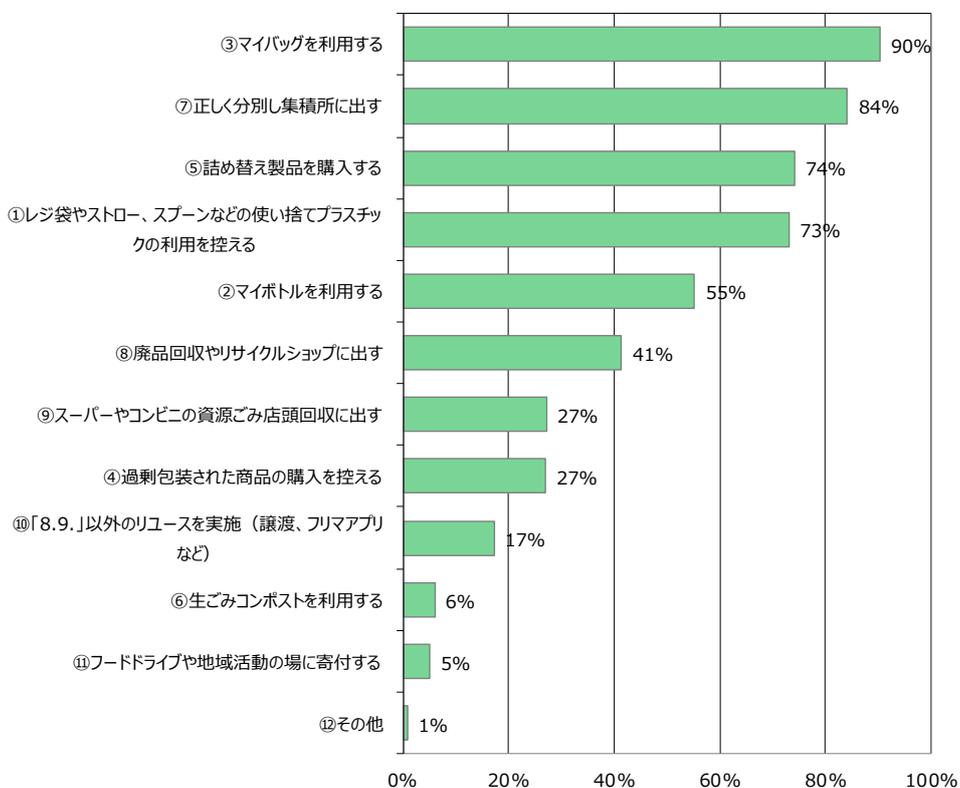
1) 全体集計

- ・ 「③マイバッグを利用する」と回答した割合が 90%と最も高く、次いで「⑦正しく分別し集積所に出す」が 84%、「⑤詰め替え製品を購入する」が 74%、「①レジ袋やストロー、スプーンなどの使い捨てプラスチックの利用を控える」が 73%となっている。
- ・ 一方、「⑥生ごみコンポストを利用する」、「⑪フードドライブや地域活動の場に寄付する」と回答した割合は 10%を下回る。

③ マイバッグを利用する	90%
⑦ 正しく分別し集積所に出す	84%
⑤ 詰め替え製品を購入する	74%
① レジ袋やストロー、スプーンなどの使い捨てプラスチックの利用を控える	73%
② マイボトルを利用する	55%
⑧ 廃品回収やリサイクルショップに出す	41%
⑨ スーパーやコンビニの資源ごみ店頭回収に出す	27%
④ 過剰包装された商品の購入を控える	27%
⑩ 「8,9.」以外のリユースを実施(譲渡、フリマアプリなど)	17%
⑥ 生ごみコンポストを利用する	6%
⑪ フードドライブや地域活動の場に寄付する	5%
⑫ その他	1%

※回答率が高い順に回答番号を並び替えている。

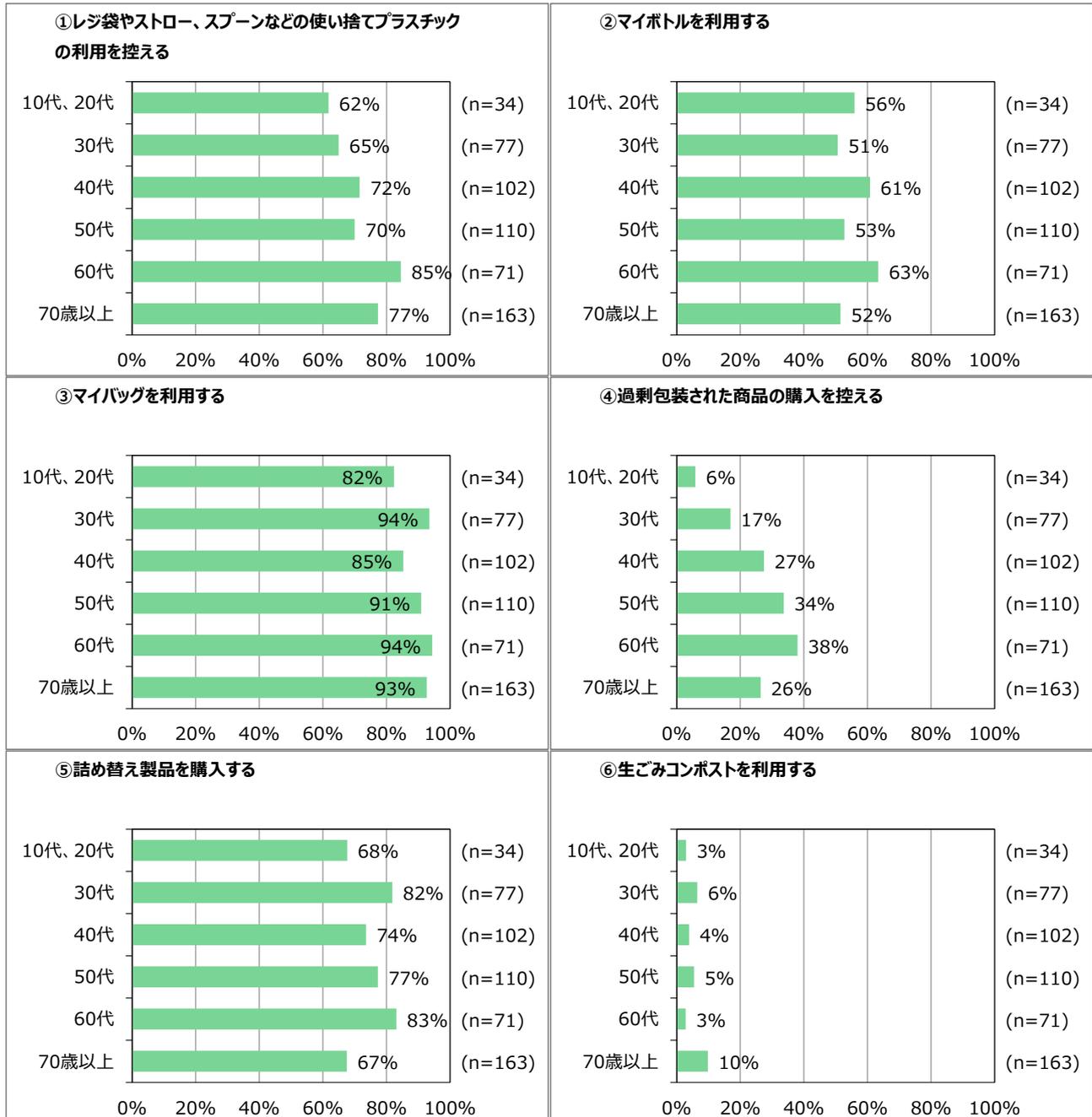
(n=563)

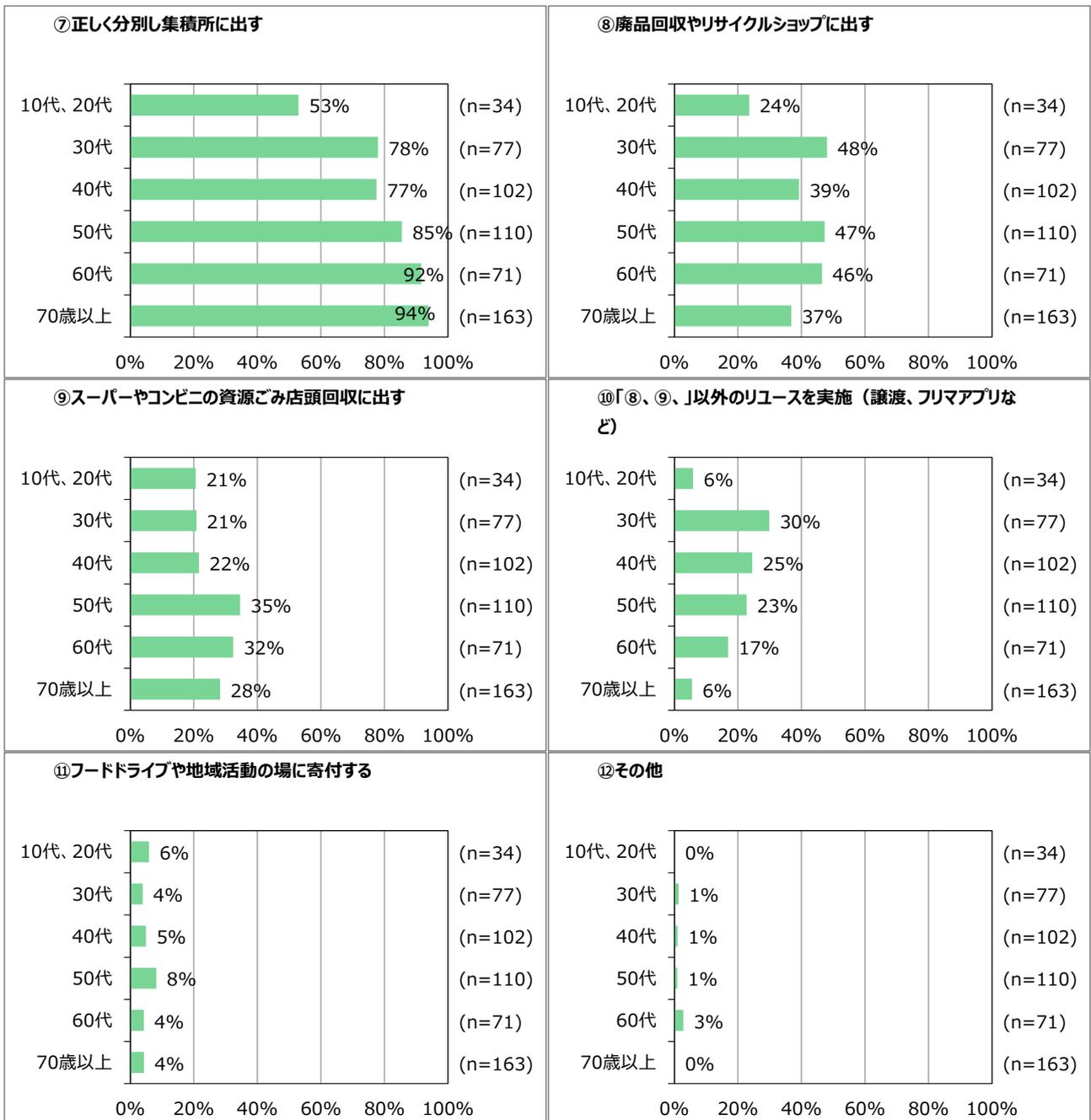


※回答率が高い順に回答番号を並び替えている。

## 2) クロス集計【年代】

- ・「④過剰包装された商品の購入を控える」、「⑦正しく分別し集積所に出す」、「⑧廃品回収やリサイクルショップに出す」について回答した割合は、10代、20代が低い傾向となっている。
- ・「①レジ袋やストロー、スプーンなどの使い捨てプラスチックの利用を控える」、「②マイボトルを利用する」、「④過剰包装された商品の購入を控える」、「⑤詰め替え製品を購入する」について回答した割合は、60代が高い傾向となっている。
- ・「⑦正しく分別し集積所に出す」について回答した割合は、年代が上がるにつれて高い傾向となっている。
- ・「⑨スーパーやコンビニの資源ごみ店頭回収に出す」について回答した割合は、50代以上が高い傾向となり、「⑩「⑧、⑨」以外のリユースを実施(譲渡、フリマアプリなど)」について30代~50代が20%以上と高い傾向となっている。





### 3) 参考:過年度の類似設問【取組状況】

「【設問 13】:家庭におけるごみ減量およびリサイクルの取組状況」について過年度アンケートと類似の設問・回答結果を整理した。

設問の趣旨は同様であるが、設問の文章、回答の選択肢及び尺度が異なることに留意が必要である。

#### <設問>

【R5】大田区では、循環型社会を構築するため、様々な取組を行っています。あなたは、家庭から出るごみの減量やリサイクルに取り組んでいますか？「取り組んでいる」、「これから機会があれば取り組みたい」場合は、その取組内容を選択してください。

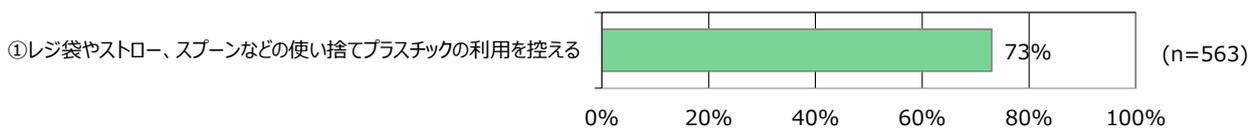
【R4】あなたのご家庭で行っている省エネルギーの取組状況について、該当する番号に○をつけてください。(項目ごとに○はひとつ)

#### <集計結果>

##### ①レジ袋やストロー、スプーンなどの使い捨てプラスチックの利用を控える

###### R5

■ 取り組んでいる、これから機会があれば取り組みたい



###### R4

■ いつも行っている ■ 時々行っている ■ 今後行いたい ■ 今後も行わない



【設問 14】ごみや資源を出す際に工夫していることはありますか？(○はいいくつでも)

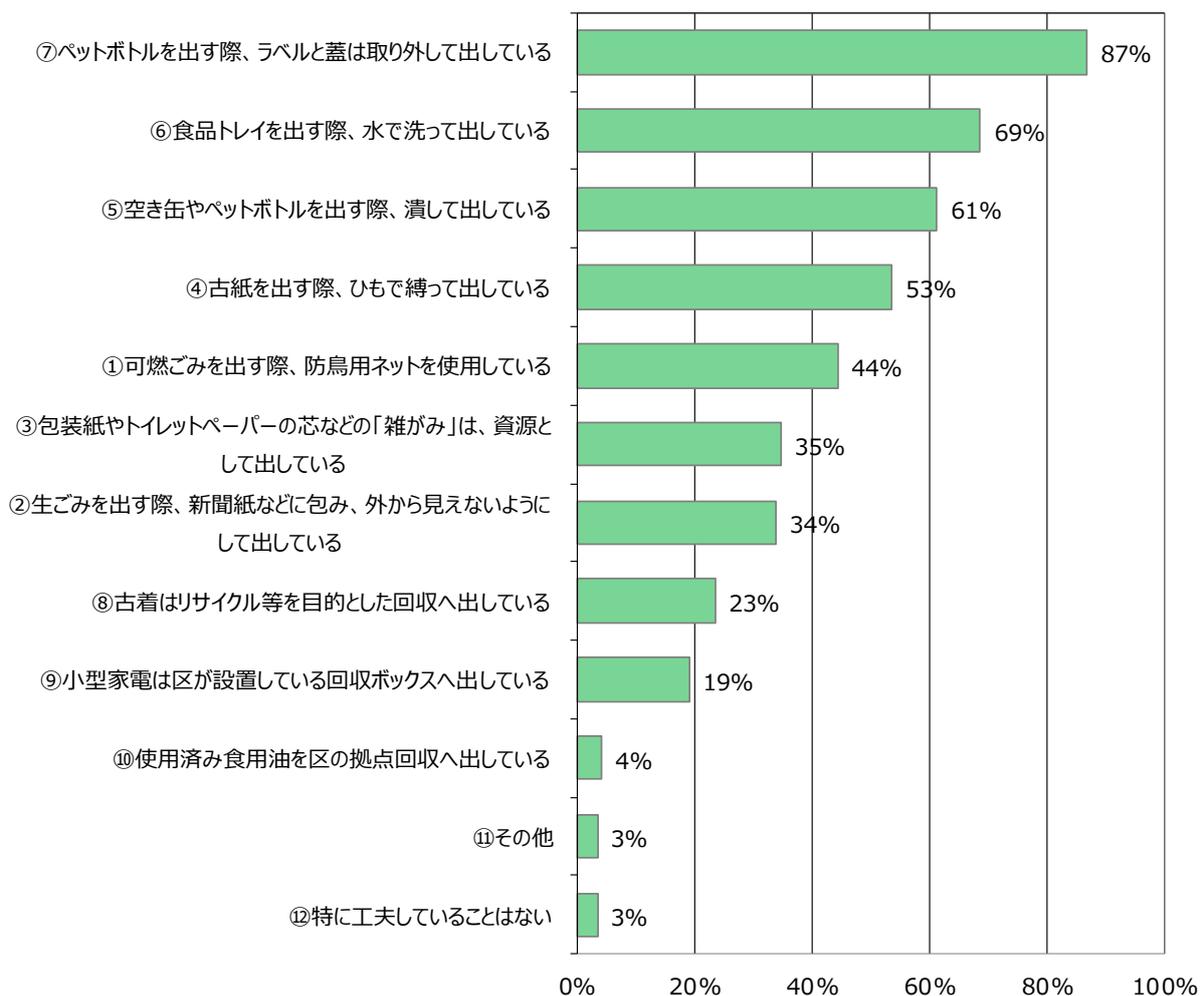
1) 全体集計

・「⑦ペットボトルを出す際、ラベルと蓋は取り外して出している」と回答した割合は 87%と最も高く、次いで「⑥食品トレイを出す際、水で洗って出している」が 69%となっている。

⑦ ペットボトルを出す際、ラベルと蓋は取り外して出している	87%
⑥ 食品トレイを出す際、水で洗って出している	69%
⑤ 空き缶やペットボトルを出す際、潰して出している	61%
④ 古紙を出す際、ひもで縛って出している	53%
① 可燃ごみを出す際、防鳥用ネットを使用している	44%
③ 包装紙やトイレットペーパーの芯などの「雑がみ」は、資源として出している	35%
② 生ごみを出す際、新聞紙などに包み、外から見えないようにして出している	34%
⑧ 古着はリサイクル等を目的とした回収へ出している	23%
⑨ 小型家電は区が設置している回収ボックスへ出している	19%
⑩ 使用済み食用油を区の拠点回収へ出している	4%
⑪ その他	3%
⑫ 特に工夫していることはない	3%

※回答率が高い順に回答番号を並び替えている。

(n=608)



※回答率が高い順に回答番号を並び替えている。

【設問 15】食品ロスは食べられるのに捨てられてしまう食品のことです。食品ロスに対してどんなイメージを持っていますか？(○はいくつでも)

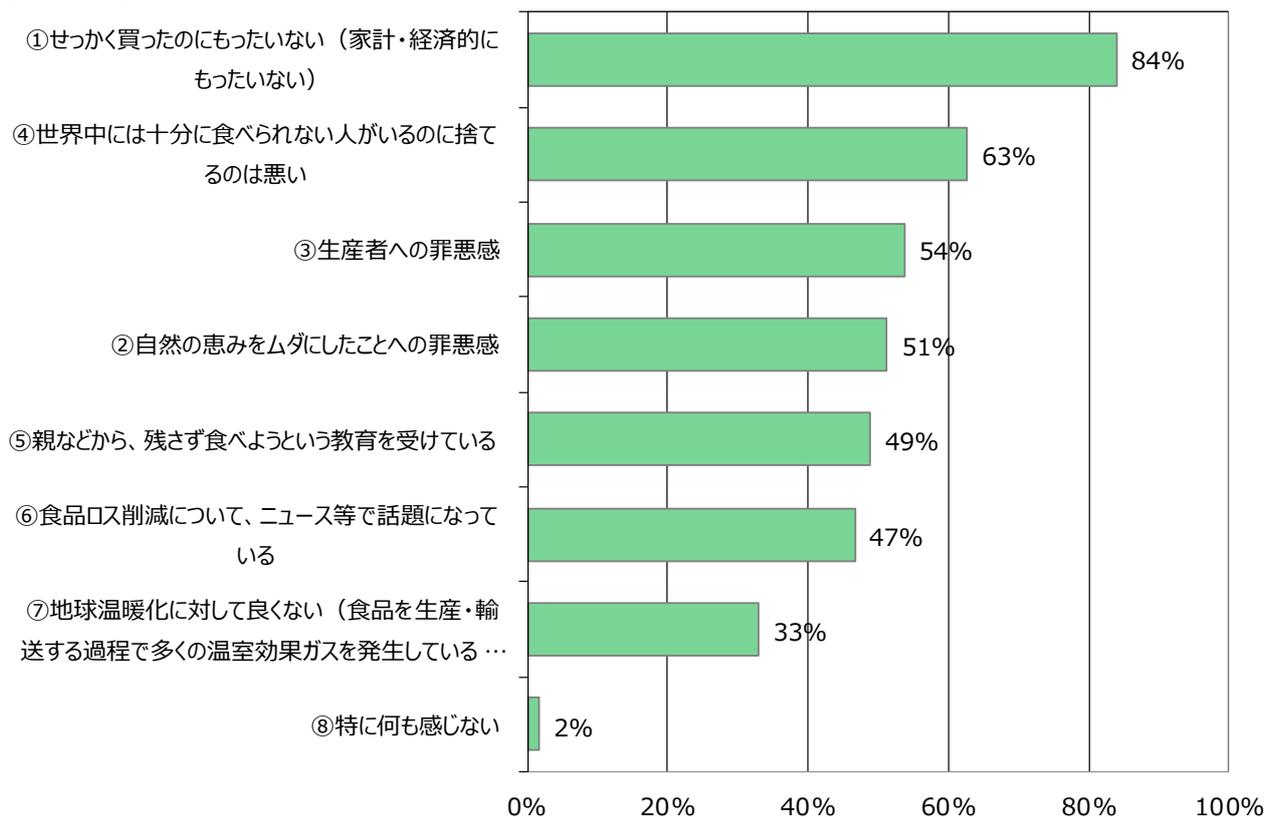
1) 全体集計

・「せっかく買ったのもったいない(家計・経済的にもったいない)」と回答した割合が 84%と最も高く、次いで「④世界中には十分に食べられない人がいるのに捨てるのは悪い」が 63%となっている。

① せっかく買ったのもったいない(家計・経済的にもったいない)	84%
④ 世界中には十分に食べられない人がいるのに捨てるのは悪い	63%
③ 生産者への罪悪感	54%
② 自然の恵みをムダにしたことへの罪悪感	51%
⑤ 親などから、残さず食べようという教育を受けている	49%
⑥ 食品ロス削減について、ニュース等で話題になっている	47%
⑦ 地球温暖化に対して良くない(食品を生産・輸送する過程で多くの温室効果ガスを発生しているため)	33%
⑧ 特に何も感じない	2%

※回答率が高い順に回答番号を並び替えている。

(n=622)



※回答率が高い順に回答番号を並び替えている。

【設問 16】食品ロスについて、日常生活の中で取り組んでいることはありますか？(〇はいくつでも)

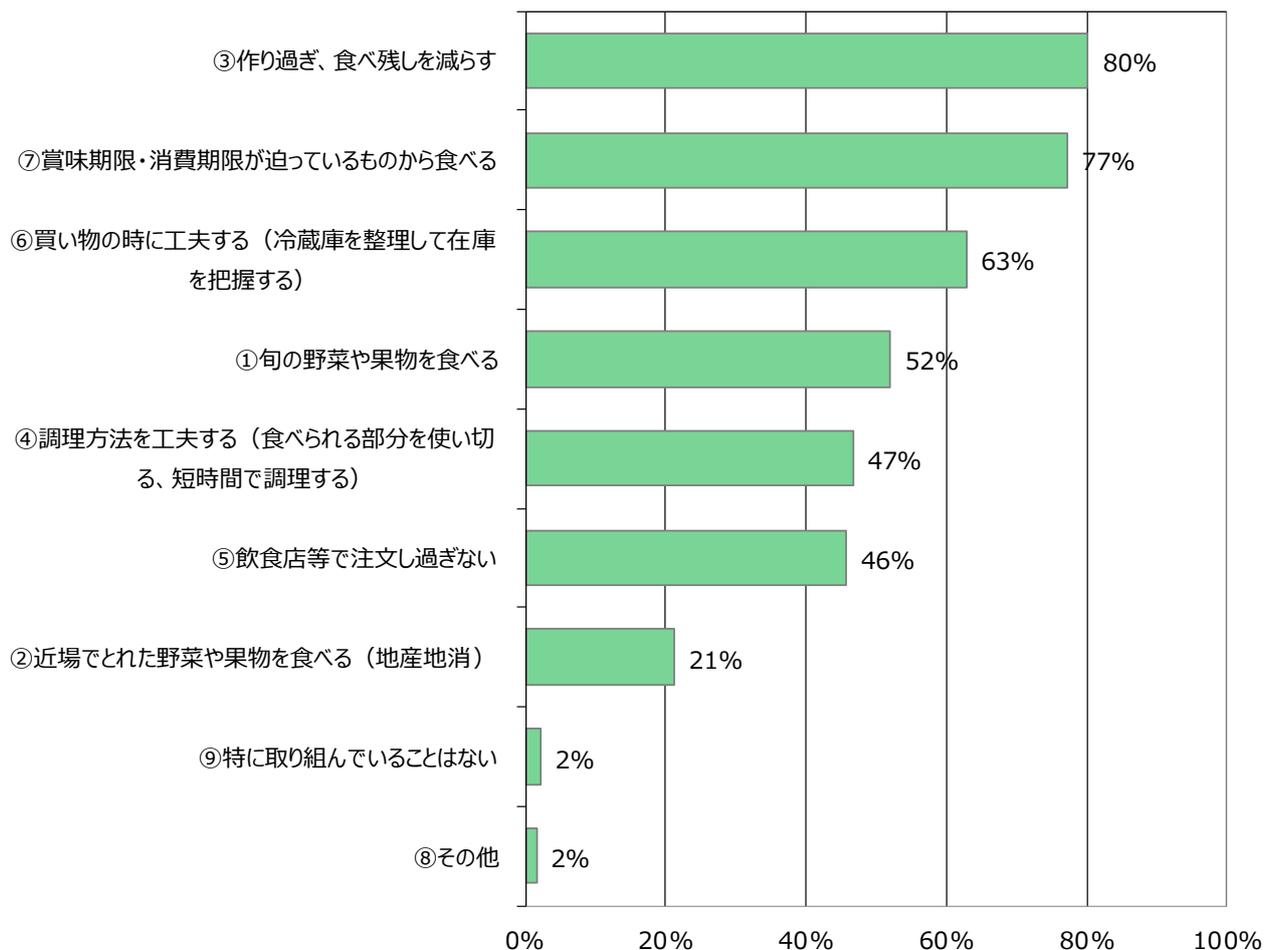
1) 全体集計

・「③作り過ぎ、食べ残しを減らす」と回答した割合が 80%と最も高く、次いで「⑦賞味期限・消費期限が迫っているものから食べる」が 77%となっている。

③ 作り過ぎ、食べ残しを減らす	80%
⑦ 賞味期限・消費期限が迫っているものから食べる	77%
⑥ 買い物の時に工夫する(冷蔵庫を整理して在庫を把握する)	63%
① 旬の野菜や果物を食べる	52%
④ 調理方法を工夫する(食べられる部分を使い切る、短時間で調理する)	47%
⑤ 飲食店等で注文し過ぎない	46%
② 近場でとれた野菜や果物を食べる(地産地消)	21%
⑨ 特に取り組んでいることはない	2%
⑧ その他	2%

※回答率が高い順に回答番号を並び替えている。

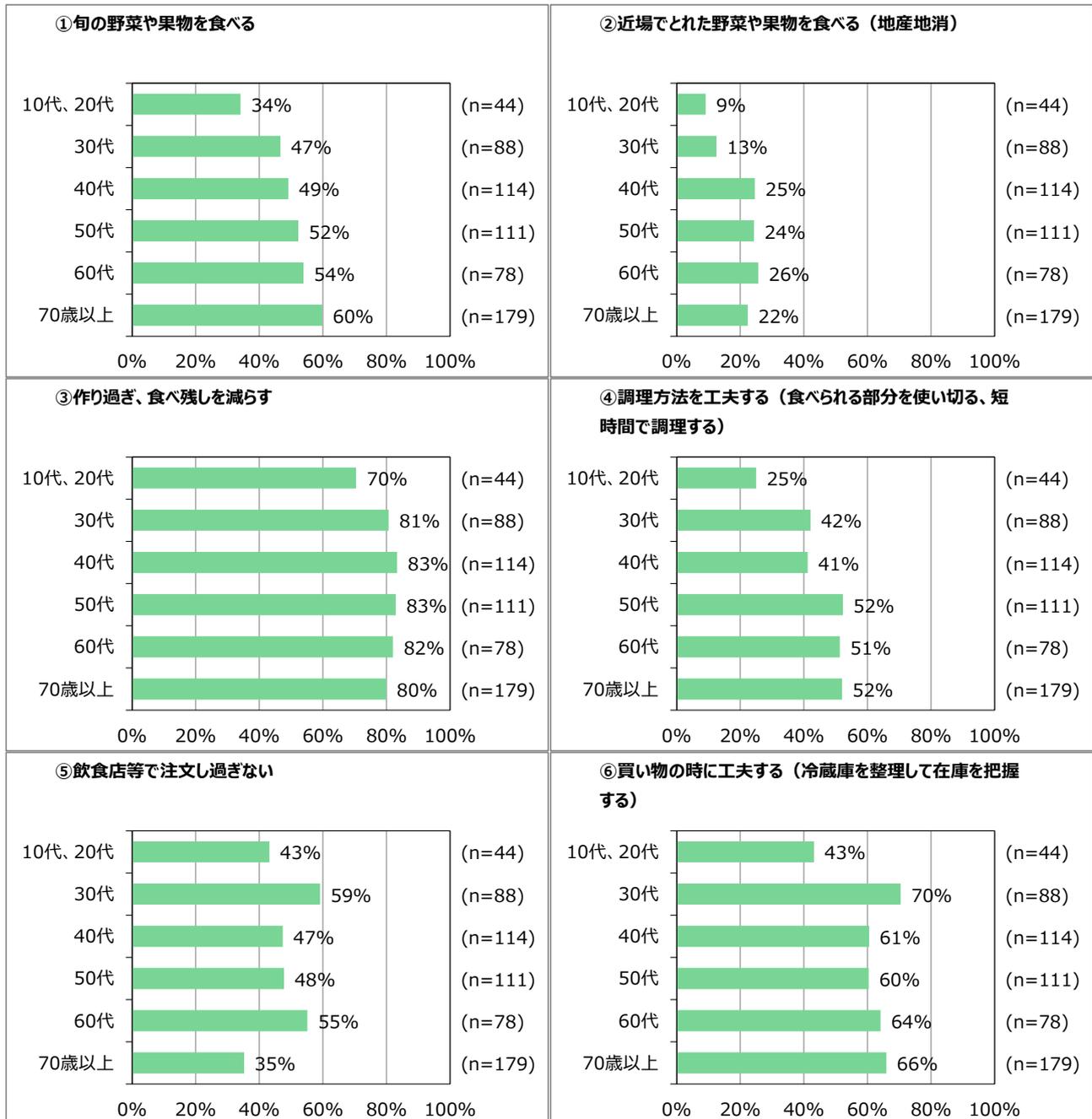
(n=621)



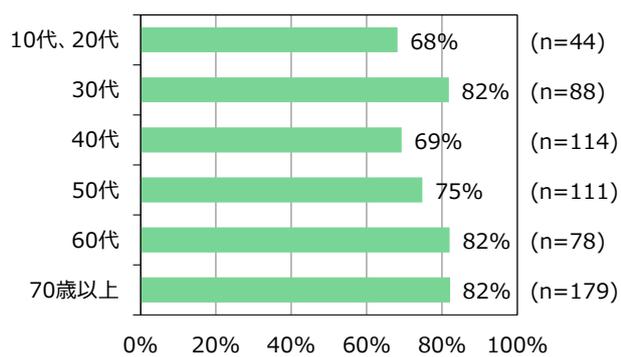
※回答率が高い順に回答番号を並び替えている。

## 2) クロス集計【年代】

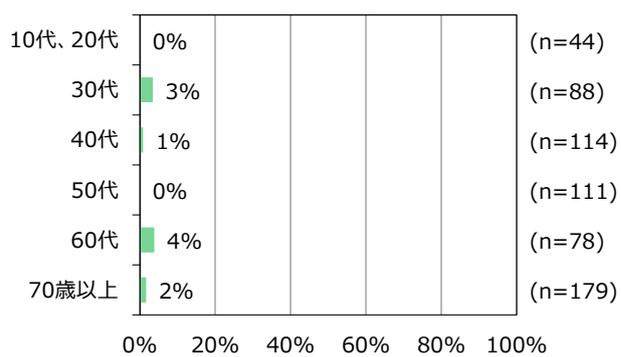
- ・「①旬の野菜や果物を食べる」について回答した割合は年代が上がるにつれて高い傾向となっている。
- ・「②近場でとれた野菜や果物を食べる(地産地消)」について回答した割合は40代以上が高い傾向にあり、「③作り過ぎ、食べ残しを減らす」については30代以上、「④調理方法を工夫する(食べられる部分を使い切る、短時間で調理する)」については50代以上が高い傾向となっている。
- ・「⑤飲食店等で注文し過ぎない」、「⑥買い物の時に工夫する(冷蔵庫を整理して在庫を把握する)」について回答した割合は、30代が高い傾向となっている。



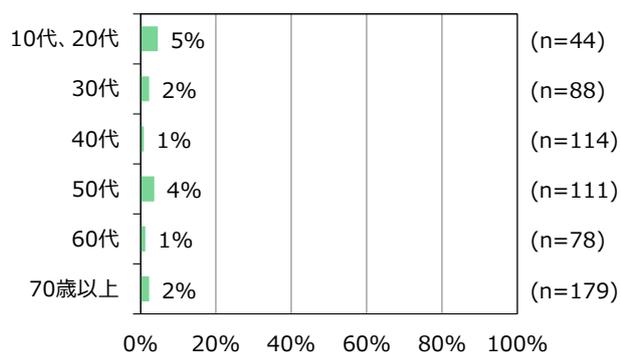
⑦賞味期限・消費期限が迫っているものから食べる



⑧その他



⑨特に取り組んでいることはない



3) 参考:過年度の類似設問【取組状況】

「【設問 16】:食品ロスへの取組状況」について過年度アンケートと類似の設問・回答結果を整理した。設問の趣旨は同様であるが、設問の文章、回答の選択肢及び尺度が異なることに留意が必要である。

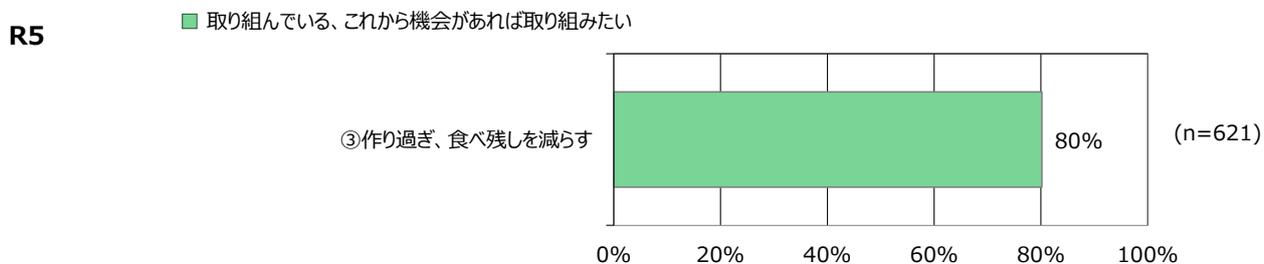
<設問>

【R5】大田区では、循環型社会を構築するため、様々な取組を行っています。あなたは、家庭から出るごみの減量やリサイクルに取り組んでいますか？「取り組んでいる」、「これから機会があれば取り組みたい」場合は、その取組内容を選択してください。

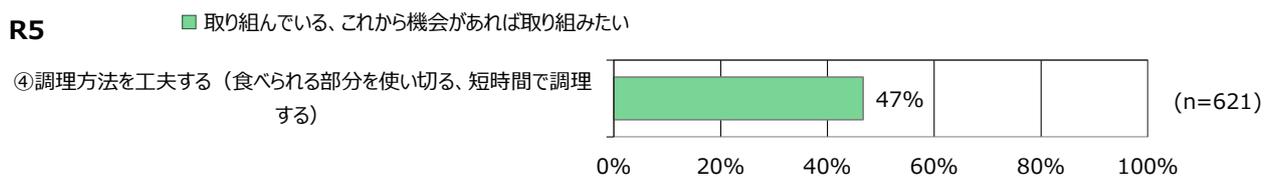
【R4】あなたのご家庭で行っている省エネルギーの取組状況について、該当する番号に○をつけてください。(項目ごとに○はひとつ)

<集計結果>

③作り過ぎ、食べ残しを減らす



④調理方法を工夫する(食べられる部分を使い切る、短時間で調理する)



## 2.8 環境に配慮した行動について

【設問 17】あなたはこれから環境に配慮した行動をするためには、どんな理由(メリット・機会・支援など)があれば、取り組むことができると考えますか？(○はいくつでも)

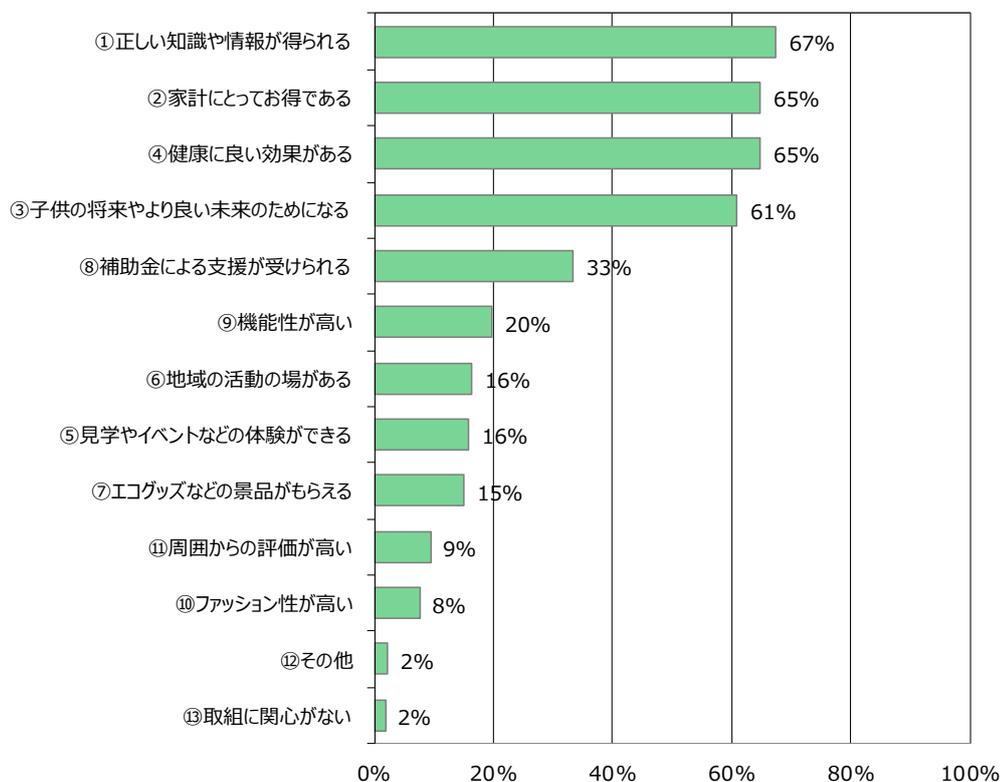
### 1) 全体集計

・「①正しい知識や情報が得られる」、「②家計にとってお得である」、「③子供の将来やより良い未来のためになる」、「④健康に良い効果がある」と回答した割合は60%を上回る結果となっている。

① 正しい知識や情報が得られる	67%
② 家計にとってお得である	65%
④ 健康に良い効果がある	65%
③ 子供の将来やより良い未来のためになる	61%
⑧ 補助金による支援が受けられる	33%
⑨ 機能性が高い	20%
⑥ 地域の活動の場がある	16%
⑤ 見学やイベントなどの体験ができる	16%
⑦ エコグッズなどの景品がもらえる	15%
⑪ 周囲からの評価が高い	9%
⑩ ファッション性が高い	8%
⑫ その他	2%
⑬ 取組に関心がない	2%

※回答率が高い順に回答番号を並び替えている。

(n=617)



※回答率が高い順に回答番号を並び替えている。

## 2) クロス集計【年代】

- ・「④健康に良い効果がある」は若年層(10代、20代)が低く、30代以上が65%を上回っている。
- ・「⑧補助金による支援が受けられる」は、世代が上がるにつれて低い傾向となっている。
- ・「⑨機能性が高い」は若年層(10代、20代)、働く世代(30代～50代)が高い傾向となっている。

